

愛媛県美術館

令和5年度年報・研究紀要第23号

ANNUAL REPORT
and
BULLETIN

THE MUSEUM OF ART, EHIME

総目次

■ 令和5年度年報

I	沿 革	1
II	展覧会事業	
1	コレクション展示	2
2	企画展示・共催展示	6
III	作品の収集事業及び保存管理	
1	収集方針	58
2	取得作品の概要	59
3	収蔵作品数	66
4	保存・修復	66
5	館蔵品貸出状況	67
IV	調査研究事業	79
V	教育普及事業	
1	普及啓発事業	82
(1)	レクチャー	
(2)	オンラインレクチャー	
(3)	親子ワークショップ	
(4)	わくわくワークショップ	
(5)	ワークショップ	
(6)	コレクショントーク	
(7)	コレクショントーク+（プラス）	
2	創作活動支援事業	85
(1)	アトリエの設置	
(2)	創作学習の支援	
3	美術情報関係事業	86
(1)	美術館情報発信	
(2)	美術情報の提供	
4	他機関との連携事業	87
(1)	館内プログラム	
(2)	館外プログラム	
(3)	大学との連携	
(4)	調査・委員・審査・原稿執筆	
5	その他	98
(1)	第25回愛媛県美術館開館記念イベント	
(2)	愛媛県美術館開館25周年記念・愛媛県美術館友の会発足 50周年記念トークイベント 杉浦非水×三越—受け継がれるレガシー：これまでとこれから	

VI	令和5年度愛媛県美術館文化観光推進事業	100
VII	貸館事業	
	1 展示施設の利用方法	102
	2 展示施設の利用状況	104
VIII	入館者の状況	109
IX	組織及び職員構成	
	1 組織図	110
	2 職員名簿	110
X	愛媛県美術館協議会委員名簿	111
XI	関係法規	
	1 愛媛県美術館使用料条例	112
	2 愛媛県美術館管理規則	113
	3 愛媛県博物館協議会設置条例	116
	4 愛媛県美術館協議会運営規則	116
	5 愛媛県美術品等収集評価委員会設置要綱	117
XII	施設・設備の概要	118

■ 愛媛県美術館研究紀要 第23号

* 特集 愛媛県美術館「俳文学と美術」コレクション（二）
 一 寄託の阿部里雪コレクション

長井 健
 岩本 成美

○ 開館までの歩みとその後

- 昭和45年 9月 愛媛県立美術館が開館
- 昭和54年10月 愛媛県立美術館分館郷土美術館を設置
- 平成2年 5月 生活文化県政推進懇談会で新しい美術館の建設が提言される
9月 愛媛県中核美術館整備検討委員会設置
(会長：門田圭三 委員21人)
- 平成3年 3月 第1回整備検討委員会開催
11月 「県民の美術館に対するニーズ調査及び特色ある美術館の調査」
(～4年2月まで)
11月 第2回整備検討委員会開催
- 平成5年 3月 第3回整備検討委員会開催
- 平成6年 6月 立地場所について検討委員会に確認
- 平成7年10月 第4回整備検討委員会開催
11月 中核美術館基本構想報告
- 平成8年11月 現状変更許可（文化庁）
12月 起工式
- 平成10年 4月 愛媛県立美術館は教育委員会から知事部局に移管
9月 定礎式
10月 愛媛県立美術館を廃止し、愛媛県美術館を設置
11月 落成式
- 平成12年 4月 知事部局から教育委員会へ移管
- 平成21年 3月 愛媛県美術館分館（萬翠荘）を知事部局に移管
- 平成28年 9月 愛媛県美術館南館耐震化工事（～平成29年6月まで）
- 平成30年 4月 教育委員会から知事部局へ管理運営を事務委任
- 令和2年 4月 教育委員会から知事部局へ移管

Ⅱ 展覧会事業

1 コレクション展示

○コレクション展Ⅰ／令和5年4月11日～7月17日
コレクション・ハイライト
常設展示室3

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
杉浦非水	銅化塗料ノーワン	1920年代	リトグラフ、オフセット・紙	65.4×38.4	
杉浦非水	田中旭嶺琵琶大会	昭和9年(1934)	オフセット・紙	76.5×35.6	
杉浦非水	非水百花譜	昭和4-9年(1929-34)	木版・紙	各47.0×32.0	
杉浦非水	装丁・雑誌表紙		印刷・紙		
杉浦非水	非水図案絵葉書		印刷・紙		
杉浦非水	たばこパッケージ	1930年代	印刷・紙		
遠藤広実	山水之図	江戸時代後期	絹本着色・軸	95.0×34.7	
竹内栖鳳	花の山	明治38年(1905)頃	絹本着色・軸	150.5×71.0	
柳瀬正夢	川と橋	大正10年(1921)頃	油彩・板	24.0×33.0	
畦地梅太郎	摘草の人連れ	昭和4年(1929)	多色木版・紙	9.0×14.2	
畦地梅太郎	緑蔭下の仔馬	昭和4年(1929)	多色木版・紙	9.0×14.2	
真鍋 博	都会主義者	昭和30年(1955)	油彩・画布	91.3×183.5	
濱田 観	流映	昭和32年(1957)	紙本着色・額	110.0×129.1	
野間仁根	浜木綿	昭和38年(1963)	油彩・画布	72.5×53.0	
元永定正	作品(62-01)	昭和37年(1962)	油彩、アクリル、小石・画布	182.0×92.0	
福田平八郎	雉	昭和44年(1969)	絹本着色・額	75.7×44.0	武智光春 コレクション
伊東正次	藤花図	平成18年(2006)	顔料、箔、ペン・和紙	227.0×145.0	
アンドレ・ロート	マルグリットの肖像	1913年	油彩・画布	164.0×86.0	
ジャン・アルプ	ギュール	1963年(1976年鑄造)	ブロンズ	97.0×23.5×33.0	

○令和4年度新収蔵品展
常設展示室3

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
矢崎千代二	瀬戸内海	昭和10年(1935)	パステル、紙	24.4×33.2	
柳瀬正夢	〔幼児寝姿〕	昭和12年(1937)	クレヨン、紙	28.4×37.2	小林勇旧蔵
柳瀬正夢	中央公園前	昭和14年(1939)	鉛筆、水彩、紙	22.5×27.5	小林勇旧蔵
八木良太	Resonance in Perspective (A)	令和元年(2019)	パンチングメタル、フレーム	100.0×100.0×200.0	
八木良太	Resonance in Perspective (B)	令和元年(2019)	パンチングメタル、フレーム	42.0×42.0×121.0	
光島貴之	松山まち歩き —何を求める 風の中ゆく—	令和4年(2022)	ミクストメディア	壁:145×880.5×12 床:120×180×5	
山本雲溪	費長房図	嘉永4年(1851)	絹本着色・軸	31.2×50.8	塩崎素月コレク ション
沖 冠岳	竹林図	江戸時代末期-明 治時代初期	絹本墨画・額	32.8×64.8	塩崎素月コレク ション
下村為山	雑誌表紙原画	大正-昭和時代	紙本淡彩・軸(2点組)	27.0×17.4	塩崎素月コレク ション
三輪田米山	大美不言	明治37年(1904)	紙本墨書・額	32.5×134.5	岩崎一高旧蔵
三輪田米山	酔如夢	明治時代	紙本墨書・額	56.0×135.0	
三輪田米山	貼交屏風(履素、無違、文在中、独 清、成言、有終)	明治時代	紙本墨書・六曲屏風一隻	各134.5×53.9	
三輪田米山	麒麟、高尚、楽群	明治時代	紙本墨書・軸三幅対	各137.0×62.5	

○コレクション展Ⅱ／令和5年7月25日～9月29日
コレクション・ハイライト
常設展示室3

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
畦地梅太郎	九島山遠望『創作版画 伊豫風景』より	1936(昭和11)年頃	多色木版・紙	27.5×36.0	
畦地梅太郎	面河溪虎ヶ淵『創作版画 伊豫風景』より	1936(昭和11)年頃	多色木版・紙	27.5×36.0	

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
畦地梅太郎	山を歩く人	1945 (昭和20) 年	多色木版・紙	26.0×18.6	
畦地梅太郎	石鎚山『山の絵本』より	1955 (昭和30) 年	多色木版・紙	18.0×18.0	
畦地梅太郎	仙人岳 (白馬雪溪)『山の絵本』より	1955 (昭和30) 年	多色木版・紙	18.0×18.0	
畦地梅太郎	戸隠山 (牧場)	1950 (昭和25) 年	多色木版・紙	15.7×23.6	
畦地梅太郎	槍ヶ岳	1952 (昭和27) 年	多色木版・紙	18.0×18.0	
畦地梅太郎	くろゆり	1954 (昭和29) 年	木版・紙・額	35.7×25.8	
畦地梅太郎	山にねむる	1956 (昭和31) 年	多色木版・紙	30.5×45.5	
畦地梅太郎	山のひととき 『山の歌声』より	1962 (昭和37) 年	多色木版・紙	27.0×23.5	
畦地梅太郎	山を行く『山男誕生』より	1973 (昭和48) 年	多色木版・紙	23.4×17.6	
安田鞆彦	古事記	1946 (昭和21) 年	紙本着色・軸	44.0×59.5	
天野方壺	西園雅集図	1882 (明治15) 年	絹本着色・軸	149.2×56.0	
伊東深水	現代美人集第一輯 社頭の雪	1930 (昭和5) 年	多色木版・紙	43.0×27.7	
杉浦非水	非水一般応用図案集	1921 (大正10) 年	多色木版・紙	31.2×22.5	
杉浦非水	非水の図案	1916 (大正5) 年	多色木版他・紙	31.0×22.8	
杉浦非水、渡邊素舟編	『世界植物図案資料集成』	1959 (昭和34) 年	書籍	22.0×16.0	
真鍋博	会場は美しい未来都市／世界の祭りで踊ろう『エキスポガイド』挿図原画	1969 (昭和44) 年	ポスターカラー・エアブラシ・紙	28.5×31.1	
古茂田公雄	炭坑夫 (出坑)	1940-41 (昭和15-16) 年	スクラッチング・紙	54.8×72.7	
松本秀一	蟻螂Ⅱ	1994 (平成6) 年	メゾチント・紙	14.6×25.4	
福田平八郎	蛸	1968 (昭和43) 年	紙本着色・額	40.9×53.0	武智光春 コレクション
ジャン=バティスト=カミーユ・コロウ	ヴィル=ダヴレー 白樺のある池	1855-60年頃	油彩・画布	49.0×73.0	
エミール=アントワース・ブールデル	高貴な重荷	1910年	ブロンズ	83.5×23.0	

没後50年 木和村創爾郎と大宮昇 常設展示室 3

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
木和村創爾郎	浅草観音	1946 (昭和21) 年	木版・紙	478.2×42.1	
木和村創爾郎	浅草観音	制作年不詳	絹本着色・額		
木和村創爾郎	浅草観音 (新東都四景のうち)	1936 (昭和11) 年	紙本着色・二曲屏風一隻	175.5×181.0	
木和村創爾郎	酉の市	1947 (昭和22) 年	木版・紙	47.7×41.2	
木和村創爾郎	蓼科の秋	1955 (昭和30) 年	木版・紙	74.2×78.6	
木和村創爾郎	潮来初夏	1953 (昭和28) 年	木版・紙	76.0×80.0	
木和村創爾郎	松原湖晚秋	1958 (昭和33) 年	木版・紙	60.9×34.0	
木和村創爾郎	寒霞溪桜	制作年不詳	木版・紙	53.8×82.1	
木和村創爾郎	面河溪	1958 (昭和33) 年	木版・紙	71.6×29.5	
木和村創爾郎	南国風景	1967 (昭和42) 年	木版・紙	56.6×80.8	
木和村創爾郎	蝶々の家	1968 (昭和43) 年	木版・紙	80.5×56.5	
木和村創爾郎	スタンドグラス B	1961 (昭和36) 年	木版・紙	46.5×31.7	
木和村創爾郎	水槽	1972 (昭和47) 年	木版・紙	40.5×52.5	
木和村創爾郎	長瀨岩壁	1962 (昭和37) 年	木版・紙	103.0×85.0	
木和村創爾郎	写生図 (みどりのインコ)	1918 (大正7) 年	水彩・紙	28.2×40.1	
木和村創爾郎	写生図 (蟹・カマキリ)	1920 (大正9) 年	水彩・紙	28.0×36.6	
木和村創爾郎	素描資料	制作年不詳	紙本淡彩	28.0×39.0	
大宮昇	自画像	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	28.5×22.9	
大宮昇	荷車と農夫	制作年不詳	リトグラフ・紙	7.9×18.0	
大宮昇	むさし野	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	9.0×6.5	
大宮昇	表紙 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	34.3×26.6	
大宮昇	炭山の街 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	19.3×24.6	
大宮昇	坑口の捲場 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	19.8×27.1	
大宮昇	シャワー 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	20.6×28.3	
大宮昇	撰炭婦 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	20.6×27.2	

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
大宮昇	鑿岩機の男達 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	27.5×21.4	
大宮昇	炭の流れ 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	28.8×20.2	
大宮昇	奥付 『炭山画譜』より	1930 (昭和5) 年	リトグラフ・紙	23.6×16.7	
大宮昇	すいかと少年	1957 (昭和32) 年	リトグラフ・紙	31.1×21.7	
大宮昇	子規のふるさと	制作年不詳	エッチング・紙	7.0×8.8	
大宮昇	遍路石	1959 (昭和34) 年	エッチング・紙	35.3×18.1	
大宮昇	足痿えの鷺	1972 (昭和47) 年	ステンシル・紙	77.2×45.6	
大宮昇	秋草に臥す軽女	1970 (昭和45) 年	ドライポイント・紙	23.8×40.2	
大宮昇	椿をもつ乙女	1966 (昭和41) 年	ドライポイント・紙	41.2×30.0	
大宮松之	落ち椿	制作年不詳	紙本着色・額	100.0×62.5	
大宮昇	野の花の譜	1935 (昭和10) 年	水彩・紙 (画帖、全56図)	51.2×31.6	
大宮昇 (表紙)	『かゝりび』	1961~1973年			
大宮昇	『石炭を生む山』 (愛媛県立図書館蔵・個人蔵)	1942 (昭和17) 年			
大宮昇	『絵画と印刷』 (愛媛県立図書館蔵)	1944 (昭和19) 年			
大宮昇	『落椿』 (愛媛県立図書館蔵)	1969 (昭和44) 年			

○コレクション展Ⅲ／令和5年9月30日~11月19日
開館25周年記念 THE BEST COLLECTION 25
常設展示室 1

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
ポール・セザンヌ	水の反映	1888-90年頃	油彩・画布	65.0×92.0	
マリノ・マリーニ	踊り子	1953年	鉛	155.0×32.0×35.0	
杉浦非水	三越呉服店 春の新柄陳列会	大正3年 (1914)	リトグラフ、オフセット・紙	105.6×76.4	
杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通	昭和2年 (1927)	リトグラフ、オフセット・紙	91.4×62.0	
畦地梅太郎	白い像	昭和33年 (1958)	多色木版、紙	70.0×44.9	
畦地梅太郎	石鎚山	昭和60年 (1985)	木版・紙	40.0×80.0	
真鍋 博	アンドロイドは電気羊の夢を見るか?	昭和44年 (1969)	印画紙・原画・ブラシ	26.7×18.0	
真鍋 博	にぎやかな未来	昭和53年 (1978)	紙・原稿・コピー	14.2×19.6	
中村 彝	自画像	大正5年 (1916)	油彩・画布	45.5×37.5	
安井曾太郎	樹蔭	大正8年 (1919)	油彩・画布	129.8×161.0	
中川八郎	裾野残雪	大正9年 (1920)	油彩・画布	60.6×80.3	
柳瀬正夢	底の復報	大正11年 (1922)	油彩・板	23.7×23.7	
藤田嗣治	立つ裸婦	大正13年 (1924)	油彩・画布	99.6×64.6	
野間仁根	夜の床	昭和3年 (1928)	油彩・画布	195.0×130.5	
古茂田守介	静物 (2)	昭和30年 (1955)	油彩・画布	50.0×60.6	
猪熊弦一郎	LANDSCAPE L.O.	昭和47年 (1972)	アクリル・画布	127.5×102.0	
巖 嘸	Rainbow Rain	昭和52年 (1977)	アクリル・画布	194.0×259.0	
小清水漸	舟・赤い	昭和61年 (1986)	檜・水銀朱・白大理石・塩地	75.0×150.0	
松本山雪	製茶風俗図屏風	江戸時代前期	紙本着色・屏風	161.5×360.0	
三輪田米山	福祿寿	明治30年 (1897)	紙本墨書・軸三幅対	166.5×89.4	
横山大観	曳船	明治38年 (1905)	絹本着色・軸	118.7×50.2	
安田靉彦	守屋大連	明治41年 (1908)	絹本着色・軸	150.3×57.0	
富岡鉄斎	鮮魚図	明治43年 (1910)	紙本着色・軸	136.5×47.4	
福田平八郎	鴛鴦	昭和40年 (1965)	絹本着色・額	65.0×97.0	武智光春 コレクション
東山魁夷	波響く	昭和60年 (1985)	紙本着色・額	52.5×100.0	

みる冒険 手触りとの対話
常設展示室 1

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
川端龍子	荒海	1953 (昭和28) 年	絹本着色・額	131.0×72.0	
天野方壺	花果図	1886 (明治19) 年	絹本着色・掛幅	133.0×52.5	

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
吉田勝彦	冬深き日 銅版画集『森』より	1988 (昭和63) 年	エッチング・紙	45.8×60.0	
難波田龍起	コンポジション (青) A	1967 (昭和42) 年	油彩・画布	116.3×81.3	

○コレクション展Ⅳ／令和5年11月25日～令和6年1月8日
 開館25周年記念展 Inter-Action 県美コレクションが生んだ出会いと交流
 常設展示室 1

作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
速水御舟	ベルラジオの裏街	1931 (昭和6) 年	絹本着色・額	69.5×31.5	
吉田勝彦	小さな永遠	1981 (昭和56) 年	メゾチント、紙・額	30.4×20.0	
福田平八郎	隈笹	1965 (昭和40) 年	絹本着色・額	53.5×44.5	武智光春コレクション
河原朝生	壘の静物	2007 (平成19) 年	油彩・画布	65.0×53.0	寺田コレクション
白岡順	新居浜、愛媛 1971年11月	1971 (昭和46) 年	ゼラチンシルバープリント	16.6×24.6	
吉峯和美	Passage of time 2	2008 (平成20) 年	油彩・亜麻	50.0×55.0	
吉峯和美	Passage of time 3	2008 (平成20) 年	油彩・亜麻	50.0×55.0	
靄島伸彦	Untitled (Rabbit-Black)	1998 (平成10) 年	アクリル、顔料・画布	45.5×45.5	寺田コレクション
杉浦非水	タングラム	1913 (大正2) 年	書籍	15.0×22.5	
進藤裕代	グアナファトの町	1993 (平成5) 年	油彩・画布	41.0×53.0	寺田コレクション
真鍋博	車のない社会	1970 (昭和45) 年	紙・墨・インク・ポスターカラー・TP (鉛筆・色鉛筆)	31.0×41.8	
白岡順	Centre G. Pompidou, France 2006年7月10日	2006 (平成18) 年	ゼラチンシルバープリント	16.6×24.6	
畦地梅太郎	大正池 『山湖』より	1946 (昭和21) 年	多色木版・紙	26.0×36.4	
福田平八郎	雪庭	1955 (昭和30) 年	絹本着色・額	40.7×52.4	武智光春コレクション
李禹煥	突きより	1973 (昭和48) 年	紙・パネル	70.0×60.0	
鈴木亘彦	気色4	1999 (平成11) 年	ガラス・ハンダ・ミクストメディア・ポリ エステルレジン	60.0×60.0	寺田コレクション
鈴木松年	山水図	1901 (明治34) 年	紙本金地墨画淡彩・六曲屏風一雙	176.5×393.0 (各)	
田窪恭治	化石84-6	1984 (昭和59) 年	木・金箔・石膏・蜜蝋	310.0×200.0	
真鍋博	鉛筆の鳥	1958 (昭和33) 年	油彩・画布	116.0×91.0	
黒光茂樹	今朝の雪	1970 (昭和45) 年	紙本着色・額	181.8×227.1	
杉浦非水	土管の雪	1934 (昭和9) 年	紙	22.5×29.8	
橋本興家	雨	1966 (昭和41) 年	多色木版・紙	48.3×60.1	
山本雲溪	猿之図	1851 (嘉永4) 年	紙本着色・軸	120.8×52.1	
大内蘇圃	群猿	江戸時代後期	絹本着色・軸	117.6×41.8	
中川八郎	風景(投網)	明治時代後期	水彩・紙	33.6×50.7	
吉田博	藤香漂う春の宵図	明治時代後期	水彩・紙	50.5×33.9	

2 企画展示・共催展示

企画展示一覧

場所	展覧会名	会期
本館	大竹伸朗展	令和5年5月3日(水・祝)～7月2日(日)
	海洋堂展 創るたのしみをすべての人に	令和5年7月22日(土)～9月18日(月・振休)
	ヨハネ・パウロ2世美術館展	令和5年9月23日(土)～11月26日(日)
	作家生活20周年記念 コンドウアキのおしごと展	令和6年1月20日(土)～3月24日(日)
	瀬戸内海国立公園指定90周年 わたしのうみART / LIFE	令和6年2月7日(水)～3月24日(日)

共催展示一覧

場所	展覧会名	会期
本館	石村嘉成展 いきものだいす	令和5年7月5日(土)～9月10日(日)
	鈴木敏夫とジブリ展	令和5年12月9日(土)～ 令和6年1月21日(日)

愛媛県美術館開館 25 周年記念 大竹伸朗展

- 会 期：** 令和 5 年 5 月 3 日（水・祝） - 7 月 2 日（日）（53 日間）
主 催： 愛媛県美術館、東京国立近代美術館
協 賛： 株式会社ベネッセホールディングス、公益財団法人 福武財団
愛媛展協賛： 愛媛銀行、道後温泉旅館協同組合、株式会社サンメディカル、NINO INC.、有限会社スタジオ広遊、
藤田産業株式会社、TM トミオカ株式会社、株式会社ア・ファクトリー、道後商店街振興組合
特別協力： TAKE NINAGAWA、宇和島市、松山市、未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会
会 場： 企画展示室 1・2、常設展示室 1・2

趣 旨

大竹伸朗（1955 - ）は東京都に生まれ、分野を限定することなく多彩に活動を展開し、世界を舞台に活躍する芸術家。1988 年以降は愛媛県宇和島市に制作の拠点を移し、《ニューシャネル》や《宇和島駅》を始め、宇和島を題材とした作品も数多くみられる。

大竹は、消費され、忘却されてゆくようなあらゆるものに着目し、それらを着想源として独創性に溢れる作品を手掛けている。本展は、ライフワークとして 1977 年から制作を続ける《スクラップブック》の当時の最新作までの全 71 冊のほか、巨大なスクラップブックを内包するドクメンタ出品作《モンシェリー：スクラップ小屋としての自画像》、また遠隔操作による大型演奏装置《ダブ平&ニューシャネル》など、記念碑的な作品を多く含む大規模な回顧展として、東京国立近代美術館で立ち上げ後、当館と富山県美術館で開催した。

また本展では、敢えて作品を時系列から切り離し、7 つの重要な要素「自／他」「記憶」「時間」「移行」「夢／網膜」「層」「音」に振り分けて、幼少期から現在までの選び抜かれた作品およそ 500 点を紹介した。さらに、初の地元開催となる愛媛展では、宇和島市、そして道後温泉（松山市）と連携した特別展示も実施した。

観覧者数： 15,055 名

関連行事

オープニングトークイベント

日 時： 5 月 3 日（水・祝） 14：00～16：00
出 演： 大竹伸朗
場 所： 愛媛県美術館 講堂
参加人数： 112 名

NHK 制作『21 世紀の BUG 男 画家 大竹伸朗』スペシャルトークイベント

日 時： 6 月 10 日（土） 15：00～17：00
出 演： 大竹伸朗
ゲ ス ト： 栗田和久（NHK 放送センター チーフディレクター）、
上原光紀（NHK 放送センター アナウンサー）
場 所： 愛媛県美術館 講堂
参加人数： 112 名

クロージングトークイベント

日 時： 7 月 1 日（土） 15：00～17：00
出 演： 大竹伸朗
場 所： 愛媛県美術館 講堂
参加人数： 144 名

大竹伸朗《ダブ平&ニューシャネル》デモンストレーション演奏およびサイン会

日 時：5月13日（土）、7月2日（日） 各①11：00～12：30／②14：00～15：30
 場 所：大竹伸朗展第2会場（本館2F）および本館1Fエントランスホール
 参加人数：延801名

【日時限定公開】《モンシェリー：スクラップ小屋としての自画像》蒸気排出バージョン

ドクメンタ（13）で初出品され、カッセルの公園内に屋外展示された本作品が蒸気を排出する情景を、日時を限定して公開した。

日 時：5月4日（木・祝）、5月7日（日）から7月2日（日）までの毎週日曜日 14：00～14：30
 場 所：愛媛県美術館 企画展示室

学芸員によるフロアレクチャー

日 時：5月20日（土）、6月18日（日） 各14：00～（1時間程度）
 講 師：杉山はるか（当館専門学芸員）
 場 所：愛媛県美術館 企画展示室、常設展示室1・2
 参加人数：延65名

対話型鑑賞プログラム

日 時：5月7日（日）、21日（日）、6月4日（日）、18日（日）、7月2日（日）
 各日11：00～11：30
 ナビゲーター：当館作品ガイドボランティア
 場 所：愛媛県美術館 研修室
 参加人数：延106名

鑑賞サポート

視覚障がい者の方への鑑賞のサポート
 担 当：田代亜矢子（当館専門学芸員・担当係長）
 参加人数：1名

【連動企画】

NHK制作「21世紀のBUG男 画家 大竹伸朗」8K上映（99分）

大竹伸朗展のメインビジュアルとなった《残景0》が制作される過程を、高精細で臨場感がある8Kの映像で上映。

主 催：NHK松山放送局
 共 催：愛媛県美術館
 会 期：5月3日（水・祝）～7月2日（日）
 場 所：愛媛県美術館 多目的ルーム
 参加人数：延1,226名（※5/19～7/2）

SNS投稿キャンペーン

「大竹伸朗展」をシェアして道後《熱景／NETSU-KEI》に会おう

《宇和島駅》の写真をSNSに投稿し、その画面を提示した方に抽選で道後商店街のお買い物券をプレゼント。

抽選会場：愛媛県美術館2階会場前
 協 賛：道後温泉商店街振興組合
 参加人数：延109名

エントランスホール展示「宇和島駅」

大竹伸朗の作品《宇和島駅》が愛媛県美術館に屋外展示されたことを記念し、移り行く宇和島駅の変遷を写真と資料で紹介した。

主 催：愛媛県美術館
 場 所：愛媛県美術館 エントランスホール
 資料提供：宇和島市教育委員会・宇和島市立図書館・愛媛県立図書館・愛媛県歴史文化博物館

ミニレクチャー「宇和島駅」

日 時：令和5年5月27日（土） 14：00～14：30
 講 師：愛媛県美術館学芸課長 土居 聡朋
 場 所：愛媛県美術館 研修室
 参加人数：26名

絵本ワークショップ よむ・きく・つくる おおたけしんろう展

絵本「ジャリおじさん」（絵・文／大竹伸朗）の読み聞かせ後、4コマの印刷物や色紙の切り貼りによる絵本づくりをした。

主 催：愛媛県美術館
 日 時：6月11日（日） 10：30～11：45
 読み聞かせ：菅 弥和乃（絵本専門士）
 創作進行：美術館スタッフ
 場 所：愛媛県美術館 展望ロビー
 参加人数：20名（対象：5歳～小学生まで）

みんなのスクラップボード

来館者が印刷物や色紙、テープを貼り、様々なイメージを積み重ねて、日々変化するスクラップボードを楽しんだ。

主 催：愛媛県美術館
 会 期：6月1日（木）～7月2日（日）
 時 間：9：40～18：00 ※随時参加可。
 場 所：愛媛県美術館 エントランスホール
 参加人数：延1,644名

the park M's coffee提供 期間限定スペシャルメニュー

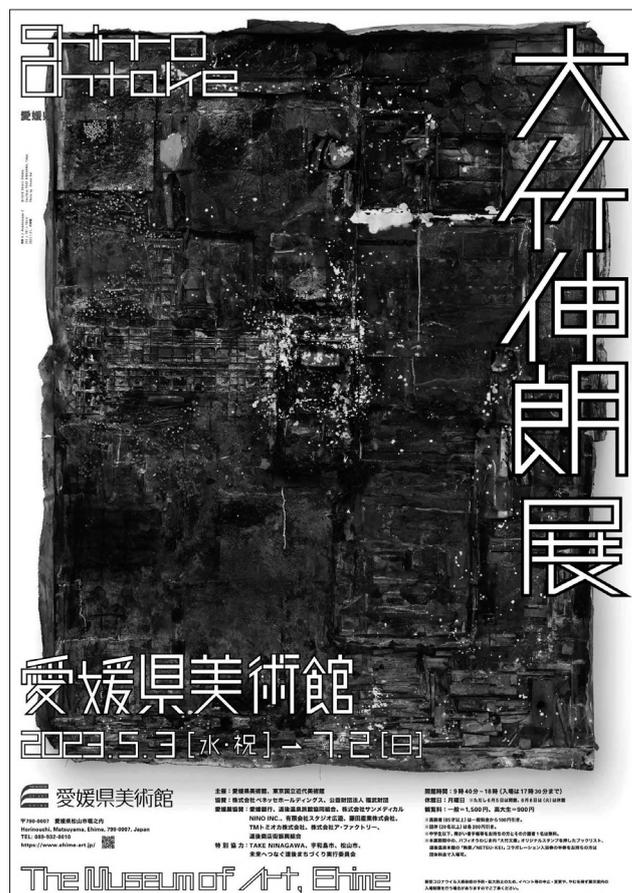
提供メニュー：じゃこかつバーガー（ポテト付き）
 道後ビール [ケルシュ]

主 催：the park M's coffee
 （当館カフェレストラン）
 期 間：5月2日（火）～7月2日（日）
 購買人数：バーガー：延410人、ビール：延48人

愛媛県立図書館「大竹伸朗本」

隣接する愛媛県立図書館で、大竹伸朗関連書籍を集めた展示コーナーを設置した。

主 催：愛媛県立図書館
 会 期：4月11日（火）～6月29日（木）
 休 館 日：月曜日および4月28日（金）、
 5月31日（水）
 開館時間：平日（火～金）9：40～19：00、
 土・日・祝9：40～18：00
 場 所：愛媛県立図書館3階一般図書室



作品リスト

愛媛県美術館

May 3 (Wed.) - July 2 (Sun.), 2023

・この作品リストは東京会場、愛媛会場、富山会場共通です。(ただし、E-1~E-14は愛媛会場のみ展示します。)

・作品番号は本展図録および会場内の番号と一致しますが、展示の順序とは一致しません。

・所蔵先の表記がない作品は作家蔵です(協力: TAKE NINAGAWA)。

・都合により、出品作品に変更が生じる場合があります。

自/他

001
モンジェリー: スクラップ小屋としての自画像
2012 / Dimensions variable

002
「黒い」 「紫電改」
1964 / 27 × 38 cm

003
ダイアン・アーバス《よく似た双子ニュージャージー州ローゼル 1967》による習作
1973 / 33.3 × 24.2 cm

004
自画像
1973 / 80.4 × 65.2 cm

005-1
別海
1974 / 11 × 7.5 cm each

005-2
歌志内
1975 / 11 × 7.5 cm each

006
頬杖をつく自画像
1974.4.22 / 43.1 × 30.2 cm

007
死産
1974.5.28 / 24.5 × 35.7 cm

008
空と道/別海
1981 / 91 × 72.5 cm

009
西別川の秋、別海
1974 / 31.5 × 48.3 cm

010
UK 77
1977-78 / 11 × 7.5 cm each

011
到着日夜中の自画像、リージェンツ・パーク・ホテル
1977.5.3 / 23 × 14.1 cm

012
両足の間の街並、アレキサンダー・パーク
1977 / 14.5 × 18 cm

013
1979年5月7日
1979 / 40.7 × 32 cm
ジェハン・チュー&アラン・ローコレクション

014
Portraits by Richard Avedon より
1979 / 54 × 38.8 cm

015
MICHELLE: FIND THIS MAN
1978 / 74.5 × 42.7 cm

016
武蔵野美術大学芸術学部油絵科卒業制作展のための自画像
1980 / 55.9 × 48.5 cm

017
男と木
1978 / 44 × 28 × 5.5 cm

018
ストラト
1975 / 91.5 × 116.7 cm

019
B.E.
1979 / 51.5 × 23.6 cm

020
Artists Only
1978 / 42 × 59.5 cm

021
ハイウェイ 61
1975 / 48 × 57.5 cm

022
男
1975 / 77.4 × 53.2 cm

023
男
1974-75 / 165 × 83 × 53 cm
富山県美術館

024
ミスター・ピーナッツ
1978-81 / 91 × 72.5 cm
個人蔵

025
紅茶を運ぶ黄色い天使
1982 / 162 × 162 × 10 cm
公益財団法人 福武財団

026
EZMD V
1985 / 91 × 72.7 cm

027
EZMD I
1984 / 194 × 162 cm

028
トルソとギター
1988 / 54 × 39.5 × 12 cm
東京国立近代美術館

029
写真に撮られたミチコ
1984 / 91 × 72.7 cm

030
JJ.
1986.10.14 / 91 × 73 cm

031
豆腐屋のどんかつ
2015.9.15 / 53 × 45.5 cm

032
静物、マティスにならって
2007.4.14 / 45.5 × 53 cm

033
ボリス・カーロフ II
2000 / 70 × 50 cm

034
露光/ピストルと男
2004.12.9-2005.1.10 / 70.2 × 50 cm

035
露光/男
2004.11 / 70.5 × 50 cm

036
アンディー・ウォーホルの肖像
1996 / 26.7 × 21.4 cm

037
Tornado Alley 1
1992 / 43.5 × 32 cm

038
After A. Jarry
1995.3 / 38 × 28.2 cm

039
Kingsway Studio, New Orleans
1994.9.15 / 26.7 × 19.4 cm

040
Takemitsu
2007.10.23 / 25.7 × 18.2 cm

041
D. Hockney Drawing for Lithograph at Bradford
1984 / 25.7 × 37 cm

042
武満徹とラッセル・ミルズ
1990.10.8 / 14.3 × 7.2 cm

217
影 I
1987 / 195 × 195 cm
公益財団法人 福武財団

218
浮かぶコピュ
1994 / 123.5 × 68 × 20.2 cm

222
東京—京都スクラップ・イメージ
1984 / 203.4 × 162.2 cm
公益財団法人 福武財団

223
エコー・オブ・サンダー
1985-87 / 225 × 166 × 13 cm
公益財団法人 福武財団

224
Nail Fetish
1986 / 207 × 122.5 × 12 cm
公益財団法人 福武財団

225
湾 I
1990 / 207 × 452 × 15 cm

226
船首影
1990 / 170 × 302 × 15 cm

記憶

043
残景 32
2020-21 / 66 × 40 × 23 cm
藤本治聖氏蔵

044
残景 14
2020 / 100 × 70 × 12 cm
白井コレクション

045
ナイロビ II
1984 / 117 × 117 cm

046
記憶の形
1984 / 108.2 × 90.1 × 5.5 cm
桶田コレクション

047
網膜 (ストロボ I)
1992 / 100 × 70 cm

048
時憶/端 6
2015 / 30.3 × 21 × 1.5 cm

049
時憶/端 27
2016 / 100.5 × 71 cm

050
時憶/断層 10
2015 / 91 × 73 × 9.5 cm
ウェンディ・リーコレクション

051
時憶 12
2011 / 100 × 70 cm

052
放棄地帯/窓にて
2019 / 47 × 29.5 cm
個人蔵

053
放棄地帯
2019 / 100 × 70 × 11 cm

054
New Boots
1987 / 162 × 162 cm

055
ジェノヴァ I
1985 / 190 × 185 cm

056
憶片
2005 / 40 × 90 × 37 cm

057
ヘッド
1988 / 111 × 57 × 31 cm

219
サンティアゴ
1985 / 194 × 386 cm
富山県美術館

220
憶景 14
2018 / 153 × 133 × 9.2 cm

221
時憶 30
2018 / 200 × 150 × 10 cm

時間

058
ムイタ
1979 / 40 × 15.7 cm

059
4つのチャンス
1984 / 162 × 162 cm

060
赤いへび、緑のへび
1984 / 162 × 162 cm

061
モンパサ II
1983 / 162 × 162 cm

062
トーチカ I
1988 / 190.2 × 185 cm

063
時憶/プロジェクション 2
2017 / 244 × 40 × 40 cm

064
時憶 31 / プロジェクション
2019 / 200 × 150 × 20 cm

065
時憶 32 / プロジェクション
2019 / 200 × 150 × 20 cm

066
網膜/境界景 7
1990-2015 / 230.5 × 170.5 × 10.5 cm
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金

067
網膜/エナジー・トラック
1990-2020 / 148 × 110 × 8 cm
個人蔵

068
網膜/闇熱 8
1990 / 55.7 × 45.5 cm

069
網膜/太陽風 1
1990-2020 / 230 × 170 × 10 cm
植島コレクション

070
時憶/断層 8
2015 / 91 × 73 × 11.5 cm
個人蔵

071 音痕 2 2010 / 29.6 × 21 cm 個人蔵	093 高原の少女たち 猪苗代／郡山 1998.12.11-12.16 / 49.9 × 70.3 cm	115 網膜 (左眼) 1990-91 / 314 × 150 cm	スクラップブック 227 スクラップブック #1 / ロンドン 1977 / 21.5 × 13.2 × 3.6 cm
072 時憶／フィードバック 2015 / 42 × 42 × 96 cm	094 天女昇天 鳴門／新宿 1999 / 50.2 × 70.4 cm	116 網膜 (右眼) 1990-91 / 314 × 150 cm	228 スクラップブック #2 / ロンドン 1977-78 / 29.2 × 23.5 × 5.8 cm
移行	095 インターチェンジ 新宿／ホノルル 1997 / 50.1 × 70.3 cm	117 網膜 #1 (白ナイル) 1988-90 / 250 × 180.5 × 7.5 cm ジェハン・チュー&アラン・ローコレクション	229 スクラップブック #3 / ロンドン 1977-78 / 22.5 × 17.6 × 4.6 cm
073 Explorer 1985 / 100 × 70 cm	096 ニューシャネル 1998 / 179 × 73.5 × 16.6 cm	118 網膜 (クレバス) 1990 / 300 × 230 × 11 cm	230 スクラップブック #4 / 東京 1979 / 19 × 13.7 × 3.9 cm
074 ナイロビ VI 1983 / 78.4 × 62.2 × 2.7 cm	097 日本景 X 1998 / 60 × 45 × 16.6 cm	119 網膜 (窓) 1989 / 60 × 34.5 cm	231 スクラップブック #5 / 東京 1979.8.1- / 26.3 × 20.1 × 5.6 cm
075 露光／眼岩 4 2003.9.24-9.25 / 70.5 × 50.3 cm	098 日本景 XI 1998 / 60 × 45 × 16.6 cm	120 ブラック・アンド・ホワイト #7 1989 / 20.5 × 13.9 cm 個人蔵	232 スクラップブック #6 / 東京／香港 1979.8-9 / 26.3 × 19.8 × 5.1 cm
076 日本について 1979 / 36.5 × 14.7 cm	099 日本景／新宿 1997 / 131 × 94 × 8 cm	121 ブラック・アンド・ホワイト #9 1989 / 21.4 × 14.8 cm	233 スクラップブック #7 / 東京／香港 1979.9 / 18.8 × 14.1 × 5.3 cm
078 金沢、黄門橋 1985 / 172 × 172.5 cm	100 青の移動／フランケンシュタイン 1978 / 54.5 × 39.5 cm	122 ブラック・アンド・ホワイト #10 1989 / 21.2 × 13.7 cm 個人蔵	234 スクラップブック #8 / 東京／香港 1979.10 / 26.5 × 20.1 × 4.7 cm
079 ニュー・フロリダ、ナイロビ 1983 / 162 × 162 cm 吉田美奈子氏蔵	101 日本景／東京 II 1997 / 300 × 210 × 10 cm 公益財団法人 福武財団	123 ブラック・アンド・ホワイト #11 1989 / 20.8 × 14.9 cm	235 スクラップブック #9 / 東京／香港 1979.11.11-12.14 / 29.9 × 23 × 4.6 cm
080 象 II 1985 / 150 × 150 cm	102 壁、ロンドン 1978 / 53 × 43 cm	124 ブラック・アンド・ホワイト #15 1989 / 21.9 × 13.8 cm 個人蔵	236 スクラップブック #10 / 東京 1979.12-1980.1 / 26.4 × 20.3 × 6.6 cm
081 Catholicism with Pagan 1986 / 190 × 185 cm 白井コレクション	103 スプレーされた壁 2003.10.19 / 72.6 × 60.8 cm	125 ブラック・アンド・ホワイト #16 1989 / 21 × 14.1 cm 個人蔵	237 スクラップブック #11 / 東京 1980.1.1-1.31 / 19 × 15.8 × 7.6 cm
082 Impression of the Fall 1984 / 162 × 162 cm	104 ピンク・ボックス 1980 / 18.6 × 23.7 × 14.1 cm	126 網膜／蒼色無限 1989 / 100 × 74.2 × 10 cm	238 スクラップブック #12 / 東京 1980.2.18-3.10 / 18.8 × 14.2 × 4.2 cm
083 ナイロビでの私の生活 1984 / 121.5 × 121.5 cm 公益財団法人 福武財団	105 網膜台 (アンブルサイド) 1991-92 / 173.5 × 212 × 114 cm	夢／網膜	239 スクラップブック #13 / 東京 1980.3 / 26.7 × 20.5 × 7.2 cm
084 ティーチング・オブ・イスラム I 1983 / 117 × 117 cm	106 ガレージ 1984 / 162 × 162 cm	127 網膜 #31 (キャンドル・スモーク) 1990-91 / 240 × 181 × 5.3 cm	240 スクラップブック #14 / ロンドン 1980.5 / 30.5 × 21.2 × 3.4 cm
085 ティーチング・オブ・イスラム II 1983 / 117 × 117 cm	107 赤い兵士 1984 / 91.5 × 64.5 cm	128 網膜 #35 (地図) 1991 / 100 × 74 × 10 cm	241 スクラップブック #15 / ロンドン 1980.7 / 30.6 × 21.1 × 3.2 cm
086 Pond II 1984 / 162 × 292 cm	108 メンフィス・ボード 1989 / 46.2 × 64 × 28.2 cm	129 マネキン 2 1985 / 18 × 12.9 cm	242 スクラップブック #16 / モスクワ／ロンドン／パリ／香港 1980.9 / 20.8 × 15.7 × 11.4 cm
087 ブリティッシュ・カー I 1977 / 18.7 × 18.8 cm	109 網膜 No.1 (風景 1) 1991 / 91 × 73 cm	130 ファインダー像 1988-90 / 25.4 × 20.3 cm	243 スクラップブック #17 / 香港／東京 1980.9.30-12.14 / 26.6 × 19.9 × 7.7 cm
088 裸夫 1979 / 37.5 × 27.8 cm	110 網膜 No.8 (風景 8) 1991 / 91 × 73 cm	131 ファインダー像 III 1988-90 / 24.4 × 20.3 cm	244 スクラップブック #18 / 東京 1980.12-1981.2 / 26.4 × 20.6 × 5.4 cm
089 地図、中環 1980 / 16.8 × 12 cm 渡伸一郎氏蔵	111 網膜 (赤の上の移動) 1991-92 / 43 × 27.5 × 6 cm	132 Small Retina 1988-90 / 26.7 × 20.6 cm	245 スクラップブック #19 / 東京 1981.2.16-3.18 / 26.2 × 19.3 × 4.6 cm
090 ディスプレイ・ウィンドウ、イステイ クラル大通り 1994 / 26.7 × 19.4 cm	112 網膜 (茶の前の落下) 1991-93 / 120 × 56 × 60 cm	133 ファインダー像 VIII 1988-90 / 35.6 × 20.5 cm	246 スクラップブック #20 / 東京 1981.4.14-5.19 / 26.5 × 20.1 × 5.1 cm
091 ハーレムの青いシート、トプカブ 1994 / 26.7 × 19.4 cm	113 ミシシッピー・ブルー 1989 / 268 × 271 × 4 cm ジェハン・チュー&アラン・ローコレクション	134 網膜／砂丘にて 3 1990-2020 / 148 × 110 × 8 cm 個人蔵	247 スクラップブック #21 / 東京 1981.4.20-6.2 / 26.5 × 19.3 × 6.2 cm
092 ひねもす叫び 新宿／新潟／熊本 1999 / 46.1 × 70.2 cm	114 メンフィス #2 1989 / 252 × 180 × 4 cm ジェハン・チュー&アラン・ローコレクション	135 網膜／時影 4 1990-2015 / 150 × 110 × 8 cm	248 スクラップブック #22 / 東京 1981.7.3-7.31 / 26.4 × 20.5 × 7.8 cm

- 250
スクラップブック #24 / 東京
1981.9.19-11.17
26.4 × 21.8 × 10.6 cm
- 251
スクラップブック #25 / 東京
1981.11.18-12.31
30.6 × 22.2 × 5.9 cm
- 252
スクラップブック #26 / 東京 / 香港
1982.1.1-2.4 / 26.5 × 20.9 × 4.3 cm
- 253
スクラップブック #27 / 東京
1982.2.10-3.10 / 26.6 × 20.6 × 8.8 cm
- 254
スクラップブック #28 / 東京
1982.5.10-8.10 / 26.5 × 21.7 × 7.1 cm
- 255
スクラップブック #29 / 東京 / 香港
1983.2-3 / 29.4 × 26.1 × 7.3 cm
- 256
スクラップブック #30 / 東京
1983.2-3 / 29.8 × 26.2 × 6.7 cm
- 257
スクラップブック #31 / 東京 / ニュー
ヨーク
1983.5-9 / 29.4 × 26.5 × 5.8 cm
- 258
スクラップブック #32 / ニューヨーク
/ 東京
1983.5.20-7 / 29.3 × 26.2 × 7.4 cm
- 259
スクラップブック #33 / ロンドン /
アフリカ (ケニア)
1983 / 55.8 × 22.3 × 15.3 cm
- 260
スクラップブック #34 / ニューヨーク
1983.6 / 26.5 × 20.7 × 6.7 cm
- 261
スクラップブック #35 / 東京
1982.4-1983.9 / 26.7 × 20 × 6.4 cm
- 262
スクラップブック #36 / 東京
1983.8 / 26.5 × 20.5 × 5.6 cm
- 263
スクラップブック #37 / 東京
1983.10.8-1984.1.31
26.6 × 20.8 × 4.8 cm
- 264
スクラップブック #38 / 東京
1984.1.1-4 / 26.7 × 19.9 × 5.8 cm
- 265
スクラップブック #39 / 東京 / ロンドン
1984.7.17- / 26.5 × 19.8 × 5.2 cm
- 266
スクラップブック #40 / 東京 / ロンドン
1984.7 / 26.5 × 21.2 × 10.2 cm
- 267
スクラップブック #41 / 東京
1984.9 / 29.2 × 26.2 × 6.2 cm
- 268
スクラップブック #42 / 東京 / ロンドン
1984.9.4-11.20 / 26.1 × 21.3 × 9.7 cm
- 269
スクラップブック #43 / ベルリン
1984.12-1988.7.23
26.6 × 21.3 × 11.4 cm
- 270
スクラップブック #44 / パリ
1985.7.8- / 26.4 × 19.2 × 4.7 cm
- 271
スクラップブック #45 / パリ
1985 / 26.5 × 19.9 × 5.2 cm
- 272
スクラップブック #46 / 東京 / ベルリ
ン / 北海道
1985.1.1-3.31 / 48.6 × 21 × 8.8 cm
- 273
スクラップブック #47 / 東京
1990.12-1991.2 / 24.1 × 20 × 10.6 cm
- 274
スクラップブック #48 / 東京 / 宇和島
1991.9.29- / 31.3 × 24.8 × 22.6 cm
- 275
スクラップブック #49 / 宇和島
1992.11 / 29.8 × 25.7 × 17.7 cm
- 276
スクラップブック #50 「網膜 / 銀色の
チーズ」 / 宇和島
1992 / 67.1 × 56.8 × 9.4 cm
- 277
スクラップブック #51 / モロッコ
1993 / 26.6 × 22.3 × 11.2 cm
- 278
スクラップブック #52 / 宇和島
1993-95 / 31.2 × 27.1 × 17.2 cm
- 279
スクラップブック #53 / イスタンブール
1994-95 / 44.2 × 26.4 × 17.3 cm
- 280
スクラップブック #54 / 宇和島
1994-95 / 29.9 × 23.9 × 19.8 cm
- 281
スクラップブック #55 / 宇和島
1994-96 / 39.5 × 30.6 × 55.4 cm
- 282
スクラップブック #56 / 宇和島
1996-97 / 37.8 × 34.6 × 16.4 cm
- 283
スクラップブック #57 / 宇和島
1997.4.4-1999.12.15
39.8 × 32.4 × 13.8 cm
- 284
スクラップブック #58 / 宇和島
1998
scrapbook: 34.9 × 28 × 12.2 cm;
appendix: 2.9 × 23 × 41.2 cm
- 285
スクラップブック #59 / 宇和島 / ロン
ドン
1999.12.13-2000.8
scrapbook: 29.5 × 25.7 × 14.8 cm;
guitar: 68.5 × 21.2 cm
- 286
スクラップブック #60 / 宇和島
2000 / 37.6 × 27.1 × 9.1 cm
- 287
スクラップブック #61 / 宇和島
2002.4.16-10.3 / 31 × 26.9 × 13.6 cm
- 288
スクラップブック #62 / 宇和島
2002.11.2-2003.1.2
29.9 × 24.6 × 15.9 cm
- 289
スクラップブック #63 / 宇和島
2003.7.2-12.13
34.2 × 27.2 × 16.1 cm
- 290
スクラップブック #64 / 宇和島
2003-05 / 50.6 × 54 × 62.2 cm
- 291
スクラップブック #65 / 宇和島
2005.3-2010.5.20 / 54 × 47 × 80 cm
- 292
スクラップブック #66 / 宇和島
2010-12 / 72 × 96 × 129 cm
- 293
スクラップブック #67 / 宇和島
2014 / 47 × 47.5 × 74 cm
- 294
スクラップブック #68 / 宇和島
2014.2.14-2016.5.25
41 × 39 × 33 cm
- 295
スクラップブック #69 / 宇和島
2016.5.26-2017.5.31
36.7 × 57.5 × 32 cm
- 296
スクラップブック #70 / 宇和島
2017.6.26-2018.8.31
36.5 × 47.5 × 23 cm
- 297
スクラップブック #71 / 宇和島
2018.9.10-2021.1.31
33 × 85.5 × 40.4 cm
- 層
- 136
網膜 (ニュー・トン・オブ・タンジェ I)
1992-93 / 216 × 212 × 82 cm
- 137
網膜 (落下する銀の記憶)
1994 / 274 × 187 × 26 cm
- 138
網膜 (ワイヤー・ホライズン、タンジェ)
1990-93 / 274 × 187 × 20 cm
東京国立近代美術館
- 139
バグレイヤー / 0 と 1 の肖像
2000-01 / 220.6 × 470 × 14 cm
- 140
LONDON/HONCON 1980 X
1986 / 109.3 × 79.1 cm
公益財団法人 福武財団
- 141
Wallpaper
1978-79 / 162 × 162.5 cm
- 142
芥子 / 音影 I
2008 / 216 × 194 × 4 cm
- 143
芥子 / 音影 II
2008 / 125 × 105 × 8.5 cm
愛媛県美術館
- 144
憶景 19
2018 / 153 × 133 × 9.2 cm
- 145
東京—プエルト・リコ
1986 / 198.5 × 194 cm
公益財団法人 福武財団
- 146
おかま牛の憂鬱
1987-88 / 227 × 200 × 30 cm
- 147
家系図
1986-88 / 265 × 265 × 20 cm
セゾン現代美術館
- 148
夢 / アポリネール、マカオ
1980 / 16.8 × 11.9 cm
- 149
中環、香港 (9月15日)
1980 / 16.8 × 11.7 cm
渡伸一郎氏蔵
- 150
室内、銅鑼灣
1980 / 16.5 × 12.5 cm
渡伸一郎氏蔵
- 151
置富花園 (チー・ファー・ファー・ユーエン)
1980 / 16.8 × 12.1 cm
渡伸一郎氏蔵
- 152
ラヴラヴラヴ、英皇道、香港
1980 / 16.8 × 12 cm
- 153
窓からのシーメンス・ビル、銅鑼灣
1980 / 24.1 × 17.7 cm
- 154
TARGET
1979 / 54.5 × 41.2 cm
- 155
網膜 (エンパイヤ)
1983-89 / 54.5 × 41.2 cm
- 156
網膜地図 #83
1991 / 45 × 30.5 × 10.5 cm
- 157
網膜地図 #58
1991 / 45 × 30.5 × 10.5 cm
個人蔵
- 298
冊束 #1
2021 / 20 × 14.5 cm
- 299
冊束 #2
2021 / 20 × 14.5 cm
- 300
冊束 #3
2021 / 20 × 14.5 cm
- 301
冊束 #4
2021 / 20 × 14.5 cm
- 302
冊束 #5
2021 / 20 × 14.5 cm
- 303
冊束 #6
2021 / 20 × 14.5 cm
- 304
冊束 #7
2021 / 20 × 14.5 cm
- 305
冊束 #8
2021 / 20 × 14.5 cm
- 306
冊束 #9
2021 / 20 × 14.5 cm
- 307
冊束 #10
2021 / 20 × 14.5 cm
- 308
超力神勇侠
1978 / 19.4 × 15.1 cm
- 309
LOWER EAST SIDE
1978 / 17.8 × 13.8 cm
- 310
FORTUNE
1978 / 29.7 × 21.1 cm
- 311
NO. 4
1978 / 29.7 × 21.1 cm
- 312
SHOGUN AND JAZZ
1978 / 29.8 × 21.1 cm
- 313
BOOKS
1978-79 / 10 × 6.7 cm

314 BOOKS 1978-79 / 6.7 × 5.1 cm	337 JANUARY, 1970 1980 / 21 × 15.6 cm	361 SOME FRIENDS 1984 / 5.5 × 4.5 cm	384 夕刊 宇和島日日 1月号 1993 / 11.3 × 7.6 cm
315 BOOKS 1978-79 / 10 × 6.7 cm	338 人牛尺 1980 以降 / 18.8 × 14 cm	362 NOTTING HILL 1984 / 17.2 × 16.7 cm	385 夕刊 宇和島日日 2月号 1993 / 11.3 × 7.6 cm
316 BOOKS 1978-79 / 10 × 6.7 cm	339 東京スクラップブック 1981 #1 1981 / 15.5 × 10.8 cm	363 LONDON/HONCON #1 1986 / 13 × 9.3 cm	386 夕刊 宇和島日日 3月号 1993 / 11.3 × 7.6 cm
317 BOOKS 1978-79 / 6.9 × 5.1 cm	340 東京スクラップブック 1981 #2 1981 / 15.5 × 10.8 cm	364 LONDON/HONCON #2 1986 / 13 × 9.5 cm	387 夕刊 宇和島日日 4月号 1993 / 11.3 × 7.6 cm
318 BOOKS 1978-79 / 10.8 × 7.2 cm	341 SHINRO OHTAKE I 1982 / 4.4 × 3.8 cm	365 Beauty Box 1986 / 7 × 6.2 cm	388 UBU ROI 1993 / 36.4 × 26 cm
319 BOOKS 1978-79 / 7.1 × 5.1 cm	342 SHINRO OHTAKE II 1982 / 4.8 × 3.5 cm	366 EZMD 1986 / 17.1 × 13.8 cm	389 JARRY UBU 1993 / 21 × 14.8 cm
320 BOOKS (PSYCHELIC MAGAZINE) 1978-82 / 10 × 6.7 cm	343 BOOK 1982 / 6.4 × 4.6 cm	367 スモール・ドリームス #101 1991 / 12.8 × 9.2 cm	390 PORTRAITS/RICHARD AVEDON BY SHINRO OHTAKE 18TH JULY 1979 1994 / 18.2 × 14 cm
321 BOOKS 1978-79 / 10 × 6.7 cm	344 Psychedelic Magazine (LTD 試作版) 1982 / 10.9 × 7.2 cm	368 スモール・ドリームス #102 1991 / 12.8 × 9.2 cm	391 PORTRAITS/RICHARD AVEDON BY SHINRO OHTAKE 18TH JULY 1979 1994 / 18.2 × 14 cm
322 BOOKS 1978-79 / 10.7 × 7 cm	345 APOLLO 1983 / 17.5 × 11.8 cm	369 スモール・ドリームス #103 1991 / 12.8 × 9.2 cm	392 プラハパリ オートリーヴス 1992 / 14 × 21 cm
323 BOOKS 1978-79 / 7.1 × 5.1 cm	346 RAIN, RAIN, RAIN 1984 / 3.7 × 2.5 cm	370 スモール・ドリームス #104 1991 / 12.8 × 9.2 cm	393 夕刊 宇和島 1990 / 16.8 × 9.4 cm (full size: 16.8 × 99.7 cm)
324 BOOKS 1978-79 / 10.7 × 7 cm	347 19 1984 / 25.4 × 18.2 cm	371 スモール・ドリームス #105 1991 / 12.8 × 9.2 cm	394 DUB-HEI FIRST ENGLAND TOUR 2002 / 16.2 × 13.5 cm (full size: 16.2 × 108 cm)
325 BOOKS 1978-79 / 6.9 × 5.1 cm	348 19 1984 / 25.4 × 18.2 cm	372 スモール・ドリームス #106 1991 / 12.8 × 9.2 cm	395 LTD./no.1 2002 / 24.5 × 19.2 cm
326 BOOKS 1978-79 / 6.9 × 5.1 cm	349 19 1984 / 25.4 × 18.2 cm	373 スモール・ドリームス #107 1991 / 12.8 × 9.2 cm	396 Waikiki Dreams 2003 / 4.7 × 5.5 cm
327 BOOKS 1978-79 / 6.9 × 5.1 cm	350 19 1984 / 25.4 × 18.2 cm	374 スモール・ドリームス #108 1991 / 12.8 × 9.2 cm	397 Rainbow Dreams 2003 / 3 × 5 cm
328 BOOKS 1978-79 / 6.9 × 5.1 cm	351 19 1984 / 25.4 × 18.2 cm	375 スモール・ドリームス #109 1991 / 12.8 × 9.2 cm	398 Silver Dreams 2003 / 3 × 2.9 cm
329 BOOKS 1978-79 / 6.9 × 5.1 cm	352 19 1984 / 25.4 × 18.2 cm	376 スモール・ドリームス #110 1991 / 12.8 × 9.2 cm	399 『印刷物〈アメリカ/日本〉1989』 1990 / 31.8 × 22.5 × 4 cm
330 Boy's Own 1978-79 / 10.7 × 7 cm	353 19 1984 / 25.4 × 18.2 cm	377 スモール・ドリームス #111 1991 / 12.8 × 9.2 cm	400 Drawing Book 1984-1993 Jan. 1993 / 31.5 × 24 × 6.4 cm
331 NA 1978-79 / 10.7 × 7 cm	354 IN AFRICA 1984 / 19.9 × 13.7 cm	378 スモール・ドリームス #112 1991 / 12.8 × 9.2 cm	401 Happy Birthday 1992 1992 / 33.5 × 24.3 × 3 cm
332 Tanalith 1978-79 / 10.7 × 7 cm	355 SAME OLD STORY 1984 / 22.3 × 17.3 cm	379 Tiny Dreams #1 1990 / 9 × 6.5 cm	402 2002 Night and Day 2002 / 59.7 × 53.8 × 10.6 cm
333 See without Glasses 1978-79 / 10.7 × 7 cm	356 19 1984 / 11.8 × 8.9 cm	380 Tiny Dreams #2 1990 / 9 × 6.5 cm	403 亜米利加人 1989.2.1-3.3 13.5 × 11.4cm, 27 × 20.7cm (drawings) / 28.6 × 22.8 cm (case)
334 NOW FOR YOU DOGFACE 1978-79 / 10.6 × 7 cm	357 GENTS 1984 / 15 × 10.5 cm	381 Tiny Dreams #3 1990 / 9 × 6.5 cm	404 X+Y=LOVE —a tribute to Japanese popular music 1995 / 40.4 × 30.4 × 3 cm
335 Tay Teo Chuan —pencil drawings 1980 1980 / 17.8 × 15.2 cm	358 FRIENDS 1984 / 15 × 10.5 cm	382 Tiny Dreams #4 1990 / 9 × 6.5 cm	405 『鼠景神—0と1 / 帯電する 15の回想』 2001 / 73 × 57.3 × 4 cm
336 Tay Teo Chuan —pencil drawings 1980 1980 / 17.8 × 15.2 cm	359 LEAVES 1984 / 15 × 10.5 cm	383 Tiny Dreams #5 1990 / 9 × 6.5 cm	
	360 GOLD FISH 1984 / 5.5 × 4.5 cm		

406 DREAMS 1988 1988 / 42.5 × 31.7 cm	174 BUDU8 I 1996 / 31.5 × 31.5 cm	196 パズル/パンクス『BUDU8』 1996 / 12.5 × 14.1 cm	215 ダブ平 & ニューチャネル 1999 / (stage) 450 × 530 × 310 cm (control booth) 234 × 190 × 150 cm 公益財団法人 福武財団
407 IRANIAN TALES 1988 / 42.5 × 31.7 cm	175 BUDU8 II 1996 / 31.5 × 31.5 cm	197 JUKE/19. 『JUKE/19. [1978-1982]』 1996 / 13.7 × 14.2 × 3.7cm	216 残景 0 2022.1.31 / 212 × 161 × 16 cm
408 『日本景』 2000 / 31.4 × 24 × 4.2 cm	176 ラインパイプ 1996 / 31 × 22.5 cm	198 JUKE/19. 『19/19 [1978-1983]』 (特装版) 2003 / 12.5 × 14 cm	077 宇和島駅 1997 / 190 × 90 × 180 cm each *展望ロビー屋上に展示
409 『アトランタ 1945+50』 1996 / 22 × 14.5 cm	177 レディオ・ヘッド・サーファー 1994-95 / 82.6 × 33.4 × 18.6 cm	199 JUKE/19. 『19/19 [1978-1983]』 (普及版) 2003 / 12.9 × 15.4 cm	E-1 白鷺 1 2021.5.12 / 49.8 × 39.2 cm
410 ザ・ハードパイプ/くいこみ蜘蛛 1995 / 38.5 × 31 cm	178 Cut Hands Vision II 1995 / 91 × 73 cm	200 パズル/パンクス『PUZZOO』 2006 / 12.5 × 14.1 cm	E-2 白鷺 2 2021.5.12 / 50 × 42.1 cm
411 HAWAII BLUE (タブロイド) 2022 (original 1999) / 40.5 × 28.5 cm	179 TUH 1995 / 91 × 73 cm	201 内橋和久とダブ平 & ニューチャネル 『内ダブ』 2006 / 12.5 × 14 cm	E-3 白鷺 3 2021.5.12 / 49.7 × 41.3 cm
音	180 常電都市 II 2003 / 100.3 × 71.1 cm	202 ダブ平 & ニューチャネル『拾熱/ダ』 2007.10.31 / 13.1 × 13.2 cm	E-4 白鷺 4 2021.5.12 / 39.2 × 37.3 cm
158 ギタリスト 1991.2.7 / 44 × 23.9 × 3 cm	181 室内の音 2000 / 38.7 × 27 cm	203 パズル/パンクス『PUZZPUNN』 2022.11.1	E-5 白鷺、習作 1 2021.4.29 / 22.2 × 23.4 cm
159 DEVO 1980 / 72.6 × 90.7 cm	182 音痕 9 2010 / 29.6 × 21 cm	204 JUKE/19. 法政大学ライブのステージ 風景 1981.12.8	E-6 白鷺、習作 2 2021.4.29 / 14 × 19 cm
160 Erik Satie 1983-84 / 26.3 × 32.6 cm	183 Black Wall 2015 / 205 × 170 cm	205 JUKE/19. ポスター (原画) 1981 / 103 × 73 cm	E-7 [原画] 白鷺 (南面) 2021.5.11 / 58 × 124.6 cm
161 ギタリスト I 1975.5 / 25.5 × 36.6 cm	184 JUKE/19. 『JUKE/19.』 1980.12 / 31.1 × 31 cm	206 BUDU8 1995 / 30.2 × 30.2 cm	E-8 [原画] 石鎚山 (東面) 2021.5 / 24 × 135.2 cm
162 室内 2 1979 / 84.5 × 59.7 cm	185 JUKE/19. 『JUKE/19.』 1980.12 / 31.1 × 31 cm	207 パフォーマンス「クルバ・カボル」の ステージ風景、ノートルダム・ホール (ロ ンドン) 1980.6.19	E-9 [原画] 湯紋 (北面) 2021.5 / 58 × 120.9 cm
163 室内 3 (Back Water) 1979 / 85.2 × 60.8 cm	186 JUKE/19. 『19』 1981.2 / 17.5 × 38 cm	208 音楽新聞に掲載されたノートルダム・ ホールでのライブ・イベント広告 1980	E-10 [原画] 街 (西面) 2021.5 / 71.5 × 135.1 cm
164 シンガー 1984 / 72.7 × 60.6 cm	187 JUKE/19. 『NINETY-SEVEN CIRCLES』 1981.3 / 31 × 31 cm	209 1980年ロンドン、ノートルダム・ホ ールでの Dome 初ライブ参加時のラッセル・ ミルズからのパフォーマンス指示書 1980	E-11 [原画] 月、地球、太陽 (屋根) 2021.5 / 121.5 × 142.4 cm
165 Musician 1985 / 100 × 70 cm	188 JUKE/19. 『PIECES』 1981.12 / 31 × 31 cm	210 At the Notre Dame Hall, London '80 II 1980 / 30.5 × 36.8 cm	E-12 模型 (初期試案) 2021 / 20.3 × 36.5 × 30 cm
166 脳と心音 1995 / 37 × 27.4 cm	189 JUKE/19. 『SOUND TRACK』 1982.9 / 31 × 31 cm	211 D.A.F. (Deutsch Amerikanische Freundschaft) 2004.1 / 80.5 × 57.4 cm	E-13 模型 (決定案) 2021 / 20.7 × 34.5 × 30.7 cm
167 ジャパノラマ I 1995 / 39.4 × 31 cm	190 JUKE/19. 『MUSIC BY "19" TAKEN FROM THE ALBUM 'SOUND TRACK』 1982 / 18 × 18 cm	212 オンリー・コネクト (ラッセル・ミル ズ / 大竹伸朗)、無題 1988 / 17.7 × 17.7 cm	E-14 [原画] のぞき岩 2018 / 62.8 × 100 cm
168 日本景 VII 1997 / 106 × 39.5 × 8.5 cm	191 JUKE/19. 『EZMD』 1987 / 21.2 × 15.3 × 1.3cm	213 ゴミ男 1987 / 405 × 405 × 20 cm 東京都現代美術館	参考像 展示室・2F廊下 資料映像 《はいしゃ》 資料映像 《女根/めこん》 資料映像 《針工場》 資料映像 直島銭湯 《I♥湯》 資料映像 《ダブ平 & ニューチャネル》 資料映像 スクラップブック 資料映像 《熱景/NETSU-KEI》設置風景 タイムラプス
169 ワイキキ I 2000.9.10-9.17 / 70.7 × 49.8 cm	192 JUKE/19. 『EZMD』 (普及版) 1991 / 12.5 × 13.9 cm	214 ティーチング・オブ・イスラム III 1985-87 / 225 × 170.5 × 100 cm 公益財団法人 福武財団	運動企画 1F多目的ルーム NHK制作「21世紀のBUG 男画家 大竹伸朗」8K上映 99:00 主催：NHK松山放送局 共催：愛媛県美術館
170 ワイキキ II 2000.9.10-9.17 / 70.7 × 50.2 cm	193 JUKE/19. 『EZMD』 (限定版) 1991 / 12.5 × 13.9 cm		運動企画 1Fエントランスホール北側 エントランスホール展示「宇和島駅」 主催：愛媛県美術館 資料提供：宇和島市教育委員会・宇和島市立 図書館・愛媛県立図書館・愛媛県歴史文化博物館
171 ワイキキ III 2000.9.10-9.17 / 70.7 × 49.8 cm	194 大竹伸朗+ヤマンタカ EY3 『パイプラ インーヤマンタカ日記』 1995 / 12.7 × 14.2 cm		
172 パズル/パンクス 2006 2005.12.5-2006.1 / 69.8 × 49.8 cm	195 パズル/パンクス 『BUDU8』 1996 / 31 × 31 cm		
173 テレキャス・サム (架空のミュージシャ ン 6) 2005.11.8 / 44.7 × 32.3 cm			

愛媛県美術館開館 25 周年記念 海洋堂展 創るたのしみをすべての人に

- 会 期：** 令和 5 年 7 月 22 日（土） - 9 月 18 日（月・祝）（51 日間）
主 催： 「海洋堂展」実行委員会（愛媛県、あいテレビ、愛媛新聞社）
特別協力： 株式会社海洋堂、株式会社奇想天外
協 賛： 愛媛銀行
協 力： 宇和島市、鬼北町、松野町、四万十市、四万十町（予土線沿線 5 市町）、愛媛県総合科学博物館
後 援： 松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛県小中学校長会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛県文化協会、（公財）愛媛県文化振興財団、（公財）松山観光コンベンション協会、JR 四国、伊予鉄グループ、愛媛県予土線利用促進対策協議会、高知県予土線利用促進対策協議会、JR 予土線圏域の明日を考える会、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、産経新聞社、南海放送、テレビ愛媛、愛媛朝日テレビ、愛媛 CATV、FM 愛媛、えひめリビング新聞社、ウイークリーえひめリック
- 会 場：** 愛媛県美術館 本館 2 階常設展示室 1・2

趣 旨

今もなお進化を続けるフィギュア製作会社海洋堂のスピリットや技術を取り上げた。海洋堂創始者・宮脇修の創業時の理念を当時の資料とともに振り返るほか、高い技術をもつ造形師や塗装師たちのこだわりから生まれたフィギュア作品を多数紹介。造形師たちのフィギュアづくりの元となったスケッチや 3D モデルのデータなど、制作のこだわりと熱意が伝わる原資料を含めた作品や資料を約 1 万 2000 点公開した。

本展にあわせ、パネル展「いこうよ、予土線—予土線の歴史と魅力」を同時開催したほか、隈研吾・海洋堂・予土線圏域の明日を考える会が協働で制作したベンチを展示室内に設置するなど予土線と予土線周辺地域の情報発信と理解の促進にも努めた。

コロナ禍による制限を受けない夏休み期間中ということもあり、子供連れのファミリー層をはじめ、中高年から若年層まで幅広い世代のアニメ・特撮ファンの来場があった。関連イベントも精力的に展開し、いずれも盛況であった。広報面では、テレビや紙面広告での告知に努めた。全作品を撮影可能としたことで、来館者による SNS 等での発信が促進された。

観覧者数： 30,254 人

関連行事

オープニング・トークイベント

日 時： 7 月 22 日（土） 14：00～15：00
講 師： 株式会社海洋堂取締役専務 宮脇修一
場 所： 愛媛県美術館 講堂
参加人数： 95 名

「鬼王丸」と写真を撮ろう！

日 時： 7 月 30 日（日） ①13：30～、②14：30～ （1 回 30 分程度）
講 師： 鬼王丸、鬼北町職員
場 所： 愛媛県美術館 本館 常設展示室 1・2 前、展望ロビー他
参加人数： 92 名

対談「フィギュア塗装師と動物園飼育員が語る！」

日時：8月13日（日） 13:00～14:30

出演：株式会社海洋堂塗装師 古田悟郎、とべ動物園教育普及課担当課長 池田敬明、
学芸員 金成めい

場所：愛媛県美術館 講堂

参加人数：71名

ねんどでつくるコマ撮りアニメ

日時：8月5日（土） 13:00～（約3時間）

講師：学芸員 金成めい

場所：愛媛県美術館 南館 ギャラリー1

参加人数：18名

フィギュア塗装体験

日時：①8月19日（土）14:00～ ②9月10日（日）14:00～（約1時間）

講師：学芸員 金成めい、学芸員 横尾真緋

場所：愛媛県美術館 南館 アトリエ2

参加人数：延28名

ジオラマ制作体験

日時：9月3日（日）①11:00～、②14:00～（約1時間）

講師：学芸員 金成めい、学芸員 横尾真緋

場所：愛媛県美術館 本館 多目的ルーム

参加人数：延34名

パネル展「いこうよ、予土線—予土線の歴史と魅力」

日時：会期中

場所：愛媛県美術館 本館 展望ロビー

愛媛県美術館開館25周年記念
海洋堂展
倉るのしみを
2023年
7月22日[土]—9月18日[月・祝]
開館時間 9:40—18:00 [入場は17:30まで]
会場 愛媛県美術館 本館2階常設展示室1・2
休館日 7月24日[月]、31日[月]、8月8日[火]、14日[月]、21日[月]、28日[月]、9月9日[火]、15日[月]
主 催 「海洋堂展」実行委員会(愛媛県、あいテレビ、愛媛新聞社)
協賛先 株式会社海洋堂、株式会社海洋堂
協 賛 愛媛銀行
協 力 宇和島市、鬼北町、佐田町、西乃十郎、西乃十郎(予土線沿線5町町)、
後 援 松山市、松山市教育委員会、愛媛県教育委員会連合会、愛媛県
小中学校長会、愛媛県美術会、愛媛県美術教育連盟、愛媛県文化基金、
松野 愛媛県文化振興財団、(公財)松山県コンベンション協会、
J&R興業、伊予長グループ、愛媛県予土線利用促進財団協賛会、
愛媛県予土線利用促進財団協議会、予土線開通の日を待ちます会、
毎日新聞松山本社、毎日新聞松山支所、毎日新聞松山支所、愛媛
新聞社、愛媛放送、テレビ愛媛、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM
愛媛、A.D.メディア制作社、ライターズ&D&Mクラフ

愛媛県美術館
〒790-0007 愛媛県松山市港之内 TEL. 089-832-0010 <https://www.ehime-art.jp/>

出品目録

第1章 海洋堂の歴史 創るたのしみをすべての人に

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
1-01	木刀				
1-02	オリジナル工具			1970年ごろ	
1-03	ローマの軍船			1970年ごろ	
1-04	海洋 Vol.1			1966年	
1-05	海洋 Vol.2			1967年	
1-06	海洋 Vol.3			1968年	
1-07	プラモ読本			1967年	
1-08	ARTPLA 創刊号			1983年	
1-09	ARTPLA 第貳号			1984年	
1-10	ARTPLA 第参号			1986年	
1-11	商いの手帖			1973年	
1-12	造型狂			1983年	
1-13	七十歳は鼻たれ小僧				
1-14	バキュームフォームキットやレジンキット		海洋堂造型狂の会ほか	1982年ごろ	
1-15	轟天号		海洋堂造型狂の会	1982年	レジン
1-16	メガレックス		原 詠人	1986年	レジン
1-17	クラッシュホーン		白井武志	1983年	レジン
1-18	ティラノサウルス	全身骨格	山崎 繁	1992年	レジン
1-19	日本の動物コレクション				
1-20	ペット動物				
1-21	日本水族館				
1-22	チョコラザウルス				
1-23	ワールドタンク				
1-24	ワールドウィングス 他				
1-25	タイムスリップグリコ				
1-26	妖怪 他				
1-27	ミュシャ 他				
1-28	世界名作 他				
1-29	胸像 他				
1-30	AKIRA 他				
1-31	三国志 他				
1-32	手塚治虫 他				
1-33	Qミュージアム				
1-34	Qフロイライン				
1-35	Qキャラクターズ				
1-36	ダンボー				
1-37	王立科学博物館	第1展示場 〈月とその彼方〉		2003年	
1-38	王立科学博物館	第2展示場 〈黒のフロンティア〉		2004年	
1-39	大英博物館	古代エジプトの秘宝		2003年	
1-40	大英博物館 古代ギリシャ展 公式カプセル フィギュア	古代ギリシャ展の彫刻		2011年	
1-41	国立科学博物館	科博所蔵品 再現モデル		2004年	
1-42	東京国立博物館公式フィギュア	考古学ミニチュア		2012年	
1-43	ポケモンバトルフィギュア	各種	榎木ともひで	2004年	
1-44	アルプスの少女ハイジ	とろけるチーズのプチ パン①②	香川雅彦	2003-4年	
1-45	母をたずねて三千里		香川雅彦	2004年	
1-46	人形の国のアリス	アリスのティーパー ティー①-③	村田明玄	2002年	
1-47	ハイジとクララ		香川雅彦	2000年	
1-48	マルコとフィオーリーナ		香川雅彦	2000年	

第2章 海洋堂の造型「狂」たち 心・頭・手を連動させよう

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
2-01	ラムちゃん		BOME	1983年	レジン
2-02	猫		BOME	1982年ごろ	ミクストメディア
2-03	サイクロプス		BOME	1982年ごろ	レジン
2-04	白亜紀子		BOME	1985年	レジン
2-05	ハイパーエミ		BOME	1989年	レジン
2-06	『THE COMPLETE WORKS OF BOME コンプリート・ボーム』			1995年	
2-07	『BOME WORKS from 1983 to 2008』			2009年	
2-08	綾波レイ		BOME	1997年	レジン
2-09	ナディア 2		BOME	1991年	レジン
2-10	Miss Ko ²		BOME	1997年	レジン
2-11	鬼娘 1	(by うたたねひろゆき)	BOME	1994年	レジン
2-12	式波・アスカ・ラングレー		BOME	2015年	
2-13	太秦 萌		BOME	2017年	
2-14	タカヤ・ノリコ 2		BOME	1991年	レジン
2-15	式波・アスカ・ラングレー		BOME	2020年	光硬化樹脂
2-16	ノノ	バスターマシン7号	BOME	2006年	レジン
2-17	リムルル		BOME	1997年	レジン
2-18	武内優香		BOME	1995年	レジン
2-19	ルシア		BOME	1999年ごろ	レジン
2-20	ミツノ・ヨーコ		BOME	1994年	レジン
2-21	メタルファイターMIKU		BOME	1995年	レジン
2-22	風使いのミリィ		BOME	1999年ごろ	レジン
2-23	佐伯夏奈子		BOME	1998年ごろ	レジン
2-24	佐伯夏奈子	未彩色	BOME	1998年ごろ	レジン
2-25	小早川瑞穂		BOME	1998年ごろ	レジン
2-26	虎娘	白虎ver.	BOME	2000年ごろ	レジン
2-27	虎娘		BOME	2000年ごろ	レジン
2-28	鬼娘Ⅳ	(by NAS-O)	BOME	2002年	レジン
2-29	ケイ		BOME	1997年	レジン
2-30	ユリ		BOME	1997年	レジン
2-31	スクスク 2		BOME	1996年	レジン
2-32	辻本夏実		BOME	1989年	レジン
2-33	小早川美幸		BOME	1989年	レジン
2-34	スクルド		BOME	1993年	レジン
2-35	メイ・マー II		BOME	1993年	レジン
2-36	セイバー		BOME	2012年	レジン
2-37	初音ミク		BOME	2010年ごろ	レジン
2-38	ブラック★ロックシューター		BOME	2011年	レジン
2-39	島風		BOME	2014年	レジン
2-40	カプセルQコレクション 子パンダ日和 season2 すくすく成長期 全4種		パンダ/松村しのぶ		
2-41	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-42	旭山動物園 vol.1 旭山動物園ヴィネット 全6種+おまけ				
2-43	関連スケッチ 3点		松村しのぶ		
2-44	旭山動物園カプセルZOO vol.4 スノードーム 全5種				
2-45	関連スケッチ 3点		松村しのぶ		
2-46	旭山動物園 vol.3 旭山動物園ヴィネット 全5種				
2-47	関連スケッチ 5点		松村しのぶ		
2-48	旭山動物園カプセルZOO vol.6 旭山動物園マグネット				
2-49	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
2-50	カプセルQコレクション 財布にカエル お財布蛙1 全6種／お財布蛙2 全6種		木下隆行、寺岡邦明、山 本聖土、田熊勝夫		
2-51	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-52	カプセルQミュージアム ヤモリ大全 レオパードゲコー 全6種				
2-53	関連スケッチ 2点		松村しのぶ		
2-54	イカコレ! イカストラップコレクション 全5種				
2-55	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-56	イカコレ!2 絶滅食材と深海の怪物 全5種				
2-57	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-58	カプセルQミュージアム イモムシストラップ コレクション イモコレ!4 全5種		松本栄一郎、寺岡邦明		
2-59	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-60	カプセルQコレクション わけあって絶滅しました。 全5種				
2-61	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-62	カプセルQミュージアム 有害危険動物大全2 全5種		寺岡邦明、松村しのぶ、 松本栄一郎、田熊勝夫		
2-63	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-64	カプセルミュージアムプロジェクト 京都水族館フィギュアコレクション 全9種				
2-65	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-66	カプセルQミュージアム 恐竜発掘記10 最強ハンター列伝 全5種		菅谷中		
2-67	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-68	恐竜博2016 展覧会オリジナルフィギュア 全4種		SHINZEN、菅谷中、山 本聖土、松村しのぶ		
2-69	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-70	恐竜博2023 オフィシャルカプセルフィギュア 全5種				
2-71	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-72	カプセルQミュージアム UMA大全 全5種		松村しのぶ、松本栄一 郎、山本聖土、菅谷中		
2-73	関連スケッチ 4点		松村しのぶ		
2-74	カプセルQミュージアム 日本の動物コレクショ ン9 外来生物／新たな仲間たち 全6種		松村しのぶ		
2-75	関連スケッチ 1点		松村しのぶ		
2-76	アオウミガメ		松村しのぶ	2001年	ポリストーン
2-77	メガネモチノウオ		松村しのぶ	1991年ごろ	ポリストーン
2-78	シャチ親子		松村しのぶ	1990年ごろ	レジン
2-79	アオウミガメ 標本	愛媛県総合科学博物 館所蔵			
2-80	アフリカゾウ		松村しのぶ	2016年	ソフトビニール
2-81	インドサイ		松村しのぶ	1989年	レジン
2-82	ライオンとハイエナ		松村しのぶ	1994年	レジン
2-83	エラスモサウルス		松村しのぶ	1994年	ソフトビニール
2-84	キウイ		松村しのぶ	1992年	ミクストメディア
2-85	シルリア		松村しのぶ	1992年	レジン
2-86	チョッカクガイ		松村しのぶ	1992年	レジン
2-87	ウミユリ類 標本	愛媛県総合科学博物 館所蔵		古世代 石 炭紀	
2-88	ステナロカリメネ 標本	愛媛県総合科学博物 館所蔵		シルル紀	
2-89	雑木林の収穫祭		松村しのぶ	2010年ごろ	ミクストメディア
2-90	スズメバチ、キイロスズメバチ 標本	愛媛県総合科学博物 館所蔵			
2-91	ニホンカワウソ		松村しのぶ	2010年ごろ	ミクストメディア

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
2-92	ニホンカワウソ 標本	愛媛県総合科学博物館所蔵		1954年	
2-93	スミロドン		松村しのぶ	1989年	レジン
2-94	マカイロドゥス頭骨 複製	愛媛県総合科学博物館所蔵			
2-95	アマラガサウルス	(古田塗装ver.)	松村しのぶ	1995年	レジン
2-96	マイアサウラ	(古田塗装ver.)	松村しのぶ	1990年	ソフトビニール
2-97	カマラサウルス	(古田塗装ver.)	松村しのぶ	1990年	ソフトビニール
2-98	ザトウクジラ親子	(古田塗装ver.)	松村しのぶ	1991年	レジン
2-99	ティラノサウルス	孵化	松村しのぶ		
2-100	イクチオサウルス		松村しのぶ		
2-101	ディモルフオドン		松村しのぶ		
2-102	リュウキュウヤマガメ	幼体	古田悟郎		
2-103	マッコウクジラ	骨格	古田悟郎	1996年	レジン
2-104	トリケラトプス		松村しのぶ	2016年	ソフトビニール
2-105	オオサンショウウオ	明色	古田悟郎	2017年	ソフトビニール
2-106	オオサンショウウオ	暗色	古田悟郎	2017年	ソフトビニール
2-107	ベレンティオオトカゲ	制作中	古田悟郎		ミクストメディア
2-108	マチカネワニ		古田悟郎		3Dプリンター出力品
2-109	ミミナシオオトカゲ		古田悟郎		ミクストメディア
2-110	コウヒロナガクビガメ		古田悟郎		ミクストメディア
2-111	龍		古田悟郎		ミクストメディア
2-112	ハイール湖の怪物		古田悟郎		ミクストメディア
2-113	ナジカバトラクス		古田悟郎		ミクストメディア
2-114	ニワトリ 伊藤若冲作品より		古田悟郎		
2-115	カブトムシ 伊藤若冲作品より		古田悟郎		ミクストメディア
2-116	ガラパゴスウミグアナ		清水ゆう子	不明	レジン
2-117	コモドドラゴン		清水ゆう子	不明	レジン
2-118	ガラパゴスリクイグアナ		清水ゆう子	不明	ミクストメディア
2-119	ガラパゴスウミグアナ	製品版	清水ゆう子	不明	ポリストーン
2-120	コモドドラゴン		清水ゆう子	2017年	ソフトビニール
2-121	ガラパゴスリクイグアナ		清水ゆう子	2017年	
2-122	ウミグアナ		清水ゆう子	2017年	
2-123	コモドドラゴン		清水ゆう子	2017年	
2-124	ムカシトカゲ	オリジナル	清水ゆう子	2017年	ミクストメディア
2-125	ムカシトカゲ	縮小版(3D出力品)	清水ゆう子	2019年	光硬化樹脂
2-126	サイイグアナ		清水ゆう子	2016年	ミクストメディア
2-127	ギアナカイマントカゲ		清水ゆう子	2021年	光硬化樹脂
2-128	シナワニトカゲ		清水ゆう子	2018年	ミクストメディア
2-129	アメリカドクトカゲ		清水ゆう子	2014年	ミクストメディア
2-130	ニホンカナヘビ		清水ゆう子	2021年	ミクストメディア
2-131	イボイモリ骨格		清水ゆう子	2015年	レジン
2-132	ミズオオトカゲ	根付	清水ゆう子	不明	レジン
2-133	コモドドラゴン	根付	清水ゆう子	不明	レジン
2-134	ニホンカナヘビ	根付	清水ゆう子	不明	レジン
2-135	トゲアオガマ	根付	清水ゆう子	2018年	レジン
2-136	ホウセキカナヘビ♂	根付	清水ゆう子	2020年	レジン
2-137	ホウセキカナヘビ♀	根付	清水ゆう子	2020年	レジン
2-138	佐藤邦雄の動物たち	トイレの時間②	松本栄一郎	2022年	PVC
2-139	ワンダちゃん	FILE:03 賀茂川Ver.	石長櫻子(植物少女園)	2017年	PVC
2-140	エヴァンゲリオン初号機		山口勝久	1999年	
2-141	エヴァンゲリオン初号機		山口勝久	1999年	
2-142	エヴァンゲリオン初号機		山口勝久	2006年	
2-143	エヴァンゲリオン初号機		山口勝久	2006年	
2-144	エヴァンゲリオン初号機	《[破]エディション》	山口勝久	2009年	

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
2-145	エヴァンゲリオン初号機	<[破]エディション> ローソン限定版	山口勝久	2010年	
2-146	エヴァンゲリオン初号機		山口勝久	2011年	
2-147	エヴァンゲリオン初号機		山口勝久	2017年	
2-148	エヴァンゲリオンJA-02機体流用ニコイチ型新2号機 α		山口勝久	2021年	
2-149	エヴァンゲリオン改8号機 γ		山口勝久	2022年	
2-150	アイアンスパイダー		山口勝久		
2-151	キャプテンアメリカ		山口勝久	2016年	
2-152	アイアンマン プリーディングエッジアーマー		山口勝久	2018年	
2-153	デッドプール		山口勝久	2019年	
2-154	デッドプール		山口勝久	2018年	
2-155	ウォーマシン		山口勝久	2017年	
2-156	スパイダーマン		山口勝久	2016年	
2-157	スパイダーグウェン		山口勝久	2017年	
2-158	カーネイジ		山口勝久	2017年	
2-159	ヴェノム		山口勝久	2020年	
2-160	マグニートー		山口勝久	2017年	
2-161	ガンビット		山口勝久	2019年	
2-162	ウルヴァリン		山口勝久	2017年	
2-163	バットマン		山口勝久	2018年	
2-164	ジョーカー		山口勝久	2021年	
2-165	デスストローク		山口勝久	2019年	
2-166	ケーブル		山口勝久	2020年	
2-167	アーカムナイト		山口勝久	2022年	
2-168	ハーレイ・クイン		山口勝久	2019年	
2-169	ハーレイ・クイン	限定カラーver.	山口勝久	2020年	
2-170	緑谷出久		山口勝久	2020年	
2-171	爆豪勝己		山口勝久	2021年	
2-172	轟 焦凍		山口勝久	2022年	
2-173	オールマイト		山口勝久	2020年	
2-174	エンデヴァー		山口勝久	2023年	
2-175	ホークス		山口勝久	2023年	
2-176	佐野万次郎	(マイキー)	山口勝久	2023年	
2-177	佐野万次郎	(マイキー)	山口勝久	2023年	
2-178	エヴァンゲリオン初号機		山口勝久	2015年	ソフトビニール
2-179	スターガオガイガー		山口勝久	1999年	レジン
2-180	ガオガイガー		山口勝久	1999年	レジン
2-181	撃龍神		山口勝久	1998年ごろ	レジン
2-182	風龍・雷龍		山口勝久	1998年ごろ	レジン
2-183	よつば		榎木ともひで	2007年	
2-184	ダンボー		榎木ともひで	2007年	
2-185	ハローキティ		山口勝久	2013年	
2-186	ハローキティ	TAMIYA ver.	山口勝久	2014年	
2-187	リラックマ		山口勝久	2016年	
2-188	コリラックマ		山口勝久	2016年	
2-189	どーもくん		山口勝久	2014年	
2-190	ステイッチ		大嶋優木	2016年	
2-191	ルパン三世		山口勝久	2010年	
2-192	次元大介		山口勝久	2010年	
2-193	キングゲイナー		山口勝久	2006年	
2-194	XAN 斬		山口勝久	2009年	
2-195	レイトン教授		山口勝久	2010年	
2-196	伊達政宗		山口勝久	2009年	
2-197	ヴェノム・スネーク	<スニーキングスーツ ver.>	山口勝久	2016年	

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
2-198	武藤遊戯		松本栄一郎	2016年	
2-199	海馬瀬人		香川雅彦	2016年	
2-200	ハンター男剣士		山口勝久	2017年	
2-201	アイルー		ユニオンクリエイティブ株式会社	2016年	
2-202	メラルー		ユニオンクリエイティブ株式会社	2016年	
2-203	天元突破グレンラガン		山口勝久	2008年	
2-204	ブレードライガー		谷明・山口勝久	2010年	
2-205	リボルテック大全			2009年	
2-206	リボルテック大全2			2011年	
2-207	からくり兵		田熊勝夫	1992年ごろ	レジン
2-208	マジンガーZ		田熊勝夫	1996年	ソフトビニール
2-209	真ゲッターロボ		田熊勝夫	2000年ごろ	レジン
2-210	GR2		田熊勝夫	1995年	レジン
2-211	プロテクトギア		田熊勝夫	1988年	ソフトビニール
2-212	ブロッケン		田熊勝夫	1988年	レジン
2-213	グリフォン		田熊勝夫	1988年	ソフトビニール
2-214	イングラム [FINAL]	イングラム1号機	田熊勝夫	1994年ごろ	ソフトビニール
2-215	イングラム [FINAL]	イングラム2号機	田熊勝夫	1994年ごろ	ソフトビニール
2-216	零式		田熊勝夫	1989年	ソフトビニール
2-217	ハン・ソロ		木下隆志	1993年	ソフトビニール
2-218	ハン・ソロ	キット状態	木下隆志	1993年	ソフトビニール
2-219	ストーム・トルーパー		木下隆志	1993年	ソフトビニール
2-220	ダース・ベイダー		田熊勝夫	1993年	ソフトビニール
2-221	阿修羅		木下隆志	2017年	ポリストーン
2-222	ウルトラマン	Cタイプ	木下隆志	1996年ごろ	ソフトビニール
2-223	ガラモン		原 詠人	1989年	ソフトビニール
2-224	キングジョー		佐藤“ロボ師”拓	1993年ごろ	ソフトビニール
2-225	バルタン星人		木下隆志	1993年ごろ	ソフトビニール
2-226	ギエロン星獣		木下隆志	1993年	ソフトビニール
2-227	ゼットン		佐藤“ロボ師”拓	1993年ごろ	ソフトビニール
2-228	ネロンガ		松村しのぶ	1993年ごろ	ソフトビニール
2-229	メフィラス星人		木下隆志	1993年ごろ	ソフトビニール
2-230	ウルトラセブン		木下隆志	2016年	ソフトビニール
2-231	ウルトラマン	ファイティングポーズ	木下隆志	1988年	ソフトビニール
2-232	ウルトラマン	Aタイプ	木下隆志	2018年	ポリストーン
2-233	ウルトラマン	Bタイプ	木下隆志	2017年	ポリストーン
2-234	ウルトラマン	Cタイプ	木下隆志	2015年	ポリストーン
2-235	シン・ウルトラマン		木下隆志	2022年	ポリストーン
2-236	ウルトラセブン		木下隆志	2018年	ポリストーン
2-237	ウルトラマンエース		木下隆志	2017年	ポリストーン
2-238	帰ってきたウルトラマン		木下隆志	2020年	ポリストーン
2-239	ウルトラマンティガ		木下隆志	2018年	ポリストーン
2-240	ウルトラマンタロウ		木下隆志	2019年	ポリストーン
2-241	ウルトラマン	Bタイプ	木下隆志	2017年	ソフトビニール
2-242	ヘラクレスオオカブト		木下隆志	1992年	レジン
2-243	ヘラクレスオオカブト標本	愛媛県総合科学博物館所蔵			
2-244	アンキロサウルス		荒木一成	1990年	ソフトビニール
2-245	アンキロサウルス皮骨	愛媛県総合科学博物館所蔵		白亜紀後期	
2-246	ブラッドテンプレート		谷 明	1996年ごろ	レジン
2-247	鉄巨人		谷 明	2019年	レジン
2-248	テロルミラージュ		谷 明	1996年	レジン
2-249	ヤクトミラージュ		谷 明	1996年	レジン

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
2-250	アスカとシンジ		寺岡邦明	1999年	レジン
2-251	綾波レイ		寺岡邦明	1996年	レジン
2-252	真宮寺さくら	和装	寺岡邦明	1997年ごろ	ソフトビニール
2-253	ハイスピード・セリカ		寺岡邦明	1997年ごろ	レジン
2-254	バーチャル・マミー		寺岡邦明	2006年	ポリストーン
2-255	牡山羊の像		寺岡邦明	2012年	ポリストーン
2-256	ルイス島のチェス駒		寺岡邦明	2003年	
2-257	ウルトラマン		木下隆志	1989年	ソフトビニール
2-258	バルタン星人		木下隆志	1989年	ソフトビニール
2-259	バズ・ライトイヤー	Ver.1.5	松本栄一郎	2022年	
2-260	ウッディ	Ver.1.5	松本栄一郎	2022年	
2-261	ジェシー		松本栄一郎	2013年	
2-262	くまのプーさん		松本栄一郎	2018年	
2-263	ティガー		松本栄一郎	2020年	
2-264	サリー&マイク		松本栄一郎	2011年	
2-265	ミッキーマウス	1936 ver.	松本栄一郎	2022年	
2-266	ミッキーマウス	1936 ver./ モノトーンカラー	松本栄一郎	2022年	
2-267	アイアンマン マーク3		松本栄一郎	2012年	
2-268	アイアンマン マーク6		松本栄一郎	2011年	
2-269	イモムシ	ナミアゲハ5齢幼虫	松本栄一郎	2017年	
2-270	風神		造形総指揮/竹谷隆之	2012年	
2-271	雷神		造形総指揮/竹谷隆之	2012年	
2-272	迦楼羅		造形総指揮/竹谷隆之	2013年	
2-273	龍		造形総指揮/竹谷隆之	2015年	
2-274	金剛夜叉明王	着彩	造形総指揮/竹谷隆之	2018年	
2-275	深沙大将	着彩	造形総指揮/竹谷隆之	2018年	
2-276	不動明王	〈青不動〉	造形総指揮/竹谷隆之	2017年	
2-277	土鬼兵(壹)		造形総指揮/竹谷隆之	2023年	
2-278	土鬼兵(貳)		造形総指揮/竹谷隆之	2023年	
2-279	トリウマ	クシャナ親衛隊ver.	造形総指揮/竹谷隆之	2022年	
2-280	トルメキア装甲兵	クシャナ親衛隊ver.	造形総指揮/竹谷隆之	2020年	
2-281	蛇虺帖	(へびけら)	造形総指揮/竹谷隆之	2016年	
2-282	シン・ゴジラ	2号雛形	竹谷隆之	2018年	ソフトビニール
2-283	シン・ゴジラ	1号雛形	竹谷隆之	2018年	レジン
2-284	鬼王丸	雛形	竹谷隆之		

第3章 海洋堂と共に作る 創るモノは夜空にきらめく 星の数ほど無限にある

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
3-01	ワンダちゃん&リセットちゃん				
3-02	ワンダちゃん&リセットちゃん	Wanda chan Loves EVANGELION		2006年	
3-03	リセヴィネ			2004年	
3-04	ワンダちゃん	FILE:02 TAQRO ×大嶋優木	大嶋優木	2016年	
3-05	ワンダちゃん	FILE:03 賀茂川× 石長櫻子	石長櫻子	2017年	
3-06	ワンダちゃん	FILE:04 DAN- GERDROP×戸田 聡	戸田 聡	2017年	
3-07	ワンダちゃん	FILE:05 吟×かわ にしけん	かわにしけん	2018年	
3-08	ワンフェスガイドブック				
3-09	伝説のWF2014冬			2017年	
3-10	ダンボー・mini	WF2017summer	榎木ともひで	2017年	
3-11	ダンボー・mini	WF2017winter	榎木ともひで	2017年	
3-12	ミサトとベンベン		BOME・松村しのぶ	1996年	

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
3-13	セイバーライオン&リンリッチ		BOME	2008年	
3-14	ファンド				
3-15	エポキシパテ				
3-16	ポリエステルパテ				
3-17	ナイフ類				
3-18	ノコギリ				
3-19	彫刻刀				
3-20	ヘラ(スパチュラ)類				
3-21	やすり				
3-22	ノギス等				
3-23	粘土埋め状態				
3-24	レジン液(A・B)				
3-25	ゴム型				
3-26	複製品				
3-27	ハンドピース				
3-28	サーフェイサー				
3-29	ラッカー塗料				
3-30	アクリル塗料				
3-31	水性塗料				
3-32	マスキングテープ、マスキングゾル				
3-33	塗料皿				
3-34	筆				
3-35	持ち手				
3-36	将棋ダンボー				
3-37	カピバラ温泉				
3-38	バンダ				
3-39	鬼太郎				
3-40	鬼太郎ハウス				
3-41	キン肉マン				
3-42	模型づくり				
3-43	戦え!ドクロマン				
3-44	エヴァジオラマ	邂逅			
3-45	エヴァジオラマ	灰色の空			
3-46	アンギラス				
3-47	G2ガメラ				
3-48	レギオン				
3-49	ゴジラ				
3-50	ネロンガ				
3-51	エヴァジオラマ	再会…			
3-52	エヴァジオラマ	心の中へ…			
3-53	ホビー館宝箱				
3-54	かっぱ館ジオラマ				
3-55	ドラゴン				
3-56	エヴァンゲリオン初号機				
3-57	35ガチャーネン		谷明	2017年	
3-58	シュトゥルムケーファー		谷明	2021年	
3-59	シュトゥルムケーファー	シーブルー	谷明	2021年	
3-60	キュスター		谷明	2023年	
3-61	キュスター	特別カラー	谷明	2023年	
3-62	スレイプニール		谷明	2023年	
3-63	ゆるキャン△		大上竹彦・カミオナオキ	2022年	
3-64	ゆるキャン△	キャンプセット	大上竹彦・カミオナオキ	2022年	
3-65	志摩リンとバイクセット		大上竹彦・谷明	2022年	
3-66	多聞天		Studio-蓮	2022年	
3-67	持国天		Studio-蓮	2022年	

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
3-68	広目天		Studio-蓮	2023年	
3-69	増長天		Studio-蓮	2023年	
3-70	飼育員とライオンセット			2022年	
3-71	飼育員と仔ゴリラセット			2022年	
3-72	飼育員とシロサイセット			2022年	
3-73	観光客とキリンセット			2022年	
3-74	観光客とアフリカゾウセット			2022年	
3-75	研究員とティラノサウルスセット			2023年	
3-76	太陽の塔	1/144スケール	木下隆志	2013年	ソフトビニール
3-77	太陽の塔	1/350スケール	木下隆志	2010年	ソフトビニール
3-78	太陽の塔	1/500スケール	寺岡邦明	2011年	ポリストーン
3-79	岡本太郎像		東田万偶斎	2011年	ポリストーン
3-80	地底の太陽		木下隆志	2018年	ポリストーン
3-81	坐ることを拒否する椅子		松本栄一郎	2018年	ソフトビニール
3-82	犬の植木鉢		寺岡邦明	2020年	ポリストーン
3-83	午後の日		木下隆志	2021年	ポリストーン
3-84	太陽の顔		木下隆志	2022年	ポリストーン
3-85	ソフビ 太陽の塔		Studio-蓮	2018年	ソフトビニール
3-86	岡本太郎アートピースコレクション	①		2011年	
3-87	岡本太郎アートピースコレクション	②		2011年	
3-88	岡本太郎アートピースコレクション	光の饗宴		2013年	
3-89	岡本太郎アートピースコレクション	万有の相形		2017年	
3-90	岡本太郎	四つの顔	木下隆志、Studio-蓮	2018年	ポリストーン
3-91	岡本太郎傑作選	太陽の塔	木下隆志	2022年	ポリストーン
3-92	太陽の塔				
3-93	生命の樹				
3-94	センムの万博コレクション				

【番外】 幻のツチノコを探せ！ 展示室のどこかに…いくつも…

No.	作品名	バージョン	原型制作	制作年	材質
	ツチノコ		吉良かずや	2017年	ソフトビニール
	35アクションソルジャー			2018年	

愛媛県美術館開館 25 周年記念 学校法人聖カタリナ学園創立 100 周年記念 ヨハネ・パウロ 2 世美術館展

会 期： 令和 5 年 9 月 23 日（土） - 11 月 26 日（日）（56 日間）

主 催： ヨハネ・パウロ 2 世美術館展実行委員会（愛媛県、テレビ愛媛）

特別協賛： 学校法人聖カタリナ学園

後 援： ポーランド広報文化センター、松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛県小中学校長会、愛媛県 PTA 連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛新聞社、NHK 松山放送局、南海放送、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛 CATV、FM 愛媛、えひめリビング新聞社

企画協力： ホワイトインターナショナル

会 場： 愛媛県美術館 企画展示室 1・2

趣 旨

ポーランドの首都ワルシャワにあるヨハネ・パウロ 2 世美術館は、同国の個人コレクションとしては最大級の規模と質の高さを誇るポルチェンスキ・コレクションで知られている。本展では、その多彩な女性像に着目し、ルネサンス以降 400 年にわたる西洋絵画史を代表する名匠たちの逸品 61 点を、「母と子」「神話と伝説」「肖像」の 3 章に分けて展観した。

観覧者数： 11,336 名

関連行事

チェンバロコンサート～描くように 語るように～

日 時： 10 月 7 日（土） 11：30～、13：30～

場 所： 愛媛県美術館 エントランスホール

出 演： 大澤宣晃（聖カタリナ大学短期大学部非常勤講師）

参加人数： 延 300 名

ショート・レクチャー

・A 「母と子」

日 時： 11 月 3 日（金・祝）、11 月 23 日（金・祝） 13：30～13：50

場 所： 愛媛県美術館 講堂

講 師： 武田信孝（当館専門学芸員）

参加人数： 延 61 名

・B 「神話と伝説」

日 時： 11 月 3 日（金・祝）、11 月 23 日（金・祝） 14：00～14：20

場 所： 愛媛県美術館 講堂

講 師： 武田信孝（当館専門学芸員）

参加人数： 延 69 名

・C 「肖像」

日 時： 11 月 3 日（金・祝）、11 月 23 日（金・祝） 14：30～14：50

場 所： 愛媛県美術館 講堂

講 師： 武田信孝（当館専門学芸員）

参加人数： 延 49 名

出品目録

第1章 母と子

作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法 (縦×横 cm)
ルーカス・クラナハ(子)	聖母子		油彩、板	80×54.6
アンニーバレ・カラッチ	聖母子	1587年	油彩、カンヴァス	63×50.6
ピーテル・パウル・ルーベンス派	授乳の聖母		油彩、板	57.8×48.3
バルトロメ・エステバン・ムリーリョ	聖母子		油彩、カンヴァス	119.5×84.5
ジャン=フランソワ・ド・トロワ	コーズル伯爵夫人とキュービッドに扮する息子の肖像		油彩、カンヴァス	58.5×46.5
マーガレット・サラ・カーペンター	レディ・スピアーマンと娘ジューンの肖像		油彩、カンヴァス	140×123.5
ナルシス=ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	ジプシーの母と子		油彩、板	46×30.5
ジェイムズ・ジョン・ヒル	若い母親	1868年	油彩、カンヴァス	92×69
ジョン・ウィリアム・ヘインズ	母性の喜び		油彩、カンヴァス	125×90
エミール・ミュルニエ	届かないもの	1888年	油彩、カンヴァス	61×74
アンリ・カンボトスト	母性愛		油彩、カンヴァス	45.6×63.5
カルロ・ファッキネッティ	母性愛		油彩、カンヴァス	76×61.5

第2章 神話と伝説

作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法 (縦×横 cm)
マビューズ(本名:ヤン・ホッサールト)	聖母		油彩、板	46×38
ヤン・ファン・スコレル	マグダラのマリア	1532/37年	油彩、板	68.5×85.5
パリス・ボルドーネ	ダフニスとクロエ	1535年頃	油彩、カンヴァス	112×174
ティントレット(本名:ヤコボ・ロブスティ)	ウリヤの死を知らされるダヴィデ王	1552年	油彩、カンヴァス	159×220
パルマ・イル・ジョヴァネ(本名:ヤコボ・ネグレッティ)	ウルカヌスの鍛冶場のヴィーナス		油彩、カンヴァス	101.5×139.7
ヨーゼフ・ハインツ(父)	聖カタリナの神秘の結婚		油彩、板	84×61
ガイド・レーニ	聖家族-エジプトへの逃避途上の休息	1637年	油彩、カンヴァス	163×134.5
16世紀ポローニャ派、ティツィアーノの追随	ルクレティアの死	1527年	油彩、カンヴァス	105.2×64
アントワーブ派	受胎告知		油彩、板に皮	44.5×35
ドメニキーノ(本名:ドメニコ・ザンピエーリ)	聖チェチリア		油彩、カンヴァス	84.4×66
フランチェスコ・ジェッシ	カリタス-慈愛		油彩、板	73.6×98.2
コルネリス・シュート	東方三博士の礼拝	1652年	油彩、カンヴァス	127×182
アンソニー・ヴァン・ダイク	エジプトへの逃避途上の休息		油彩、カンヴァス	126×155
アンドレア・サッキ	マグダラのマリアと天使		油彩、カンヴァス	119.7×163
ヨアヒム・フォン・ザンドラルト(父)	レアンドロスの死		油彩、カンヴァス	120×140
ディルク・ファン・デル・リッセ	森で水浴するニンフたち		油彩、板	39×51
カルロ・マラッティ ジュゼッペ・バルトロメオ・キアリ	聖母子と聖カタリナと天使たち		油彩、カンヴァス	120×98.5
ドメニコ・ピオーラ(父)	聖家族	1657年	油彩、カンヴァス	99×73
フランチェスコ・トレヴィサーニ	マグダラのマリア		油彩、カンヴァス	96.5×74.4
サミュエル・マッセ	ロトと娘たち		油彩、カンヴァス	123×156
ジャン=フランソワ・ド・トロワ	泉のかたわらのリナルドとアルミーダ		油彩、カンヴァス	72×59
シャルル・アンドレ・ヴァン・ロー	キュービッドの教育		油彩、カンヴァス	43.2×58.4
ベンジャミン・ウエスト ギルバート・スチュアート	美術の寓意		油彩、カンヴァス	126×102

作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法 (縦×横 cm)
ウィリアム・エティ	ヴィーナスのもとを去る軍神マルス		油彩、カンヴァス	153×193
ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	砂漠で罪を償うマグダラのマリア	1874年頃	油彩、カンヴァス	40×90
ナルシス＝ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	ヴィーナスの水浴		油彩、カンヴァス	69×47
ウィリアム＝アドルフ・ブーグロー	ヴィーナスとキューピッド	1903年	油彩、カンヴァス	195.6×106.5

第3章 肖像

作家名	作品名	制作年	技法、支持体	寸法 (縦×横 cm)
ニコラ・ヌーシャテル	皇女アンナの肖像	1567年	油彩、カンヴァス	67×49.5
アロンソ・サンチェス・コエーリヨ	イサベル・クララ・エウヘニアの肖像		油彩、カンヴァス	86.4×72.5
ニコラ・ミニヤール	レディ・メアリ・ウィットモアの肖像		油彩、カンヴァス	126.3×102.8
レンブラント・ファン・レイン	襷襟を着けた女性の肖像	1644年	油彩、板	64×51.5
ヤン・メイテンス	ディアナに扮する少女の肖像	1666年	油彩、カンヴァス	99×76
ピエルフランチェスコ・チッタデーニ	ソマリア伯爵夫人の肖像		油彩、カンヴァス	101×133
アンリ・ガスカール	エリザベート・マルグリット・ドルレアン あるいはマリー・ド・セヴィニエ?の肖像		油彩、カンヴァス	112×87.5
シモン・ペーテルズゾーン・フェレルスト	羊飼いの服装をする若い婦人の肖像		油彩、カンヴァス	76×63.5
ニコラ・ド・ラルズリエール	モンロー皇女の肖像		油彩、カンヴァス	82×65.5
ジャン＝マルク・ナティエ	花の神フローラに扮する女性の肖像	1753年	油彩、カンヴァス	128×98
ジョシュア・レノルズ	ネリー・オブライエン嬢の肖像		油彩、カンヴァス	76×63
ルイ＝ロラン・トランケス	花を持つ若い女性の肖像	1785年	油彩、カンヴァス	73×61.5
フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	水を運ぶ女性		油彩、カンヴァス に紙	31×17.5
フランチェスコ・アイエツ	ルツに扮する女性の肖像	1853年	油彩、カンヴァス	123×100
フリッツ・ツーバー＝ビューラー	花環の少女		油彩、カンヴァス	56×46.5
ジャン・レオン・ジェローム	水を運ぶエジプトの女性の肖像	1883年	油彩、カンヴァス	46.2×37.9
ウィリアム＝アドルフ・ブーグロー	美しいブルネットの女性の肖像	1898年	油彩、カンヴァス	46×38
ジュール・マルク・シャルメラ	リトル・マーメイド		油彩、カンヴァス	141.5×104.8
フレデリック・レイトン	ソフィア・ウェルズリーの肖像	1851年	油彩、カンヴァス	69×51
ライムンド・マドラーソ・イ・ガレッタ	ピンク色のドレスを着た少女の肖像		油彩、カンヴァス	151×100
エミール・ブラク	白いドレスの少女の肖像	1886年	油彩、カンヴァス	92.5×61.5
イグナシオ・スロアガ・イ・サバレタ	女性の肖像		油彩、カンヴァス	89×61.5

作家生活 20 周年記念 コンドウアキのおしごと展

- 会 期： 令和6年1月20日（土） - 3月24日（日）（56日間）
 主 催： 「コンドウアキのおしごと展」実行委員会（愛媛県、テレビ愛媛）
 協 力： 教育画劇、サンエックス、集英社、主婦与生活社、小学館、ソニー・クリエイティブプロダクツ、
 ドワーフ、日本文教出版、白泉社、ひかりのくに、プリント21、ほぼ日、ムービック・プロモ
 ートサービス、Misseri Studio、WOWOW
 後 援： 松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛県小中学校長会、（一財）愛媛県
 私立幼稚園・認定こども園協会、愛媛県保育協議会、愛媛新聞社、南海放送、あいテレビ、愛媛
 朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、えひめリビング新聞社
 企 画： オフィス渋谷
 会 場： 愛媛県美術館 常設展示室1・2

趣 旨

コンドウアキ（1977- /松山市出身）は、世代を超えて愛される「リラックマ」をはじめ、2012年から世界30か国以上の国や地域でアニメーションが放送・配信されている「うさぎのモフィ」、「おふとんさん」「ニャーおっさん」「おはぎちゃん」など、愛すべきキャラクターを数多く生み出している。キャラクターデザインのほか、絵本作家としても活躍し、その“のんびりかわいい”作品世界は、たくさんの人の心を優しく温め、日本はもとより世界各国でも愛され続けている。

コンドウアキの作家20周年を記念する本展は、作家の出身地での初開催となる個展であり、デビュー作「みかんぼうや」から、最新作となる絵本『ゆめぎんこう』まで、その作品を幅広く、網羅的に紹介した。どこか安心するような親しみのあるキャラクターとともに、日常のなにげない、愛しい時間を届ける作品の数々を楽しんでいただく機会となった。

観覧者数：11,460名



出品目録

No	作品名	技法
1	「リラックマ友の会」(サンエックス株式会社) 会報への寄稿イラスト	水彩画

みかんぼうや

No	作品名	技法
2	「みかんぼうや」 描き下ろし	ペン画 (PC着彩)
3	「みかんぼうや」 描き下ろし	ペン画 (PC着彩)
4	「みかんぼうや」 下絵 (最初のネタ出し)	ペン画 (PC着彩)
5	「みかんぼうや」 ラフ画	ペン画 (PC着彩)
6	「みかんぼうや」 テレビCM	映像

「リラックマ ここにいます」

No	作品名	技法
7	「リラックマ ここにいます」 表紙絵	水彩画
8	「リラックマ ここにいます」 イエスとノー以外にも こたえはあるんです	水彩画
9	「リラックマ ここにいます」 おひさまはだいじ あめのひもだいじ	水彩画
10	「リラックマ ここにいます」 ちょっときゅうけい	水彩画
11	「リラックマ ここにいます」 終わったことです。	
12	「リラックマ ここにいます」 おひさまが出れば かわきます	水彩画
13	「リラックマ ここにいます」 わからなくてもなかよくなれます	水彩画
14	「リラックマ ここにいます」 いいものはいい	水彩画
15	「リラックマ ここにいます」 からい 苦い しょっぱいがあるから甘いんです	水彩画
16	「リラックマ ここにいます」 アンテナの向きは 自分で変えられます	水彩画
17	「リラックマ ここにいます」 もんくじゃありません 感想です	水彩画
18	「リラックマ ここにいます」 スキの数だけ にっこりがある	水彩画
19	「リラックマ ここにいます」 えんにまかせておけば いいんです	水彩画
20	「リラックマ ここにいます」 聞いてくれる人は きっといますよ	水彩画
21	「リラックマ ここにいます」 別のことが近道かも	水彩画
22	「リラックマ ここにいます」 重いものじゃなくて大事なものをもちましよう	水彩画
23	「リラックマ ここにいます」 明日はきっといい日	水彩画
24	「リラックマ」 外国語版	
25	「リラックマ」 ラフ	
26	「リラックマ」 ラフ	
27	「リラックマ」 ラフ	

「リラックマ いつもいます」

No	作品名	技法
28	「リラックマ いつもいます」 表紙絵	水彩画
29	「リラックマ ここにいます」 つくられた道を歩かなくても いいんです	水彩画
30	「リラックマ いつもいます」 いつだって一緒にいるのは自分	水彩画
31	「リラックマ いつもいます」 気がつけば できていることもありますよね	水彩画
32	「リラックマ いつもいます」 縁があれば なんとだってつながります	水彩画
33	「リラックマ いつもいます」 イイコトも ワルイコトもたいがいいいきなり	水彩画
34	「リラックマ いつもいます」 つかれているとかなしさがふえちゃいますから	水彩画
35	「リラックマ いつもいます」 ときどき出しましょう	水彩画
36	「リラックマ いつもいます」 ほしゅうも必要です	水彩画
37	「リラックマ いつもいます」 近くでも見つからないこともあります	水彩画
38	「リラックマ いつもいます」 なにも考えていません	水彩画
39	「リラックマ いつもいます」 われをわすれる幸せ	水彩画
40	「リラックマ いつもいます」 いそぐから みえるものもある いそがないから みえるものもある	水彩画
41	「リラックマ いつもいます」 手はなすから新たなものを つかめるんです	水彩画
42	「リラックマ いつもいます」 分からないことのほうが 多いもんです	水彩画
43	「リラックマ いつもいます」 そっとしておくのも やさしさです	水彩画
44	「リラックマ いつもいます」 いいきよりを さがすんです	水彩画

No	作品名	技法
45	「リラックマ いつもいます」 どんな風に見えるかは自分しだいです	水彩画
46	「リラックマ いつもいます」 元気は出すものじゃないんです 徐々に出てくるものなんです	水彩画
47	「リラックマ いつもいます」 スキの数だけ にっこりがある	水彩画
48	「リラックマ いつもいます」 結果を気にしていたらはじめられません	水彩画
49	「リラックマ いつもいます」 みえてなくてもがんばっています	水彩画
50	「リラックマ いつもいます」 くもがでて 雨がふって そして晴れます	水彩画
51	「リラックマ いつもいます」 いっぱいお待ちさせるのわるいじゃないですか	水彩画
52	「リラックマ いつもいます」 大事な思い出は あなたからいなくなったりしません	水彩画

「リラックマのなんでもない今日。」

No	作品名	技法
53	「リラックマのなんでもない今日。」 1月 寒波到来の日	水彩画
54	「リラックマのなんでもない今日。」 1月 はじまる日	水彩画
55	「リラックマのなんでもない今日。」 2月 雨から雪になる日	水彩画
56	「リラックマのなんでもない今日。」 2月 愛の日	水彩画
57	「リラックマのなんでもない今日。」 3月 油断した日	水彩画
58	「リラックマのなんでもない今日。」 3月 まだ変わらない日	水彩画
59	「リラックマのなんでもない今日。」 4月 困りはてた日	水彩画
60	「リラックマのなんでもない今日。」 4月 若葉がキラめく日	水彩画
61	「リラックマのなんでもない今日。」 5月 こどもの日	水彩画
62	「リラックマのなんでもない今日。」 5月 しおひがりの日	水彩画
63	「リラックマのなんでもない今日。」 6月 雨がつつく日	水彩画
64	「リラックマのなんでもない今日。」 6月 会いたい日	水彩画
65	「リラックマのなんでもない今日。」 7月 みんなはやおきの日	水彩画
66	「リラックマのなんでもない今日。」 7月 とれほうだいの日	水彩画
67	「リラックマのなんでもない今日。」 8月 横をむけない日	水彩画
68	「リラックマのなんでもない今日。」 8月 ただただ見上げる日	水彩画
69	「リラックマのなんでもない今日。」 9月 一心不乱の日	水彩画
70	「リラックマのなんでもない今日。」 9月 月を背にだんごの日	水彩画
71	「リラックマのなんでもない今日。」 10月 ひとあしおそかった日	水彩画
72	「リラックマのなんでもない今日。」 10月 キセキの出会いの日	水彩画
73	「リラックマのなんでもない今日。」 11月 多忙な日	水彩画
74	「リラックマのなんでもない今日。」 11月 ここにずっといたい日	水彩画
75	「リラックマのなんでもない今日。」 12月 お湯に溶ける夜	水彩画
76	「リラックマのなんでもない今日。」 12月 チキンもケーキもたべる日	水彩画

「リラックマのそばにいます」

No	作品名	技法
77	「リラックマ そばにいます」 表紙絵	水彩画
78	「リラックマ そばにいます」 会わない時間が長くても また会いにいけばいいんです	水彩画
79	「リラックマ そばにいます」 ココログいっぱいときは 出しちゃうといいですよ	水彩画
80	「リラックマ そばにいます」 キモチはみえないから 気づかないことが多いですよ	水彩画
81	「リラックマ そばにいます」 ごきげんを補給しましょう	水彩画
82	「リラックマ そばにいます」 怒っているワケは涙でみえなくなりがちです	水彩画
83	「リラックマ そばにいます」 足も 気が向かないといっていますので	水彩画
84	「リラックマ そばにいます」 とおりすぎていくコトバもありますね	水彩画
85	「リラックマ そばにいます」 感情もうつります	水彩画
86	「リラックマ そばにいます」 おいしいものは うれしいも 元気も ほっこりも運んでくるんですよ	水彩画
87	「リラックマ そばにいます」 逃げていません楽しい方向に向かっているんです	水彩画
88	「リラックマ そばにいます」 あたらしい発見は、自分の中にもありますよ	水彩画
89	「リラックマ そばにいます」 時間は貯金できません	水彩画
90	「リラックマ そばにいます」 順番にやらなくたっていいんです	水彩画
91	「リラックマ そばにいます」 ここまで歩いてきたのは あなたの足が 知ってますよ	水彩画
92	「リラックマ そばにいます」 サナギのうちは 身動きがとれませんから	水彩画
93	「リラックマ そばにいます」 新しい場所も 2回めからは みなれた場所です	水彩画

No	作品名	技法
94	「リラックマ そばにいます」 ねぶそくだと道を まちがっちゃいますから	水彩画
95	「リラックマ そばにいます」 自分だけのルールはかえられますよ	水彩画
96	「リラックマ そばにいます」 お天気の中には嵐も存在する	水彩画
97	「リラックマ そばにいます」 今夜は明日につながっています	水彩画
98	「リラックマ そばにいます」 たまに閉じていることもあります	水彩画

「ゆめぎんこう」

No	作品名	技法
99	「ゆめぎんこう」 きょうはどんなゆめをみようかな	水彩画
100	「ゆめぎんこう」 はいはい、もしもし。こちらゆめぎんこうです。あ！ かいとりのおきゃくさま。しょうちいたしました、こんばんです。おうかがいいいたします。	水彩画
101	「ゆめぎんこう」 ばくのもぐもぐといっしょに	水彩画
102	「ゆめぎんこう」 ここかな。こんばんは。。。	水彩画
103	「ゆめぎんこう」 や、こんばんは。ゆめぎんこうさんだね。今からねます。どうぞよろしく。	水彩画
104	「ゆめぎんこう」 ひとばんに、ゆめをいくつもみる 場合もあります。	水彩画
105	「ゆめぎんこう」 ほくたちはかえります。ひきつづき、よいゆめを・・・。	水彩画
106	「ゆめぎんこう」 あのー、どうやって ゆめをアメにしているんだい？ それは きぎょうひみつです。	水彩画
107	「ゆめぎんこう」 あの、こちらのひとは ゆめに出てこなかったかな？	水彩画
108	「ゆめぎんこう」 こんなふたりでした。もしかして こちらの方は ごいらいぬしさんでしたが？ とってもたのしそうでした。	水彩画
109	「ゆめぎんこう」 シャボン玉にはいるのは、つまが、いつも言っていたんだ。あれに入れたら どこまでも行けるわって。	水彩画
110	「ゆめぎんこう」 ああ、キミたちとはなしてたら、いろんなことを思い出せたよ。ありがとう。	水彩画
111	「ゆめぎんこう」 ペンペンは、このしごとはあまり好きではありません。	水彩画
112	「ゆめぎんこう」 いらっしゃいませ、ゆめぎんこうです。おきゃくさまは、どんなゆめをごきほうですか？	水彩画
113	「ゆめぎんこう ちいさなおきゃくさま」 あたたかいミルクとビスケットを食べるとちいさなおきゃくさまは、ぼつりぼつりと話しました。	水彩画
114	「ゆめぎんこう ちいさなおきゃくさま」 ゆめがでできました。ペンペンももぐもぐ、うかないかおでゆめをのぞきます。	水彩画
115	「ゆめぎんこう ちいさなおきゃくさま」	水彩画
116	「ゆめぎんこう おまつりへいく」 第4巻	
117	「ゆめぎんこう おまつりへいく」 第4巻	
118	「ゆめぎんこう おまつりへいく」 第5巻	
119	「ゆめぎんこう おまつりへいく」 第6巻	

うさぎのモフィ

No	作品名	技法
120	「モフィの泣いたり笑ったり思ったり。」	パネル
121	「うさぎのモフィ」 ピクニック 10周年記念描き下ろし	ペン画 (PC着彩)
122	「うさぎのモフィ」 雨やどり メイキング動画の為の描き下ろし	ペン画 (PC着彩)
123	「うさぎのモフィ もりのまいにち」 表紙絵	ペン画 (PC着彩)
124	「うさぎのモフィ」 LINEスタンプ用イラスト	
125	「うさぎのモフィ」	ペン画
126	「うさぎのモフィ」	ペン画
127	「うさぎのモフィ」	ペン画
128	「うさぎのモフィ」	ペン画
129	「うさぎのモフィ」	ペン画 (PC着彩)
130	「リーとスーのどこ？どこ？どこ？」	水彩画
131	「リーとスーのどこ？どこ？どこ？」	水彩画
132	「リーとスーのどこ？どこ？どこ？」	水彩画
133	「リーとスーのどこ？どこ？どこ？」	水彩画
134	「リーとスーのどこ？どこ？どこ？」	水彩画
135	「リーとスーのどこ？どこ？どこ？」	水彩画
136	「リーとスーのどこ？どこ？どこ？」	水彩画
137	「うさぎのモフィ」 ラフ画	
138	「うさぎのモフィ」 ライセンス商品	

No	作品名	技法
139	「うさぎのモフィ」 フィギュア (イタリア製)	
140	「うさぎのモフィ」 玩具 (イタリア製)	
141	「うさぎのモフィ」 外国語版書籍	
142	コマ撮りアニメーション 「うさぎのモフィ」	アニメーション
143	「うさぎのモフィ」 ラフ画	
144	「リーとスーのどこ?どこ?どこ?」 ラフ画	
145	「リーとスーのどこ?どこ?どこ?」	水彩画
146	「リーとスーのどこ?どこ?どこ?」	水彩画
147	「リーとスーのどこ?どこ?どこ?」	水彩画

おふとんさん

No	作品名	技法
148	おふとんさん	鉛筆画
149	おふとんさん	鉛筆画
150	おふとんさん	鉛筆画
151	おふとんさん	鉛筆画
152	おふとんさん ピンチ	パネル
153	おふとんさん 季節	パネル
154	おふとんさん ひきつぎ	パネル
155	おふとんさん ころもがえ	パネル
156	おふとんさん はじめまして	パネル
157	おふとんさん おひるね	パネル
158	おふとんさん 昔話	パネル
159	おふとんさん さよなら雨!	パネル

コラボレーション作品

No	作品名	技法
160	「ポストベット」 コラボレーション・イラスト	水彩画
161	「ポストベット」 コラボレーション・イラスト	水彩画
162	「ギュスターヴくん」 (ヒグチユウコ著) コラボレーション・イラスト	水彩画
163	「ギュスターヴくん」 (ヒグチユウコ著) コラボレーション・イラスト	水彩画
164	「ギュスターヴくん」 (ヒグチユウコ著) コラボレーション・イラスト	水彩画
165	「11ぴきのねこ」 (馬場のぼる著) 記念コラボレーション	水彩画
166	「Evs+Café」 (2018.9.1~9.9.) コラボレーション・イラスト	水彩画
167	「Evs+Café」 (2018.9.1~9.9.) コラボレーション・イラスト	水彩画
168	「Evs+Café」 (2018.9.1~9.9.) コラボレーション・イラスト	水彩画
169	「Evs+Café」 (2018.9.1~9.9.) コラボレーション・イラスト	水彩画

その他キャラクターたち

No	作品名	技法
170	「ショパンとパンジー」 教科書の表紙絵	刷り出し (印刷)
171	「ショパンとパンジー」 教科書の表紙絵	刷り出し (印刷)
172	「ぴこちゃんえほん」 (ひかりのくに 雑誌) 表紙 ラフ画	
173	「ぴこちゃんえほん」 ラフ画	
174	「おくとんとだんなちゃん」 描き下ろし	PC着彩
175	「ニャーおっさん」 描き下ろし	PC着彩
176	「ニャーおっさん」 描き下ろし	PC着彩
177	「ニャーおっさん」 下絵	
178	「ニャーおっさん」 ライセンス商品	

おはぎちゃん

No	作品名	技法
179	「おはぎちゃん」 ひっそり	水彩画
180	「おはぎちゃん」 おはぎちゃんやで	水彩画
181	「おはぎちゃん」 床におちているおはぎちゃん	水彩画

No	作品名	技法
182	「おはぎちゃん」 ゆったりおはぎちゃん	水彩画
183	「おはぎちゃん」 はこ	水彩画
184	「おはぎちゃん」 ボールあそび	水彩画
185	「おはぎちゃん」 ドーナツと	水彩画
186	「おはぎちゃん」 はじっこ	水彩画
187	「おはぎちゃん」 きいている	水彩画
188	「おはぎちゃん」 つめ	水彩画
189	「おはぎちゃん」 意外	水彩画
190	「おはぎちゃん」 毛づくろい	水彩画
191	「おはぎちゃん」 朝のおはぎちゃん	水彩画
192	「おはぎちゃん」 気づいたら寝てる	水彩画
193	「おはぎちゃん」 鳴くとき	水彩画
194	「おはぎちゃん」 ラフ画	

トリペと

No	作品名	技法
195	「トリペと」 ラフ画	
196	「トリペと」 外国語版書籍	

キャラクター関連商品

No	作品名	技法
197	ほぼ日 オリジナル商品	
198	「ダンシング・きつね」 ライセンス商品	
199	「ウーとワー」 ラフ画	
200	「ウーとワー」 ライセンス商品	
201	「ほぼトリドリ」 スケッチ	
202	「ほぼトリドリ」 ライセンス商品	

その他キャラクターたち

No	作品名	技法
203	「ぶっかちゃんのおてつだい」 たこの ぶっかちゃんは、しずかな うみの そこで おとうさんとおかあさんと くらしています。	水彩画
204	「ぶっかちゃんのおてつだい」 「はく、うみの そとを みてみたい。いい？」 ぶっかちゃんは、げんきよく かけていきました。	水彩画
205	「ぶっかちゃんのおてつだい」 ぶっかちゃんは いろいろな おてつだいを しました。 はたけの やさいを ぬいたり、 たいやきを やいたりしました。	水彩画
206	「ぶっかちゃんのおてつだい」 あ、たいやきやさんからは ととと にげだしましたけどね。	水彩画
207	「ムムさんのまほうのケーキやさん」 そこへ ムムさんの ともだち、ひげもじゃの クックさんがやってきました。	水彩画
208	「ムムさんのまほうのケーキやさん」 「そうそう！ なんなら まい月 たんじょう日が あってもいい よ！」 ムムさんは うれしそうに わらいました。	水彩画
209	「ムムさんのまほうのケーキやさん」 すてきな めので、ミミに びったりの エプロンをつくってくれました。 「おたんじょう日 おめでとう ミミ」	水彩画
210	「ムムさんのまほうのケーキやさん」 その日は いつまでも わらいごえと おいしいにおいが いっぱい あふれていました。	水彩画
211	展覧会ポスターの為に描かれたキャラクターたち	水彩画
212	展覧会ポスターの為に描かれたキャラクターたち	水彩画
213	展覧会ポスターの為に描かれたキャラクターたち	水彩画
214	コマ撮りアニメーション 「ウーとワーの漂流記」	アニメーション

瀬戸内海国立公園指定 90 周年 わたしのうみ ART/LIFE

- 会 期： 令和6年2月7日（水） - 3月24日（日）（41日間）
主 催： 愛媛県美術館
共 催： 愛媛新聞社
助 成： 令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業
協 力： 愛媛大学国際連携推進機構、愛媛県総合科学博物館、愛媛県歴史文化博物館
後 援： 中国四国地方環境事務所四国事務所、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、
産経新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、えひめりびング新聞社
会 場： 本館1階 企画展示室1・2

趣 旨

瀬戸内海は、「我が国の風景を代表するに足る傑出した自然の風景地」として1934年に日本初の国立公園のひとつとして指定され、2024年3月16日に指定から90周年の節目を迎えた。本州、四国および九州により囲まれた日本最大の内海である瀬戸内海には、700を超える大小さまざまな島々が点在しており、この多島美からなる風景や、そこから生まれた豊かな資源は、美術に限らず、私たちの暮らしにも大きな影響を与えてきている。本展では、その歴史を語る絵画作品をはじめ、身近な民藝や建築の仕事についても紹介した。

また、多角的な理解を深めるために、資料や研究調査成果を共有しながら、県の歴史文化博物館および総合科学博物館においても同時期に瀬戸内海に関する展示を開催し、時代や分野を越えてつながる瀬戸内海の魅力について、現代作家shunshunのエピローグの展示等もあわせて、ひとりひとりが「わたしのうみ」として思い見る機会を提供した。

観覧者数：5,036名

関連行事

●トーク、レクチャー

県立3ミュージアム連続講座

日 時：2月25日（日） 13：30～15：00

場 所：研修室

参加人数：延べ57人

①「地質学からみる白砂青松の風景」

講 師：山根勝枝専門学芸員（県総合科学博物館）

②「瀬戸内海をとらえた作家たち」

講 師：喜安嶺主任学芸員

③「歴史からみる瀬戸内海トラベル」

講 師：甲斐未希子主任学芸員（県歴史文化博物館）

民藝トーク

日 時：3月20日（水・祝） 14：00～15：00

場 所：企画展示室

講 師：小谷栄次（倉敷ガラス）、瀧山雄一（倉敷緞通）

参加人数：40人

せとうち夜話

時 間：18：00～19：00
場 所：ミュージアムカフェ
参加人数：延べ42人

- ①ブック・写真編 3月1日（金）
越智政尚（本の轍主宰）×宮畑周平（瀬戸内編集デザイン研究所代表）
- ②デザイン・クラフト編 3月22日（金）
井上真季（本展デザイナー）×門田真記子（工芸ロサ店主）

●ワークショップ

線で描く海 [公開制作+ワークショップ]

日 時：2月11日（日） ①11：00～12：00（公開制作）／②13：30～16：00（ワークショップ）
場 所：①エントランスホール ②展望ロビー
参加人数：延べ124人（ワークショップ 12人）
講 師：shunshun（素描家）

ちりめんモンスター inケンビ

日 時：2月17日（土） 13：30～15：00
場 所：エントランスホール
参加人数：35人
講 師：小林真吾専門学芸員・担当係長（県総合科学博物館）

「藍染」ワークショップ

日 時：2月23日（金・祝） ①10：30～11：30 ②14：00～15：00
場 所：南館 アトリエ2
参加人数：21人
講 師：田代亜矢子専門学芸員・担当係長

県立3ミュージアムコラボ

ビーチコーミング観察会+ワークショップ

日 時：2月24日（土） 10：00～15：00
場 所：扶桑会館（伊予市）ほか
参加人数：22人
講 師：3館学芸員

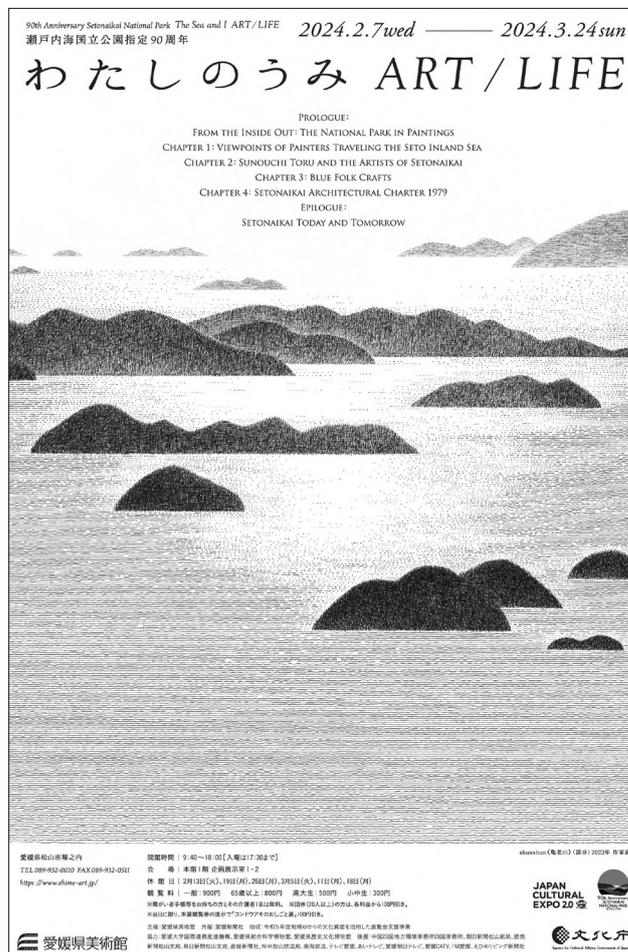
●体験

民藝と建築ツアー

浦辺鎮太郎設計の「愛媛民藝館」と
「西条栄光教会」をよくみて・楽しむツアー
日 時：3月23日（土） 13：00～15：00
場 所：愛媛民藝館（西条市）ほか
参加人数：21人
講 師：曲田清維（愛媛大学名誉教授）、
和田耕一（設計士）

たんけん？はっけん！瀬戸内海

日 時：3月3日（日）、10日（日）、
17日（日）、24日（日）
各日10：30～14：30
場 所：企画展示室
参加人数：延べ167人
ナビゲーター：作品ガイドボランティアほか



出品目録

作品リスト

凡例：作品データは、作品番号（各章通し番号）、作品・資料名、作家名等、制作・発行年、技法・材質、サイズ（縦×横または高さ〔厚さ〕×奥行×幅/単位cm）、所蔵者の順に記した。

プロローグ 内から外へー国立公園を描く

			作品・資料名	作家名等	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
P	1		屋島よりの遠望	藤島武二	1932	油彩、カンヴァス	52.9×72.5	石橋財団アーティゾン美術館
P	2		屋島よりの展望	藤島武二	1932	油彩、カンヴァス	53.3×73.0	小杉放菴記念日光美術館
P	3		櫃石島の帰帆	満谷国四郎	1932	油彩、カンヴァス	61.2×80.6	小杉放菴記念日光美術館
P	4		朝の仙酔島	梅原龍三郎	c.1932	油彩、カンヴァス	65.7×80.6	小杉放菴記念日光美術館
P	5		巖島	鈴木信太郎	1953	油彩、カンヴァス	65.3×80.5	小杉放菴記念日光美術館
P	6		春の来島海峡	須田国太郎	1953	油彩、カンヴァス	65.1×80.3	小杉放菴記念日光美術館
P	7		大華山	海老原喜之助	1953	油彩、カンヴァス	65.1×80.3	小杉放菴記念日光美術館
P	8		姫島	宮本三郎	1953	油彩、カンヴァス	65.5×80.6	小杉放菴記念日光美術館
P	9		摩耶山からの展望	野間仁根	1956	油彩、カンヴァス	65.0×80.3	小杉放菴記念日光美術館

第1章 瀬戸内海を旅した画家のまなざし

			作品・資料名	作家名	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
1	1	前	瀬戸内海航路図屏風		江戸時代	紙本着色、六曲一雙	175.6×376.8 (各)	国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）
1	2	前	東海道西国筋図巻		江戸時代	紙本着色、一卷	36.7×1,227.0	愛媛県歴史文化博物館
1	3	後	瀬戸内海航路図		江戸時代	紙本着色、一卷	59.5×450.0	愛媛県歴史文化博物館
1	資料		イラストレイテッド・ロンドン・ニュース1868年3月14日号		1868	断片（雑誌）	40.3×26.5	愛媛県美術館

仲間との旅

			作品・資料名	作家名	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
1	資料		瀬戸内海写生一周	興文社	1911	書籍	20.0×13.5	愛媛県美術館
1	資料		十人写生旅行	興文社	1911	書籍	20.0×13.5	愛媛県美術館
1	4		松山新立橋	大下藤次郎	c.1911	水彩、紙	25.6×36.5	愛媛県美術館（寄託）
1	5		松のある海辺の風景	中川八郎	明治時代後期	水彩、紙	50.7×33.1	愛媛県美術館
1	6		春の瀬戸内海	吉田博	大正期	油彩、カンヴァス	45.5×60.6	愛媛県美術館
1	7		四十島（ターナー島）	吉田博		油彩、カンヴァス	60.5×46.0	ふなや
1	8	1 前	光る海 『瀬戸内海集』	吉田博	1926	木版、紙	37.2×24.7	広島県立美術館
1	8	2 前	帆船 朝 『瀬戸内海集』	吉田博	1926	木版、紙	50.8×35.9	広島県立美術館
1	8	3	帆船 午前『瀬戸内海集』	吉田博	1926	木版、紙	55.6×40.7	愛媛県美術館
1	8	4 前	帆船 午後『瀬戸内海集』	吉田博	1926	木版、紙	50.9×36.1	広島県立美術館
1	8	5 前	帆船 霧 『瀬戸内海集』	吉田博	1926	木版、紙	50.9×36.0	広島県立美術館
1	8	6	帆船 夕 『瀬戸内海集』	吉田博	1926	木版、紙	54.3×38.9	愛媛県美術館
1	8	7 前	帆船 夜 『瀬戸内海集』	吉田博	1926	木版、紙	50.8×36.1	広島県立美術館
1	9	1 後	白石島『瀬戸内海集 第二』	吉田博	1930	木版、紙	24.8×37.6	広島県立美術館
1	9	2 後	阿武宍の朝『瀬戸内海集 第二』	吉田博	1930	木版、紙	24.6×37.5	広島県立美術館
1	9	3 後	三つ小島『瀬戸内海集 第二』	吉田博	1930	木版、紙	24.6×37.4	広島県立美術館
1	9	4 後	神の島『瀬戸内海集 第二』	吉田博	1930	木版、紙	24.8×37.6	広島県立美術館
1	9	5 後	鍋島 『瀬戸内海集 第二』	吉田博	1930	木版、紙	24.6×37.8	広島県立美術館
1	10		寒霞渓四望眺より	中川八郎	1916	油彩、カンヴァス	45.6×37.8	愛媛県美術館
1	11		興居島	中川八郎	1921	油彩、カンヴァス	38.0×45.5	愛媛信用金庫
1	12		瀬戸内海風景	満谷国四郎	1928	油彩、カンヴァス	37.8×45.5	石橋財団アーティゾン美術館

指定後

			作品・資料名	作家名等	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
1	13		瀬戸内海	矢崎千代二	1935	パステル、紙	24.4×33.2	愛媛県美術館
1	14		瀬戸内海	矢崎千代二	c.1935	パステル、紙	24.0×33.0	横須賀美術館

			作品・資料名	作家名	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
1	15		瀬戸内海 夕映	矢崎千代二	1935	パステル、紙	31.5×43.5	横須賀美術館
1	16		海岸風景	矢崎千代二	1935	パステル、紙	24.0×32.8	横須賀美術館
1	17		宮島	矢崎千代二	1935	パステル、紙	44.0×31.0	横須賀美術館
1	18		別府・観海寺温泉	矢崎千代二	1935	パステル、紙	32.0×43.5	横須賀美術館
1	資料		大阪商船絵葉書など					
1	19		高浜四十島 『創作版画 伊豫風景』	畦地梅太郎	1936	木版、紙	27.5×36.5	愛媛県美術館
1	20		瀬戸の春	石崎重利		木版、紙	20.5×28.3	個人蔵
1	21	1	備前・下津井 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	19.9×28.5	愛媛県美術館
1	21	2	備後・仙酔島 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	20.7×28.6	愛媛県美術館
1	21	3	備後・阿伏兎観音 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	19.9×28.5	愛媛県美術館
1	21	4	伊予・松山城遠望 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	11.8×28.1	愛媛県美術館
1	21	5	伊予・高浜港 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	20.0×28.3	愛媛県美術館
1	21	6	伊予・来島瀬戸 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	20.1×27.8	愛媛県美術館
1	21	7	伊予・今治港 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	20.0×28.2	愛媛県美術館
1	21	8	讃岐・寒霞溪 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	27.5×19.6	愛媛県美術館
1	21	9	讃岐・丸亀 『瀬戸内海十二景』	石崎重利	1937	木版、紙	20.0×28.2	愛媛県美術館
1	22		来島水道仲渡島附近	野間仁根	1967	油彩、カンヴァス	72.7×91.0	愛媛県美術館

地質にみる「白砂青松」

			作品・資料名	作家名	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
1	資料		コバノミツバツツジ(レプリカ)					愛媛県総合科学博物館
1	資料		花崗岩	愛媛県今治市				愛媛県総合科学博物館
1	資料		花崗閃緑岩	愛媛県今治市				愛媛県総合科学博物館
1	資料		閃緑岩	愛媛県今治市				愛媛県総合科学博物館
1	資料		花崗岩質片麻岩	愛媛県今治市				愛媛県総合科学博物館

第2章 洲之内徹と瀬戸内の作家たち

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
2	1		洲之内徹像	徳本立憲		油彩、カンヴァス	73.0×53.0	愛媛県立松山東高等学校
2	2	前	三津朝市の競り3	岡本鐵四郎		水彩、紙	32.0×40.0	個人蔵
2	3	後	三津朝市の競り1	岡本鐵四郎	1976	水彩、紙	32.0×40.0	個人蔵
2	4		三坂峠より内海 (ゴゴ島)を望む	岡本鐵四郎		水彩、紙	31.8×41.0	個人蔵
2	5		三津三丁目丸田醬油店	岡本鐵四郎		水彩、紙	33.2×45.2	個人蔵
2	6		興居島遠望	柳瀬正夢	1936	油彩、板	8.0×14.7	愛媛県美術館
2	7		スケッチブック(8)	柳瀬正夢	1916	スケッチブック	14.0×19.0	東京都現代美術館 美術図書室
2	8		スケッチブック(10)	柳瀬正夢	1916	スケッチブック	14.0×19.0	東京都現代美術館 美術図書室
2	9		スケッチブック(18)	柳瀬正夢	c.1916	スケッチブック	14.0×19.0	東京都現代美術館 美術図書室
2	10		スケッチブック(38)	柳瀬正夢	c.1920	スケッチブック	20.0×15.0	東京都現代美術館 美術図書室
2	11		創作ノート(1)	柳瀬正夢	1916	ノート	21.0×17.0	東京都現代美術館 美術図書室

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
2	12		伯方島	古茂田公雄	c.1962	油彩、カンヴァス	38.0×45.5	愛媛県美術館
2	13		瀬戸内風景・伯方島より	古茂田公雄	1962	油彩、カンヴァス	112.0×162.0	大和屋本館
2	14		興居島 (高浜黒岩付近より望む)	古茂田公雄	1957	油彩、カンヴァス	65.2×80.3	個人蔵
2	15		中島風景	古茂田公雄	1957	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	愛媛県美術館
2	16		塩田最後の日	田中岑	1972	油彩、カンヴァス	72.7×50.0	香川県立ミュージアム
2	17		エレジー	田中岑	1984	油彩、カンヴァス	91.0×116.7	川崎市市民ミュージアム
2	18		太鼓の音	田中岑		油彩、カンヴァス	65.2×100.0	個人蔵
2	19	前	瀬戸内海	田中岑	1996	パステル、紙	52.7×37.7	川崎市市民ミュージアム
2	20	前	瀬戸内海	田中岑	1996	パステル、紙	52.7×37.7	川崎市市民ミュージアム
2	21	1 後	朝の塩飽 『瀬戸内三題』	田中岑	1983	リトグラフ	70.0×50.0	個人蔵
2	21	2 後	真昼の高松西浜『瀬戸内三題』	田中岑	1983	リトグラフ	70.0×50.0	個人蔵
2	21	3 後	燧灘の夕陽『瀬戸内三題』	田中岑	1983	リトグラフ	70.0×50.0	個人蔵
2	22		周防灘	松田正平	1974	油彩、カンヴァス	61.0×73.0	山口県立美術館
2	23		周防灘(祝島)	松田正平	1980	油彩、カンヴァス	80.8×116.8	山口県立美術館
2	24		周防灘	松田正平	1980	油彩、カンヴァス	91.1×65.5	光市文化センター
2	25		祝島風景	松田正平	1994	油彩、カンヴァス	51.7×71.6	山口県立美術館
2	26		風の門 - S氏へのレクイエム	森堯茂	1996	鉄	h50.0d50.0w60.0	町立久万美術館

第3章 あおの民芸

1. 砥部焼

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
3	1	1	心偲「ドコテ御手ノ真中ナル」	柳宗悦	1958	書、軸	64.0×28.0	梅山窯
3	1	2	飛鹿図	バーナード・リーチ	1953	陶板	h9.3d55.0w54.5	砥部焼伝統産業会館
3	1	3	「磁土第一義」	富本憲吉	1956	墨、色紙	27.0×24.0	梅山窯
3	1	4	染付「白雲悠々」字角皿	富本憲吉		磁器	h5.0d31.4w31.6	梅山窯
3	1	5	呉須打掛寿字角皿	鈴木繁男		磁器	h3.5d21.3w21.4	梅山窯
3	1	6	染付草花文角皿	藤本能道		磁器	h4.5d21.6w21.6	砥部むかしのくらし館
3	1	7	染付魚文大皿	澤田惇		磁器	D35.3h5.5	砥部むかしのくらし館
3	1	8	染付馬文様花瓶	澤田惇		磁器	D16.0h23.4	砥部むかしのくらし館
3	1	9	赤絵金彩羊歯文大皿	岩橋節夫	昭和後期	磁器	D40.0h7.0	砥部焼伝統産業会館
3	1	10	染付唐草文大皿	工藤省治		磁器	D53.5h11.0	梅山窯
3	1	11	染付魚文皿	工藤省治		磁器	D30.8h4.0	砥部むかしのくらし館
3	1	12	6寸筒 2段 赤線唐草	梅山窯		磁器	D9.0h 18.6	梅山窯
3	1	13	5寸玉縁鉢 内外唐草	梅山窯		磁器	D15.5h5.0	梅山窯
3	1	14	ミニ醤油差し皿付 唐草	梅山窯		磁器	D7.0h6.0	梅山窯
3	1	15	4寸玉縁鉢 赤線唐草	梅山窯		磁器	D12.9h5.0	梅山窯
3	1	16	そば猪口 小 呉須太陽	梅山窯		磁器	D8.5h7.0	梅山窯
3	1	17	5寸玉縁鉢 内外太陽	梅山窯		磁器	D15.5h5.0	梅山窯
3	1	18	面取り湯呑 大 呉須巻	梅山窯		磁器	D8.0h 10.0	梅山窯
3	1	19	5.2寸縁付丸皿 深手 呉須巻	梅山窯		磁器	D15.0h2.0	梅山窯
3	1	20	6寸切立丸皿 呉須巻	梅山窯		磁器	D18.0h3.0	梅山窯
3	1	21	くらわんか 小 呉須赤菊	梅山窯		磁器	D11.0h6.0	梅山窯
3	1	22	5.5寸正角布目皿 呉須赤菊	梅山窯		磁器	h2.0d17.0w17.0	梅山窯
3	1	23	そば猪口 小 風船花	梅山窯		磁器	D8.5h7.0	梅山窯
3	1	24	5.5寸正角布目皿 風船花	梅山窯		磁器	h1.5d17.5w17.5	梅山窯
3	1	25	芡手土瓶 なずな	中田窯		磁器	D14h 16	中田窯
3	1	26	釉裏紅加彩鶏頭	中田窯		磁器	D24.5h3.5	中田窯
3	1	27	入れ子 5個組 細十草	中田窯		磁器	D6.0h4.7	中田窯
3	1	28	ティーポット 菊唐草	中田窯		磁器	D15.0h12.5	中田窯
3	1	29	ドラ鉢 すずらん	中田窯		磁器	D16.5h8.5	中田窯
3	1	30	7寸リム皿 すずらん	中田窯		磁器	D21.0h4.0	中田窯
3	1	31	8寸リム皿 なずな	中田窯		磁器	D25.0h3.5	中田窯

2. 伊予絣

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
3	2	1	瀬戸初秋	石崎重利		木版、紙	35.8×46.8	愛媛県美術館
3	2	2	城(松に飛鶴、三つ巴入り陣太鼓)と幾何 蒲団地		明治時代	経緯絣	150.0×126.0 (4幅)	伊予織物工業協同組合
3	2	3	幾何と鯛に恵比寿 蒲団地		明治時代	経緯絣	151.0×124.0 (4幅)	伊予織物工業協同組合
3	2	4	市松に風車 子ども用袖なし(綿入り)		昭和初期	経緯絣	53.3×38.8	伊予織物工業協同組合
3	2	5	踊る少女と蝶 子ども用ワンピース		昭和初期	経緯絣	47.8×56.6	伊予織物工業協同組合
3	2	6	椿と流水 裂			経緯絣	225.0×33.0	伊予織物工業協同組合
3	2	7	城に松と提灯短冊に「祝共 進会重要物産」文字 裂		明治後期	経緯絣	143.0×34.0	伊予織物工業協同組合
3	2	8	アイスクリーム用の硝子食器 にスプーン 裂			経緯絣	143.0×32.0	伊予織物工業協同組合
3	2	9	サイクリングと流水に花と蝶 裂		明治後期	緯絣	118.0×33.0	伊予織物工業協同組合
3	2	10	市松に英字と幾何 裂			経緯絣	71.0×34.0	伊予織物工業協同組合
3	2	11	幾何とチューリップ 裂		明治中期	経緯絣	45.0×34.0	伊予織物工業協同組合
3	2	12	伊予絣着物 綺羅星	村上君子	2018	経緯絣	176.0×62.0	作家蔵

3. 倉敷ガラス

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
3	3	1	大丸瓶	小谷眞三		ガラス	D15.0h21.0	愛媛民藝館
3	3	2	両耳付扁瓶	小谷眞三		ガラス	h21.0d6.5w10.5	愛媛民藝館
3	3	3	金茶角長小瓶	小谷眞三		ガラス	D7.0h22.5	愛媛民藝館
3	3	4	ポケット瓶	小谷眞三		ガラス	h16.0d3.5w7.5	愛媛民藝館
3	3	5	ミルク注ぎ	小谷眞三		ガラス	h9.0d11.0w8.0	愛媛民藝館
3	3	6	経筒蓋物	小谷眞三		ガラス	D9.5h21.0	愛媛民藝館
3	3	7	角 中瓶	小谷眞三		ガラス	h18.7d4.5w12.0	愛媛民藝館
3	3	8	角酒瓶	小谷眞三		ガラス	h15.5d6.5w8.0	愛媛民藝館
3	3	9	角瓶	小谷眞三		ガラス	h25.5d5.0w10.0	愛媛民藝館
3	3	10	水差	小谷眞三		ガラス	h16.0d13.0w10.0	愛媛民藝館
3	3	11	砂糖入	小谷眞三		ガラス	h11.5d12.5w9.5/ h10.5d13.0w9.5	愛媛民藝館
3	3	12	角瓶	小谷眞三		ガラス	h19.2d6.5w7.0	個人蔵
3	3	13	角瓶	小谷眞三		ガラス	h18.5d6.8w6.5	個人蔵
3	3	14	栓付角瓶	小谷眞三		ガラス	h19.0d7.0w7.0	愛媛民藝館
3	3	15	酒瓶大	小谷栄次	2023	ガラス	D13.0h36.5	作家蔵
3	3	16	酒瓶	小谷栄次	2024	ガラス	D12.0h29.5	作家蔵
3	3	17	酒瓶	小谷栄次	2024	ガラス	D12.0h24.5	作家蔵
3	3	18	酒瓶扁壺大	小谷栄次	2024	ガラス	h23.0d8.0w13.0	作家蔵
3	3	19	酒瓶扁壺	小谷栄次	2024	ガラス	h19.5d8.0w13.0	作家蔵
3	3	20	酒瓶角	小谷栄次	2023	ガラス	D8.0h19.5	作家蔵
3	3	21	酒瓶	小谷栄次	2023	ガラス	h23.0d7.5w11.5	個人蔵
3	3	22	酒瓶八角手付	小谷栄次	2024	ガラス	D9.5h17.5	作家蔵
3	3	23	水差	小谷栄次	2024	ガラス	D16.0h18.0	作家蔵
3	3	24	丸瓶大	小谷栄次	2024	ガラス	D11.0h18.0	作家蔵
3	3	25	花瓶	小谷栄次	2024	ガラス	D11.5h15.0	作家蔵
3	3	26	掛花入魚	小谷栄次	2023	ガラス	h19.0d7.5w11.0	作家蔵
3	3	27	蓋物鳥	小谷栄次	2024	ガラス	D11.0h14.5	作家蔵
3	3	28	大鉢	小谷栄次	2023	ガラス	D28.0h8.5	作家蔵
3	3	29	鉢	小谷栄次	2024	ガラス	D18.5h7.0	作家蔵
3	3	30	輪花鉢	小谷栄次	2023	ガラス	D16.0h7.0	作家蔵
3	3	31	ワイングラス	小谷栄次	2023	ガラス	D7.2h12.3	作家蔵
3	3	32	小鉢	小谷栄次	2023	ガラス	D9.5h6.0	作家蔵
3	3	33	小鉢花口	小谷栄次	2023	ガラス	D8.3h5.4	個人蔵

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 施工年	技法・材質	サイズ	所蔵者
3	3	34	皿	小谷栄次	2023	ガラス	D16.5h2.0	作家蔵
3	3	35	コップ中	小谷栄次	2023	ガラス	D7.0h9.0	作家蔵
3	3	36	コップ大	小谷栄次	2023	ガラス	D8.0h12.5	作家蔵

4. 倉敷緞通

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
3	4	1	3畳敷 No.5	瀧山雄一	2023	織物	182.0×273.0	作家蔵
3	4	2	2畳敷 No.5 (色違)	瀧山雄一	2023	織物	182.0×182.0	作家蔵
3	4	3	マット大 No.2	瀧山雄一	2023	織物	61.0×121.0	作家蔵
3	4	4	マット大 No.6	瀧山雄一	2023	織物	61.0×121.0	作家蔵
3	4	5	マット小 No.1	瀧山雄一	2023	織物	45.0×91.0	作家蔵
3	4	6	マット小 No.5	瀧山雄一	2023	織物	45.0×91.0	作家蔵

第4章 瀬戸内海建築憲章1979

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 施工年	技法・材質	サイズ	所蔵者
4	1		瀬戸内海歴史民俗資料館	山本忠司	1973			
4	1	1	図面 平面図 1:100	香川県土木部 建築課	1972	鉛筆・赤鉛筆・ インク、紙	55.0×79.0	香川県総務部営繕課
4	1	2	図面 I 通断面図 1:200	香川県土木部 建築課	1971	鉛筆・インク、紙	55.0×79.0	香川県総務部営繕課
4	1		写真	宮畑周平	2024			作家蔵
4	2		日本基督教団西条栄光教会 礼拝堂・牧師館・幼稚園	浦辺鎮太郎	1951			
4	2	1	図面 礼拝堂 平面、立 面、断面、構造図 1:100		1951	印刷	58.9×84.0	日本基督教団西条栄光教会
4	2	2	図面 幼稚園 各詳細図 1:20		1951	印刷	54.0×74.8	日本基督教団西条栄光教会
4	2	3	構造模型	西条栄光教会 保存再生ワー キンググループ			h4.5d79.5w130.0 h4.5d50.0w130.0	日本基督教団西条栄光教会
4	2	4	教会堂建設経過報告書		1951	墨、紙	19.1×367.2	日本基督教団西条栄光教会
4	2	資料	倉敷建築研究所経歴書	倉敷建築研究所		冊子	30.8×23.1	株式会社浦辺設計
4	2		写真	宮畑周平	2020			作家蔵
4	3		西条市立郷土博物館・東予 民藝館(現・愛媛民藝館)	浦辺鎮太郎	1967			
4	3	1	図面 1階平面図 1:100	浦辺建築事務所		鉛筆、紙	42.0×63.2	株式会社浦辺設計
4	3	2	図面 2階平面図 1:100	浦辺建築事務所		鉛筆、紙	42.0×63.4	株式会社浦辺設計
4	3	3	図面 屋上平面図 1:100	浦辺建築事務所		鉛筆、紙	41.8×60.8	株式会社浦辺設計
4	3	4	図面 立面図 其の一 1:100	浦辺建築事務所		鉛筆、紙	41.6×59.2	株式会社浦辺設計
4	3	5	図面 博物館 断面詳細図 1:50	浦辺建築事務所		鉛筆、紙	42.0×59.6	株式会社浦辺設計
4	3	6	図面 民芸館 矩計詳細図 1:50	浦辺建築事務所		鉛筆、紙	42.0×62.0	株式会社浦辺設計
4	3	7	模型	福山大学 大島研究室			h13.8d31.8w45.2	愛媛民藝館
4	3		写真	宮畑周平	2024			作家蔵
4	4		八幡浜市立日土小学校 中校舎・東校舎	松村正恒	1956・ 1958			
4	4	1	図面 中校舎 平面、立 面、構造図 1:200	八幡浜市役所 土木課	1955	鉛筆、紙	51.0×78.0	八幡浜市教育委員会
4	4	2	図面 中校舎 矩計図 (玄関、外部通路) 1:20	八幡浜市役所 土木課	1955	鉛筆、紙	51.0×78.0	八幡浜市教育委員会
4	4	3	図面 中校舎 矩計図 (屋内階段) 1:20	八幡浜市役所 土木課		鉛筆、紙	51.0×78.0	八幡浜市教育委員会
4	4	4	図面 東校舎 平面図 1:100	八幡浜市役所 土木課	1958	鉛筆、紙	51.0×78.0	八幡浜市教育委員会

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 施工年	技法・材質	サイズ	所蔵者
4	4	5	図面 東校舎 立面図、 断面図 1:100	八幡浜市役所 土木課	1958	鉛筆、紙	51.0×78.0	八幡浜市教育委員会
4	4	6	図面 東校舎 矩計図 (中庭) 1:20	八幡浜市役所 土木課		鉛筆、紙	51.0×78.0	八幡浜市教育委員会
4	4	7	図面 東校舎 ベランダ詳 細図 1:20	八幡浜市役所 土木課		鉛筆、紙	51.0×78.0	八幡浜市教育委員会
4	4	8	模型	神戸芸術工科 大学 花田研 究室			h78.0d141.0 w141.0	八幡浜市教育委員会
4	4		写真	宮畑周平	2020			作家蔵

エピローグ いま/これからの瀬戸内海

			作品・資料名	作家名・産地	制作/ 発行年	技法・材質	サイズ	所蔵者
E	1		亀老山	shunshun	2023	ペン、紙	60.0×42.0	作家蔵
E	2		百貫島	shunshun	2024	ペン、紙	97.2×194.2	作家蔵
E	3		sen no hikari	線描： shunshun 映像：小田雄大 音楽：橋本秀幸	2024	映像	6分24秒	作家蔵

南海放送開局70年記念 石村嘉成展 いきものだいすき

会 期： 令和5年7月15日（土） - 9月10日（日）（50日間）

主 催： 「石村嘉成展」実行委員会（愛媛県、南海放送）

特別協賛： 伊予銀行

協 賛： オオノアソシエーツ、なかま1000プロジェクト、株式会社門屋組、松山三越、マルトモ、アビリティセンター株式会社、税理士法人 越智会計事務所、meiji、住友金属鉱山、畑田本舗、株式会社三好鉄工所、青野海運グループ、笑歩会、東陽製菓株式会社（順不同）

後 援： 松山市、松山市教育委員会、新居浜市、新居浜市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛県文化協会、（公財）愛媛県文化振興財団、愛媛新聞社、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、えひめリビング新聞社、RNC西日本放送、JRT 四国放送、RKC高知放送、RSK山陽放送

会 場： 愛媛県美術館 企画展示室

趣 旨

自らの障がいと向き合いながら創作活動続ける、新居浜市在住のアーティスト・石村嘉成。熱心な観察と自由な想像力によって表現された、色鮮やかで力強い生きものたちの姿は、「生命」そのものの躍動を伝えている。本展のために、美術館の展示室の壁面に合わせて特別に描き下ろされた全長26メートルにも及ぶ大作《Animal History》を中心に、挑戦を続ける石村の軌跡と最新の活動を紹介した。

観覧者数：54,970名

関連行事

記念講演会 オープニングトークショーとライブドローイング

日 時：7月15日（土） 14：00～15：00

場 所：美術館 講堂

講 師：石村嘉成、石村和徳

参加人数：134名

ライブドローイング

日 時：7月17日（月・祝） 14：00～14：20 / 8月6日（日）10：00～10：20 / 9月3日（日）

場 所：美術館 エントランスホール

講 師：石村嘉成

参加人数：延べ800名

ワークショップ「版画を楽しもう」

日 時：8月5日（土）、8月19日（土）、8月20日（日） 各日10：00～11：00

場 所：美術館 エントランスホール

講 師：石村嘉成

参加人数：延べ70名

特別記念講演会「療育一親子の物語」

日 時：7月29日（土） 13：30～15：00

場 所：南海放送テラスターホール（松山市本町1-1-1）

講 師：石村嘉成、石村和徳

参加人数：300名



南海放送開局70年記念

石村嘉成展

いきものだいあき

2023年
7月15日(土) ▶ 9月10日(日) 愛媛県美術館
9:40~18:00 ※入場は17:30まで

愛媛県美術館 本館1階企画展示室
■主催 「石村嘉成展」実行委員会（愛媛県・南海放送）
■特別協賛 伊予銀行

70th ANNIVERSARY 私たちは、愛媛主義
南海放送

出品目録

プロローグ

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
やっどひつじに会えたよ	40.0×30.0	版画	2014
Hungry Angry	116.7×116.7	アクリル画	2021

命をつないできた生きものたちを描く

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
威嚇するパンサーカメレオン	80.3×80.3	アクリル画	2021
ベンガルトラ→向かって来るぞ	162.0×130.3	アクリル画	2021
パーラル	145.5×145.5	アクリル画	2019
ライオン→どこまでも走れ	162.0×130.3	アクリル画	2020
キジ	116.7×116.7	アクリル画	2019
白い馬	116.7×116.7	アクリル画	2021
Animal History	194.0×2606.0	アクリル画	2023
① ライオン、インドガビアル、ワオキツネザル、ホッキョクオオカミ、オオモズ、クマネズミ			
② ジャイアントパンダ、ジェンツーペンギン、ヒガシローランドゴリラ、オオフラミンゴ、グアナコ、フタユビナマケモノ、コアラ、ヒトコブラクダ、アフリカゾウ			
③ チンパンジー、アカカンガルー、ダマガゼル、オオアリクイ、フタコブラクダ、コツメカワウソ、イルカ			
④ ヒクイドリ、インドコブラ、フクロウ、カバ、アカノガンモドキ、ツキノワグマ			
⑤ トラ、アフリカゾウ、イワトビペンギン、マンドリル			
⑥ キリン、ザトウクジラ、インドサイ、ミズダコ、チョウチョウウオ			
⑦ シロクマ、ダイオウイカ、ベニザケ、マナティー			
⑧ ライオン、ブルーバック、ニホンオオカミ、カモノハシ、イルカ、テッポウウオ			
⑨ エラスモテリウム、バイソン、コンドル、エリマキトカゲ、サーバルキャット、ツシマヤマネコ、マヌルネコ			
⑩ オオツノジカ、バラケラテリウム、ドーダー、セイウチ、ワニの赤ちゃん			
⑪ デイノスクス、サルコスクス、マンモス、オオサンショウウオ、コツメカワウソ、ネズミ、猿の祖先			
⑫ ティタニス、古代のトラ、メガラニア、アウストラロピテクス、アルディピテクス、カイエンタケリス			
⑬ コエロフェシス、メガプノサウルス、丹波竜、蝶			
⑭ ティラノサウルス、スミロドン、ステゴサウルス			
⑮ ステイラコサウルス、セントロサウルス、ガストニア、始祖鳥、オオヒキガエル、パキケファロサウルス、オオベッコウバチ、デイノニクス、クルマバッタ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、ジュラマイア、古代の蛙、ムシヒキアブ、カマキリモドキ、カタツムリ、ナメクジ、ゴキブリ、ミミズ、ルリボシカミキリ、オオアゴヘビトンボ、デススターカー、クロオオアリ、ケラ			
⑯ スピノサウルス、アロサウルス、アルゼンチノサウルス、プテラノドン、ブラキオサウルス、オオカマキリ、オオエダカレハカマキリ、ハナカマキリ、ゴジラ…?			
⑰ トリケラトプス			
⑱ ノトサウルス、ヘスベロルニス、カプトガニ、サカナ			
⑲ アンモナイト、ディメトロドン、カプトガニ			
⑳ アノマロカリス、メガネウラ、アースロプレウラ			
ハシビロコウの巨大な口	116.7×116.7	アクリル画	2017
疫病退散を願う龍	80.3×80.3	アクリル画	2022
夜の森のフクロモモンガ	80.3×80.3	アクリル画	2020
岩場を生きる赤色野鶏	194.0×97.0	アクリル画	2022
獲物を狙っている豹	194.0×97.0	アクリル画	2022
今年も良い年でありますように	194.0×388.0	アクリル画	2021
おしゃれな鳥の王様・孔雀	194.0×97.0	アクリル画	2022
睨みつけるコヨーテ	194.0×97.0	アクリル画	2022
チリーフラミンゴと仲間たち	116.7×116.7	アクリル画	2017
おしゃれなハシビロコウ	116.7×116.7	アクリル画	2017
アメリカザリガニ	116.7×116.7	アクリル画	2017
イルカ-みんな一緒だよ	116.7×116.7	アクリル画	2016
おしゃれなカモノハシちゃん	80.3×80.3	アクリル画	2023
おしゃれなフタコブラクダ	80.3×80.3	アクリル画	2023

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
おしゃれなカバ	80.3×80.3	アクリル画	2023
おしゃれなウーパールーパーちゃん	80.3×80.3	アクリル画	2023
サバイバル アニマル	227.3×363.6	アクリル画	2020
生きもの森羅万象		アクリル画	2022
「襲いかかるヒメコンドル」	116.7×116.7		
「仲間を守るインドサイ」	116.7×116.7		
「友達を待っているマダイ」	116.7×116.7		
「狩りに出かけるワシミミズク」	116.7×116.7		
「悩んでいるニホンザル」	116.7×116.7		
「決意するウミイグアナ」	116.7×116.7		
「にらんでいるヒクイドリ」	116.7×116.7		
「子供を守るライオンのお父さん」	116.7×116.7		
「力強いミズダコ」	116.7×116.7		
夜の海のロブスター	80.3×80.3	アクリル画	2023
サボテンを食べているリクイグアナ	80.3×80.3	アクリル画	2023
ワタリガニ	80.3×80.3	アクリル画	2022
力強く優しいカミツキガメ	80.3×80.3	アクリル画	2023
夜のサバンナの王者	80.3×80.3	アクリル画	2021
闇の森のフタユビナマケモノ	80.3×80.3	アクリル画	2023
満腹になったインドオオコウモリ	80.3×80.3	アクリル画	2021
おしゃれなトラ	80.3×80.3	アクリル画	2022
にらんでいるゴリラ	80.3×80.3	アクリル画	2020
怒っているベンガルトラ	80.3×80.3	アクリル画	2021
闇にまぎれこんでいる毒蛇	80.3×80.3	アクリル画	2023
アライグマII	80.3×80.3	アクリル画	2020
アカテガニ	116.7×116.7	アクリル画	2019
ヒクイドリ	116.7×116.7	アクリル画	2017
イワトビペンギンの大ジャンプ	116.7×116.7	アクリル画	2016
アジア水牛	116.7×116.7	アクリル画	2021
怒っているマンドリル	116.7×116.7	アクリル画	2020
青空とタンポポとテントウムシ	80.3×80.3	アクリル画	2020
桜	116.7×116.7	アクリル画	2019
椿	116.7×116.7	アクリル画	2019
夕焼けとタンポポとテントウムシ	80.3×80.3	アクリル画	2020
闘うジャガー	91.0×91.0	アクリル画	2020
マンドリル	91.0×91.0	アクリル画	2020
カワセミ	80.3×80.3	アクリル画	2019
カマキリ	80.3×80.3	アクリル画	2019

アートで愛媛主義～地域とつながる～

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
「タンポポ原画・砥部焼陶板」			
とべ動物園の砥部焼モニュメント写真と感謝状			
動物園のなかまたち	162.1×485.0	アクリル画	2017
「愛顔のえひめ」愛媛県知事表彰			
にわとり-朝ですよ	9.0×6.0	版画	2014
クマタカと石鎚山	30.0×40.0	版画	2020
石鎚山ロープウェイラッピング記念写真			
オレの目に映るもの	45.0×60.0	版画	2020
かなしきデブ猫ちゃん絵本関係			
インドゾウの親子	227.3×363.6	アクリル画	2021
伊予銀行 年始ポスター、お絵かき帳、点字カレンダー、卓上カレンダー			
Penguin・時代を超えて	116.7×116.7	アクリル画	2023
Ostrich・時代を超えて	116.7×116.7	アクリル画	2023
Lion・I remember you	116.7×116.7	アクリル画	2023
Lion・時代を超えて	116.7×116.7	アクリル画	2023
Elephant・時代を超えて	116.7×116.7	アクリル画	2023

コミカルな版画たち

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
梅雨入りのカタツムリⅡ (Green Snail)	40.0×30.0	版画	2023
アフリカの草原のキリン	30.0×40.0	版画	2015
キリギリスとハキリアリ	30.0×40.0	版画	2014
クサガメ	30.0×40.0	版画	2014
甘えん坊の小猿	40.0×30.0	版画	2015
ハナカマキリの幼虫	40.0×30.0	版画	2022
イチゴヤドクガエルのお母さん	30.0×40.0	版画	2016
アゲハチョウの幼虫	30.0×40.0	版画	2014
ビーグル	40.0×30.0	版画	2017
アマガエルⅡ	40.0×30.0	版画	2023
ニホンザル・また会えたねⅡ	30.0×40.0	版画	2023
水の中で泳ぐアカハライモリ	30.0×40.0	版画	2014
アフリカゾウの親子	30.0×40.0	版画	2014
大きな角-ビッグホーン	30.0×40.0	版画	2013
海の中のイルカの親子	30.0×20.0	版画	2014
なかよしくし	30.0×20.0	版画	2023
ハナカマキリ	30.0×40.0	版画	2014
ハナカマキリⅡ	30.0×40.0	版画	2023
ハナカマキリⅢ	30.0×40.0	版画	2023
ハナカマキリⅣ	30.0×40.0	版画	2023
ハナカマキリⅤ	30.0×40.0	版画	2023
わんぱくネズミ	30.0×20.0	版画	2019
庭の椿	30.0×20.0	版画	2017
ヒトコブラクダ	30.0×20.0	版画	2014
ふきのとう	30.0×20.0	版画	2014
ミツバチと花	20.0×30.0	版画	2013
パンジー	20.0×30.0	版画	2014
森の中のアフリカゾウ	20.0×30.0	版画	2016
ふたごのイカがお散歩してるよ	20.0×30.0	版画	2023
頑張るハキリアリ	30.0×20.0	版画	2016
イボイノシシ	30.0×20.0	版画	2014
コショウダイとクラゲⅡ	30.0×20.0	版画	2023
庭のサザンカ	30.0×20.0	版画	2018
牧場の羊	30.0×20.0	版画	2014
楽しい野ウサギ	30.0×20.0	版画	2021
くちなしの花	20.0×30.0	版画	2014
水の中のお昼寝	20.0×30.0	版画	2016
浅い海の中のジュゴンの親子・甘えん坊	20.0×30.0	版画	2014
ドクダミ	30.0×20.0	版画	2014
夏のひまわり	30.0×20.0	版画	2014
風にゆれるコスモスの花	30.0×20.0	版画	2018
いたずら好きのうりぼう	20.0×30.0	版画	2018
森の中のアカテガニ	20.0×30.0	版画	2016
カバの親子と魚・仲良し	20.0×30.0	版画	2013
ハクトウワシの挑戦	90.0×60.0	版画	2017
海の中のお話Ⅰ・ロブスター	90.0×60.0	版画	2015
コシグレペリカン	90.0×60.0	版画	2018
チリフラミンゴ	80.0×30.0	版画	2016
必ずやるぞ		墨文字	2023
キリンの背伸び	80.0×30.0	版画	2016
どうにかなる人生		墨文字	2023
私の願い	80.0×30.0	版画	2019
明日がある		墨文字	2023
待ちぼうけのハシビロコウⅡ	80.0×30.0	版画	2018
頑張れ		墨文字	2023
サーバルキャット	80.0×30.0	版画	2018

嘉成の日常—毎日描いている日記帳 私のアトリエ 母と私

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
日記帳			2014-23
毎日頑張っている私の鉛筆たち	15.8×22.7	ボックスアート	
友達のワンダーランド	103.0×72.8		2013
イーゼル・描きかけのキャンバス			
小学校の時の版画と版木		版画	2005
作業机、椅子、絵の具台、絵の具棚、パレット、筆、筆洗バケツ			
エプロン、一澤帆布の手描きのバック			
笑って過ごそう		墨文字	2023
母の肖像・高野山にて	60.6×50.0	版画	2018
My favorite things	直径15.0～50.0(円形キャンバス)	アクリル画	2023
母の手紙 2通			2001、02

力強い版画たち

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
カナヘビとニワトリ	40.0×30.0	版画	2014
ニワトリとダンゴムシ	40.0×30.0	版画	2014
森の中のカメレオン	30.0×80.0	版画	2016
アフリカの大草原のヒョウ	30.0×80.0	版画	2016
ドスンドスン走るクロサイ	30.0×80.0	版画	2016
夏のお花畑のホッキョクグマ	30.0×80.0	版画	2017
ニワトリとアマガエル	40.0×30.0	版画	2014
ニワトリとハキリアリ	40.0×30.0	版画	2014
まっすぐに突き進むイノシシ	90.0×60.0	版画	2018
海の中のミズダコ	60.0×90.0	版画	2017
カマキリー俺と勝負だ	60.0×90.0	版画	2015
オオスズメバチ・負けないぞ	60.0×90.0	版画	2016
カニの王様・タカアシガニ	60.0×90.0	版画	2017
ライオンー俺と勝負だ!	60.0×45.0	版画	2015
アフリカゾウ	60.0×45.0	版画	2016
ベンガルトラ	60.0×45.0	版画	2019
クロサイ	60.0×45.0	版画	2016
怒っているシベリアトラ	60.0×45.0	版画	2020
はぐれてしまったマンドリル	60.0×45.0	版画	2019
獲物を見つけるスマトラトラ	60.0×45.0	版画	2021
お花畑を見ているシンリンオオカミ	60.0×45.0	版画	2017
海の中のヒメウミガメ	60.0×45.0	版画	2017
イリエワニの大あくび	45.0×60.0	版画	2019
闘いを挑むオオツノヒツジ	45.0×60.0	版画	2019
ボルネオオランウータン	45.0×60.0	版画	2020
幸せを待っているハシビロコウ	45.0×60.0	版画	2021
大空にはばたくI・強い風にも負けないぞ	60.0×90.0	版画	2016
カメの王様・ガラパゴスゾウガメ	60.0×90.0	版画	2018
ジャングルから出て来たジャガー	60.0×90.0	版画	2018
オオサンショウウオの大冒険の始まり	60.0×90.0	版画	2018
大空にはばたくII	103.0×72.8	版画	2016
タコの王様・マダコ	90.0×60.0	版画	2016
美しい里山の絶滅危惧種を守ろう	54.0×38.0	版画	2016
イワトビペンギン	60.0×45.0	版画	2016
故郷に帰りたいアライグマ	60.0×45.0	版画	2019
オオフラミンゴの羽繕い	60.0×45.0	版画	2020
カバの大あくび	60.0×45.0	版画	2019
ハシビロコウ	60.0×45.0	版画	2017
かわいいミユビナマケモノ	60.0×45.0	版画	2020
セイヨウミツバチ・帰ってきたよ	60.0×45.0	版画	2016

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
マンボウとウミガメといわしの群れ	60.0×45.0	版画	2014
フェネックギツネの親子	45.0×60.0	版画	2016
カミツキガメの変な顔	45.0×60.0	版画	2018
アルダブラゾウガメのお散歩	45.0×60.0	版画	2016
お母さんいいにおい	45.0×60.0	版画	2019
水の中の源五郎	72.7×60.6	版画	2014
ザリガニ絵本	145.6×515.9	版画	2015
ザトウクジラの親子	90.0×60.0	版画	2017
シロクマ	90.0×60.0	版画	2019
夜の海を進むイセエビ	60.0×90.0	版画	2014
大空に羽ばたくマガモII	60.0×90.0	版画	2016
海の中のお話II・鯛	60.0×90.0	版画	2015
叫べ! 抗え! 戦え!	60.0×90.0	版画	2020

愛すべき仲間たちを描く

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
生きものワンダーランド	(各) 33.3×33.3 (81点組)	アクリル画	2014-23
エリマキトカゲ	116.7×116.7	アクリル画	2021
友達を待っているパンサーカメレオン	116.7×116.7	アクリル画	2021
ハクトウワシ	116.7×116.7	アクリル画	2020
子供を守るアメリカヒゲマのお母さん	116.7×116.7	アクリル画	2021
怒っているカバ	116.7×116.7	アクリル画	2020
コリデールヒツジのコリーちゃん	116.7×116.7	アクリル画	2023
ゆかいなヒメウミガメ	116.7×116.7	アクリル画	2020
コブハクチョウ	116.7×116.7	アクリル画	2019
カンムリヅル	116.7×116.7	アクリル画	2021
アルマジロトカゲ	116.7×116.7	アクリル画	2021
おしゃれなリコンゴウインコ	116.7×116.7	アクリル画	2020
変な顔のカメレオン	116.7×116.7	アクリル画	2023
呆然としているチンパンジー	116.7×116.7	アクリル画	2022
迫る!! シベリアンタイガー	116.7×116.7	アクリル画	2021
考えるふりをするオランウータン	116.7×116.7	アクリル画	2021
エメラルドツリーボア	116.7×116.7	アクリル画	2021
ホワイトライオン	116.7×116.7	アクリル画	2023
吠えるスミロドン	80.3×80.3	アクリル画	2022
吠えるティラノサウルス	80.3×80.3	アクリル画	2022
メダカとタガメ	116.7×116.7	アクリル画	2014
水の中の大合戦	130.3×485.0	アクリル画	2018
サワガニ	80.3×80.3	アクリル画	2019
カブトムシ	80.3×80.3	アクリル画	2019
おしゃれなタテゴトアザラシの赤ちゃん	80.3×80.3	アクリル画	2020
日なたぼっこをしているパンダ	80.3×80.3	アクリル画	2020
サンタロウと池田動物園の仲間たち	194.0×291.0	アクリル画	2021
ホワイトタイガー	116.7×116.7	アクリル画	2021

エピローグ

作品名	寸法(縦×横/cm)	技法	制作年
海の中の仲間たち	145.6×515.0	アクリル画	2016
駆け抜ける雪豹	80.3×80.3	アクリル画	2021
ありがとうまたね		墨文字	2023

南海放送開局 70 年記念 「鈴木敏夫とジブリ展」

会 期： 令和 5 年 12 月 9 日（土） - 令和 6 年 1 月 28 日（日）（41 日間）
 主 催： 「鈴木敏夫とジブリ展」愛媛展実行委員会（愛媛県・南海放送）
 特別協賛： au
 愛媛展特別協賛： 伊予銀行、愛媛銀行
 愛媛展協賛： 青空興業、ハッピーファーマシー、日本生命松山支社、ニッシン・グルメビーフ
 特別協力： スタジオジブリ
 企画協力： ムービック・プロモートサービス、博報堂 DY メディアパートナーズ
 展示協力： ア・ファクトリー
 後 援： 松山市、松山市教育委員会、愛媛新聞社、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、RNC 西日本放送、四国放送、RKC 高知放送
 会 場： 愛媛県美術館 企画展示室、常設展示室 3、特別展示室 1～3、中庭

趣 旨

高畑勲・宮崎駿両監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリ・プロデューサーの鈴木敏夫。本展では、戦後の名古屋で育ち、昭和から平成、令和の時代を駆け続けている鈴木が「読んできた本・映画」と「その時代背景」に注目し、紹介した。
 子供時代から読んできた漫画や小説、青春時代を経て、社会に出てから今もお旺盛な好奇心で読み続けている歴史本やノンフィクション、評論本・映画などを通し、鈴木がその作品や作家からどんな影響を受け、自身の思考術へとつなげていったのか、そしてどのように作り手と向き合い、編集者、プロデューサーとしてスタジオジブリ映画を確立していったのか。この答えを鈴木敏夫の血肉となった8800冊の書籍や映画作品を通じて探った。

観覧者数：122,931名

関連行事

屋台

提供メニュー：ハク米の甘酒
 おしるこの神様
 日 時：12月15日（金）～1月28日（日）
 11：00～16：00
 ※1月2日、3日は除く
 場 所：愛媛県美術館 中庭

『鈴木家の箱』鈴木麻実子（筑摩書房）
 発売記念サイン会
 日 時：1月14日（日） 14：00～
 場 所：愛媛県美術館 展望ロビー
 参加人数：200名

スペシャルステッカー★プレゼントキャンペーン

会 期：12月12日（火）～12月28日（木）
 の期間の平日限定
 参加人数：延18,000名



出品目録

鈴木敏夫とジブリ展 展示物リスト

No.	章	章タイトル	展示物内容	素材・形状等	備考
1	1	四畳半の原風景 少年時代の思い出	写真パネル 9枚	パネル	本人、家族など
2	1		資料パネル 6件	パネル	
3	1		四畳半の部屋	立体造形	
4	1		幼年ブック 益子かつみ『さいころコロ助』	書籍	
5	1		『弾丸トミー』	書籍	
6	1		『0人間』	書籍	
7	1		『モヒカン族の最後』	書籍	
8	1		『孫悟空』	書籍	
9	1		『太閤記』	書籍	
10	1		『猿飛佐助』	書籍	
11	1		『赤胴鈴之助』	書籍	
12	1		杉浦茂の年賀状	平面・複製	1976 (昭和51) 年、 1978 (昭和53) 年
13	1		『キャプテン小僧円盤Z』	書籍	
14	1		『おもしろブック』	書籍	
15	1		『幼年ブック』	書籍	
16	1		『少年画報』	書籍	
17	1		『少年』	書籍	
18	1		『冒険王』	書籍	
19	1		『少年マガジン』	書籍	
20	1		『少年サンデー』	書籍	
21	1		『サスケ』	書籍	
22	1		『サスケ』	書籍	
23	1		『サスケ』	書籍	
24	1		白土三平『忍者武芸帳影丸伝』	書籍	
25	1		『紫電改のタカ』ちばてつや	書籍	
26	1		『ユキの太陽』ちばてつや	書籍	
27	1		『ユキの太陽』ちばてつや	書籍	
28	1		『月光仮面』	書籍	
29	1		「赤毛のアン」村岡花子訳/新潮文庫	書籍	
30	1		「アン青春」「アン愛情」「アン友達」「アン幸福」 「アン夢の家」「炉辺荘のアン」「アンをめぐる人々」「虹の 谷のアン」「アン娘リラ」村岡花子訳/新潮文庫	書籍	
31	1		『小公子』	書籍	
32	1		『青空娘』源氏鶏太	書籍	
33	1		『三等重役』源氏鶏太	書籍	
34	1		『娘と私』獅子文六	書籍	
35	1		『箱根山』獅子文六	書籍	
36	1		『大番』獅子文六	書籍	
37	1		『宮本武蔵』吉川英治	書籍	
38	1		『姿三四郎』富田常雄	書籍	
39	1		松平長七郎	書籍	
40	1		露隠才蔵	書籍	
41	1		田宮坊太郎	書籍	
42	1		『フランダースの犬』	書籍	
43	1		『二都物語』	書籍	
44	1		『怪人二十面相』	書籍	1～4巻
45	1		【初期・編集資料】文字デザイン・カット 小学校卒業文集/1960 (昭和35)	平面・複製	金城小学校6年8組 編集：鈴木敏夫
46	1		手紙差し	平面・複製	
47	1		カレンダー	平面・複製	
48	1		「ポリアンナ」ハイリー・ミルズ 1960年	冊子	映画パンフレット
49	1		「ポリアンナ」ハイリー・ミルズ	冊子	映画パンフレットA

No.	章	章タイトル	展示物内容	素材・形状等	備考
50	1		「ポリアンナ」ヘイリー・ミルズ	冊子	映画パンフレットC
51	1		The Parent Trap DVD/サイン入り	DVD	
52	1		『ポリアンナ』	DVD	
53	1		「ポリアンナ」ヘイリー・ミルズ/ポスター 1960年	冊子	
54	1		「ポリアンナ」ヘイリー・ミルズ	冊子	プレスシート
55	1		世界の名著『聖書』『旧約聖書』『新約聖書』	書籍	
56	1		雑誌スクリーン別冊 ヘイリー・ミルズ特別号	書籍	
57	1		「THE CHALK GARDEN」ヘイリー・ミルズ	冊子	映画パンフレット (邦題「ドヴァーの青い花」)
58	1		「難破船」ヘイリー・ミルズ 1962年	冊子	映画パンフレット
59	1		「ベアレントラップ」ヘイリー・ミルズ 1961年	立体	ノベルティ(邦題「畏にかかったパパとママ」)
60	1		「ベアレントラップ」ヘイリー・ミルズ 1961年	冊子	映画パンフレット
61	1		ヘイリーミルズからの手紙	平面・複製	
62	1		大菩薩峠/ポスタービジュアルか	冊子	映画パンフレット
63	1		ポリアンナ/ポスタービジュアルか	冊子	映画パンフレット
64	1		「大菩薩峠」片岡千恵蔵主演、内田吐夢監督 シリーズ1957年	冊子	映画パンフレット
65	1		『妖刀物語 花の吉原百人斬り』	冊子	映画パンフレット
66	1		「春のめざめ」	冊子	映画パンフレット
67	1		「汚れなき悪戯」	冊子	映画パンフレット
68	1		「にんじん」	冊子	映画パンフレット
69	1		「シベールの日曜日」	冊子	映画パンフレット
70	1		『イングマール・ベルイマン黄金期 Blu-rayBOX』	Blu-ray	
71	1		イングマール・ベルイマン黄金期「第七の封印」「野いちご」「処女の泉」	DVD	
72	1		「尼僧ヨアンナ」	冊子	映画パンフレット
73	1		「8 1/2」	冊子	映画パンフレット
74	1		「太陽はひとりぼっち」	冊子	映画パンフレット
75	1		「トム・ジョーンズの華麗な冒険」	冊子	映画パンフレット
76	1		漫画『骨の秘伝』(鈴木敏夫)	複製	ペンネームは白土三平より黒土雄三
77	1		くらとよしや・作 『赤ひげ』の加山雄三と、『怪傑ゾロ』のガイ・ウィリアムズの鉛筆画	複製	
78	1		『未明 新童話集』	書籍	
79	2	東京へ～激動の大学生活～	写真パネル 12点	パネル	大学時代
80			資料パネル 5件	パネル	
81	2		書 2点	複製	寺山修司『祖国喪失』等より
82	2		『あしたのジョー』	書籍	
83	2		『あしたのジョー』	書籍	
84	2		寺山修司『書を捨てよ町へ出よう』	書籍	
85	2		寺山修司『時代の射手』1967年	書籍	
86	2		寺山修司『戦後詩』 紀伊国屋新書 1965年	書籍	
87	2		茨木のり子『詩のころを讀む』	書籍	
88	2		茨木のり子『詩のころを讀む』 岩波ジュニア新書9 1979年	書籍	
89	2		谷川俊太郎『二十億光年の孤独』1992年	書籍	
90	2		日本の詩人『谷川俊太郎詩集』	書籍	
91	2		1971年大学4年ときの手帳	平面・複製	この年映画142本みる
92	2		ノート3冊	平面・複製	大学2年ときのノート(1968年、映画の記録)、徳間時代ノート、アニメージュ創刊について、映画についてなど(1967-1974)
93	2		同人誌『D細胞』① 1964(昭和39)～1972(昭和47)年	平面・複製	鈴木が18歳の時、大学の文学部1年D組の仲間たちと作った同人誌。自作の詩や挿絵、表紙イラスト、編集まで手掛けている。
94	2		同人誌『Dさいほう』② 詩・文字デザイン・カット 1967(昭和42)年	平面・複製	

No.	章	章タイトル	展示物内容	素材・形状等	備考
95	2		同人誌『Dさいぼう』②下図 ロゴ・カットデザイン、表紙原稿 1967(昭和42)年	平面・複製	
96	2		同人誌『Dさいぼう』③ロゴ・カットデザイン1968(昭和43)年	平面・複製	
97	2		同人誌『Dさいぼう』③下図 ロゴ・カットデザイン、表紙原稿 1968(昭和43)年	平面・複製	
98	2		『巨人の星』	書籍	
99	2		バロン吉元『柔侠传』	書籍	
100	2		野坂昭如『アメリカひじき／火垂るの墓』	書籍	1968年3月25日(初版)1971年3月20日(13刷)
101	2		織田作之助『夫婦善哉 正統他十二篇』	書籍	2013年7月17日
102	2		『萩原朔太郎詩集』河上徹太郎編	書籍	1950年12月10日(初版)、1969年7月10日(30刷)
103	2		「八木重吉詩集1」	書籍	
104	2		ケストナー少年文学全集 8「動物会議」	書籍	
105	2		ケストナー少年文学全集 6「ふたりのロッテ」	書籍	
106	2		『極限の民族』	書籍	
107	2		「大菩薩峠」	書籍	
108	2		深沢七郎『笛吹川』	書籍	
109	2		深沢七郎『楢山節考』	書籍	1964年7月30日(初版)、2017年5月15日(85刷)
110	2		E・H・フロム『エスケープ フロム フリーダム』	書籍	邦題「自由からの逃走」、1951年刊(初版)、2019年刊(125版)
111	2		デイヴィッド・リースマン、加藤 秀俊『孤独な群衆』1964年	書籍	
112	2		ダニエル・J.ブーアスティン『幻影の時代』一マスコミが製造する事実 1964年	書籍	
113	2		自作詩ノート 1967年	平面・複製	「清書とデザイン文字」を比較
114	2		大学時代の原稿用紙	平面・複製	「私の大志」「人間と機械」「人間回復」「人間と機械」「日本は大国か否か?」「ある人間回復」「ある愛の詩」「地球」 9部
115	2		大学時代 横山ゼミナール誌1 1969(昭和45)年	平面・複製	
116	2		『冒険者たち』	DVD	
117	2		『道』	DVD	
118	2		『たそがれ酒場』	DVD	
119	2		『人情紙風船』	DVD	
120	2		『山中貞雄作品集 第1巻』※大2	DVD	
121	2		『バリーリンドン』	DVD	
122	2		『禁じられた遊び』	DVD	
123	2		映画理解学入門『映画のどこをどう読むか』	書籍	
124	2		アンドレ・バザン『映画とは何かⅣ 映画と他の諸芸術』1977年	書籍	
125	2		アンドレ・バザン『映画とは何かⅢ 現実の美学・ネオ＝リアリズム』1973年	書籍	
126	2		アンドレ・バザン『映画とは何かⅡ 映像言語の問題』1970年	書籍	
127	2		アンドレ・バザン『映画とは何かⅠ その社会学的考察』1967年	書籍	
128	2		レポートの原稿1	平面・複製	【初期ロゴデザイン】日本の近代化 「日本の近代化-即興『寺山修司』論」
129	2		卒論レポート 「個人に於ける歴史の役割」	平面・複製	
130	2		レポートの原稿2	平面・複製	【初期ロゴデザイン】ギリシア神話に観る宗教的テーマ
131	2		映画パンフレット 53冊	冊子	
132	3	アニメージュへの道	写真パネル 8点	パネル	
133	3		資料パネル 91点	パネル	
134	3		『アニメージュ』 66冊	書籍	1978年7月号～1983年12月号
135	3		名刺付アニメージュ(宮崎駿特集81.8)	書籍	
136	3		1982年8月号付録:ナウシカポスター	平面	
137	3		1981年10月号付録:パンダコパンダポスター	平面	

No.	章	章タイトル	展示物内容	素材・形状等	備考
138	3		1980年9月号付録:ガンダムキャラクターポスター/ヨコ	平面	
139	3		1980年2月号付録:ガンダムポスター/タテ	平面	
140	3		アニメージュ付録 32件	冊子等	
141	3		『カイエ・ド・シネマ』2冊	書籍	表紙/CAHIERS DU CINEMA n° 29/1953年
142	3		『シュナの旅』 『天空の城ラピュタ前編』の2冊	書籍	
143	3		『ナウシカコミック』初版本	書籍	
144	3		「風の谷のナウシカ」 B2ポスターA	平面	
145	3		『アニメージュ コミックス』 ワイド判 風の谷のナウシカ	書籍	全7巻箱入りセット
146	3		ナウシカノート1~4	書籍	
147	3		『アニメージュ』1984年4月	書籍	2冊
148	3		ナウシカプレスシート	冊子	
149	3		ナウシカ映画パンフレット初期	冊子	
150	3		映画関係者に配られたナウシカコミック	書籍	
151	3		『風の谷のナウシカ』	書籍	
152	3		『風の谷のナウシカ-絵コンテ』	書籍	
153	3		『アニメージュ』1984年4月号	書籍	付録のナウシカバッチ
154	4	時代を読む眼	写真パネル 16点	パネル	
155	4		資料パネル 52件	パネル	
156	4		「柳川堀割物語」ポスター	平面・複製	
157	4		「天空の城ラピュタ」ポスター	平面	
158	4		「天空の城ラピュタ」 B1ポスターB	平面	
159	4		『天空の城ラピュタGUIDE BOOK』1986年	冊子	
160	4		「天空の城ラピュタ」「続名探偵ホームズ」チラシ	平面	
161	4		『アニメージュ』1985年7月号	書籍	宮崎駿劇場用新企画ラピュタ
162	4		『アニメージュ』1985年11月号	書籍	ラピュタに向けて特集・小説
163	4		「柳川堀割物語」DVD	DVD	
164	4		「柳川堀割物語」パンフレット	冊子	
165	4		「柳川堀割物語」パンフレット	平面・複製	表紙、見開き2枚
166	4		「柳川堀割物語」	映像	
167	4		書/志雲より高く	書	
168	4		書/GIVE & GIVE	書	
169	4		「となりのトトロ」 B2ポスター	平面	
170	4		「火垂るの墓」 B2ポスターA	平面	
171	4		コピー案	平面・複製	「となりのトトロ」と「火垂るの墓」2作品共通
172	4		「となりのトトロ」「火垂るの墓」/企業向け資料	冊子	
173	4		書/このへんないきものはまだ日本にいます。たぶん。	書・パネル	
174	4		トトロフォトスポット一式	立体造形	
175	4		書/僕はこうやって映画を売ってきた	書	
176	4		「コクリコ坂から」シナリオ構成5枚	平面	
177	4		「となりの山田くん」アニメーションの制作工程	平面	
178	4		「おもひでぼろぼろ」全体の秒数と枚数についてのメモ 小5編・27才編	平面	
179	4		「平成狸合戦ぽんぽこ」レポート A4 2枚	平面	
180	4		「魔女の宅急便」 B1ポスターB	平面	
181	4		第2弾ポスターラフ 「となりの山田くん」ポスターレイアウト	平面	
182	4		「となりの山田くん」 B2ポスターC	平面	
183	4		「となりの山田くん」第1弾ポスターラフ	平面	
184	4		「となりの山田くん」 B2ポスターB	平面	
185	4		「千と千尋の神隠し」第2弾ポスター	平面	
186	4		「千と千尋の神隠し」 B1ポスター	平面	
187	4		広報物デザイン案	平面・複製	
188	4		「ハウルの動く城」 B1第2弾ポスター	平面	
189	4		「ハウルの動く城」ポスターラフ	平面	
190	4		「ハウルの動く城」ロゴ	平面	

No.	章	章タイトル	展示物内容	素材・形状等	備考
191	4		「ゲド戦記」第1弾B1ポスター	平面	
192	4		「ゲド戦記」ロゴ	平面	
193	4		「崖の上のポニョ」第1弾B1ポスター	平面	
194	4		「借りぐらしのアリエッティ」第1弾B1ポスター	平面	
195	4		「借りぐらしのアリエッティ」ロゴ	平面	
196	4		「コクリコ坂から」第1弾B1ポスター	平面	
197	4		「コクリコ坂から」ロゴ	平面	
198	4		「風立ちぬ」第1弾B1ポスター	平面	
199	4		「風立ちぬ」第2弾B2ポスター	平面	
200	4		書/生きねば。「風立ちぬ」ロゴ	書	
201	4		『かぐや姫の物語』第3弾ポスター	平面	
202	4		「かぐや姫の物語」第1弾B2秋公開ポスター 第1弾ポスター2013年秋公開	平面	
203	4		「かぐや姫の物語」ロゴ	平面	
204	4		「思い出のマーニー」第1弾B1ポスター	平面	
205	4		「レッドタートル」B1ポスター	平面	
206	4		「アーヤと魔女」ポスター	平面	
207	4		「君たちはどう生きるか」ポスター	平面	
208	4		「もののけ姫」ポスター	平面	
209	4		「もののけ姫」絵コンテ	平面	
210	4		「もののけ姫」絵コンテ	平面	
211	4		「ハウルの動く城」宣伝計画	平面	
212	4		アニメーションのデジタル化の意義とジブリにおける 歴史メモ CGについて	平面	
213	4		映画を通した人との関わりを示す資料 40件	平面・複製	
214	4		「紅の豚」「平成狸合戦ぽんぽこ」「耳をすませば」	映像	
215	4		「紅の豚」CM絵コンテ	平面	
216	4		「紅の豚」ゴールデン絵コンテ テレビ・スポット用絵コンテ	平面	
217	4		「平成狸合戦ぽんぽこ」絵コンテ	平面	劇場用特報第2弾絵コンテ/約1分1秒、CM絵コンテ B4 2枚
218	4		「平成狸合戦ぽんぽこ」絵コンテ	平面	【予告編用絵コンテ】 ビジュアル素材選定、秒数指定
219	4		「耳をすませば」字コンテ	平面	プロモーションフィルム 約5分40秒
220	4		「千と千尋の神隠し」キャンペーングッズのデザインラフ	平面	
221	4		ノベルティ 2件	立体	
222	4		日清製粉ミニ本	立体	
223	4		コニヤラノート	立体	
224	4		岩波少年文庫の50冊・ミニ本	立体	
225	4		借りぐらしのアイエッティ1～3	立体	
226	4		まっくろくろすけ ぬいぐるみ	立体	
227	4		ポニョ宗助スキ!	バナー	
228	4		生きろそなたは美しい。	バナー	
229	4		夢だけど夢じゃなかった	バナー	
230	4		バルス!	バナー	
231	4		ここで働かせて下さい。	バナー	
232	4		飛べない豚はただの豚だ。	バナー	
233	4		生きねば。	バナー	
234	4		書/もののけの里	書	
235	4		書/風になって遊ぼう。	書	
236	4		書/ジブリパークのある愛知	書	
237	4		書/愛つなく。知ひらく。	書	
238	4		書/ジブリの大倉庫	書	
239	4		ジブリパークポスター	平面	
240	4		ジョン・ラセターインタビュー	映像	

No.	章	章タイトル	展示物内容	素材・形状等	備考
241	5	プロデューサーからクリエイターへ～書家、作家としての多彩な活動～	書/己六才	書	
242	5		書/ゆく河	書	
243	5		書/遊びをせんとや 梁塵秘抄	書	
244	5		龍	書	
245	5		感謝	書	
246	5		瑞鷹	書	
247	5		happy birthday	書	
248	5		喫茶去	書	
249	5		天上台風	書	
250	5		Friends	書	
251	5		私のどこがダメですか?	書	
252	5		レモンイラスト	書	
253	5		堀田さん顔	書	
254	5		虎イラスト	書	
255	5		大黒様イラスト	書	
256	5		龍イラスト	書	
257	5		禅画 だるま(顔)	書	
258	5		禅画 竹	書	
259	5		アシスタント・田村さん似顔絵 11件	平面	
260	5		アシスタント・田村さん写真	パネル	
261	5		マイク・机など	立体造作	
262	5		れんが屋写真	パネル	
263	5		寄せ書き絵巻	平面・複製	
264	5		蛆菜童画館 3点	書、平面	
265	5		鈴木敏夫 揮毫/雨ニモマケズ	書	
266	6	鈴木敏夫の本棚	湯婆婆	平面	
267	6		「千と千尋の神隠し」舞台用題字	書・パネル	
268	6		荒川さんの似顔絵	平面・パネル	
269	6		湯婆婆・銭婆 おみくじマシーン	立体	
270	6		神様20文風 10台	立体	
271	6		おみくじ引き出し 2台	立体	
272	6		おみくじ看板 4台 (絵馬型)	立体	
273	6		神様提灯	立体	
274	6		ようこそ提灯	立体	
275	6		大壺 2点	立体	
276	6		脳内イラスト(制作:小松季弘)	平面	
277	6		書/真善美	書	
278	6		書/生きる力を呼び醒ませ	書	
279	6		書/ひっそりと生きるしかない。一所懸命に。	書	
280	6		生きねば。	書	
281	6		空間を画しているものを物といい・・・	書	
282	6		生死一如	書	
283	6		鈴木麻実子『鈴木家の箱』	書籍	
284	6		写真/花巻温泉	写真	
285	6		青春の悶々	タペストリー	
286	6		思い出の映像集	映像	
287	6		軸装/カオナシ	平面	
288	6		書/君たちはどう生きるか	書	
289	6		鈴木敏夫が読んだ本 約8,800冊	書籍	
290	7	鈴木敏夫の映画コレクション 約1万作品を一挙公開	録画したDVD	DVD-R	
291	7		これまでにみた映画等DVD 約1万点	DVD	
292	7		丹下座禅 場面写真	パネル	

Ⅲ 作品の収集事業及び保存管理

1 収集方針（愛媛県美術館収集方針）

趣旨

古代から瀬戸内海交通の要所として栄え、これまで多くの文人・画家の輩出や来訪があった愛媛の地は、瀬戸内海の島々や石鎚山などの豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、温厚できめ細かな県民性を育んだ。このような歴史と風土から生まれた愛媛の伝統的な文化を受け継ぎながら、豊かで個性的な愛媛の芸術文化を創造するため、愛媛ならではの特色ある収集を行う。

収集分野

日本画、洋画、版画、デザイン、写真、書ほかの平面作品、彫塑、工芸ほかの立体作品、映像作品等を含む。

基本方針

- (1) 国内外の優れた作品の鑑賞を通して、県民の審美眼や美意識の涵養を図るため、美術史上重要な作家及びその動向を知る上で欠くことのできない作家の作品及び関連資料を収集する。
- (2) 本県出身作家及び本県ゆかりの作家を顕彰することにより、本県美術の流れを県民に理解していただくため、本県出身作家及び関連作家の作品並びに関連資料を収集する。

重点方針

- (1) 国内外の優れた作品
 - ア 19世紀以降現代にいたる美術史の流れを辿れる国内外の優れた作品を中心に収集する。さらに近代の作品をより広い視野でとらえるために18世紀以前の作品も収集の対象とする。
 - イ 今日という時代を刻印する作品を収集する。
- (2) 本県出身作家及び関連作家の作品と関連資料
 - ア 松本山雪を基点として、関連する近世絵画を収集する。
 - イ 大智勝観、矢野橋村をはじめ、関連する日本画を収集する。
 - ウ 中川八郎、中野和高、野間仁根らをはじめ、関連する絵画を収集する。
 - エ 日本の前衛美術における柳瀬正夢の位置を重視し、その作品及び関連する作品等を収集する。
 - オ 杉浦非水、真鍋博をはじめ、デザインに関連する作品等を収集する。
 - カ 畦地梅太郎を中心として、関連する版画を収集する。

2 取得作品の概要

購入作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・支持体	寸法 (cm)
1	松本山雪	諸芸遊楽図屏風	江戸時代前期	紙本着色・六曲屏風一双	各143.0× 357.2
2	三輪田米山	三輪田米山日記 [断簡]	明治時代	紙本墨書・折帖	各紙27.2× 38.6

寄贈作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・支持体	寸法 (cm)
1	荒木経惟	陽子とチロ	昭和56年頃 (c.1981)	ゼラチン・シルバー・プリント	26.5×34.0
2	荒木経惟	神主	昭和56年頃 (c.1981)	ゼラチン・シルバー・プリント	26.5×34.0
3	香川久士	Old Pier	平成14年 (2002)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.9×22.9
4	香川久士	Edge of Beach	平成14年 (2002)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.9×22.9
5	香川久士	Bricks	平成15年 (2003)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.9×22.9
6	香川久士	Rock	平成15年 (2003)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.9×22.9
7	今道子	鯛とカスミソウ	昭和59年 (1984)	ゼラチン・シルバー・プリント	43.9×43.1
8	今道子	イナダと帽子	昭和61年 (1986)	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×43.0
9	今道子	小鱈と帽子	平成元年 (1989)	ゼラチン・シルバー・プリント	41.0×51.0
10	今道子	烏賊とスニーカー	平成元年 (1989)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.7×50.8
11	白岡順	坂出、日本 1970年11月27日	昭和45年 (1970)	ゼラチン・シルバー・プリント	37.2×55.4
12	白岡順	Milano, Italy 1972年12月23日	昭和47年 (1972)	ゼラチン・シルバー・プリント	37.2×55.4
13	白岡順	446w, 46st, #8, New York 1974年3月	昭和49年 (1974)	ゼラチン・シルバー・プリント	37.2×55.4
14	白岡順	New York City 1979年2月6日	昭和54年 (1979)	ゼラチン・シルバー・プリント	14.0×10.0
15	白岡順	Versailles, France 1980年7月 8日	昭和55年 (1980)	ゼラチン・シルバー・プリント	16.4×24.6
16	白岡順	Montmartre, Paris 1982年2月	昭和57年 (1982)	ゼラチン・シルバー・プリント	16.4×24.6
17	白岡順	Chartres, France 1982年8月	昭和57年 (1982)	ゼラチン・シルバー・プリント	16.4×24.6
18	白岡順	Pont des Arts, Paris 1988年7 月27日	昭和63年 (1988)	ゼラチン・シルバー・プリント	37.2×55.4
19	白川義員	スコータイ、ワットマハータート 光輝	昭和56-62年 (1981-87)	銀色素漂白方式印画	55.0×75.0
20	白川義員	竜門石窟の夜明け	昭和56-62年 (1981-87)	銀色素漂白方式印画	55.0×75.0
21	白川義員	ポロブドゥル暁靄	昭和56-62年 (1981-87)	銀色素漂白方式印画	55.0×75.0
22	白川義員	朝日を浴びるルンビニー園	昭和56-62年 (1981-87)	銀色素漂白方式印画	55.0×75.0
23	須田一政	埼玉越生、梅祭 1976年3月14日	昭和51年 (1976)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.0×33.0
24	須田一政	東京浅草、三社祭 1976年5月 17日	昭和51年 (1976)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.0×33.0
25	須田一政	秋田西馬音内、盆踊り 1976年 8月18日	昭和51年 (1976)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.0×33.0
26	須田一政	山形銀山温泉 1976年8月28日	昭和51年 (1976)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.0×33.0
27	三好耕三	An-Pan, 1974	昭和49年 (1974)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.8×33.6
28	三好耕三	Glove, 1977	昭和52年 (1977)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.9×33.6
29	三好耕三	Light waves, 1981	昭和56年 (1981)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.0×32.9
30	三好耕三	Tears of Heaven, 1982	昭和57年 (1982)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.2×33.0
31	三好耕三	Kazuyo, 1983	昭和58年 (1983)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.0×33.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・支持体	寸法 (cm)
32	三好耕三	海老川淵、1984	昭和59年 (1984)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.5×50.8
33	三好耕三	湯島、1984	昭和59年 (1984)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×51.0
34	三好耕三	閉伊川、1985	昭和60年 (1985)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.5×50.8
35	三好耕三	三ッ堀、1985	昭和60年 (1985)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×51.0
36	三好耕三	御滝、1984	昭和59年 (1984)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.5×50.7
37	三好耕三	本庄、1986	昭和61年 (1986)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.5×50.9
38	三好耕三	戸頭、1987	昭和62年 (1987)	ゼラチン・シルバー・プリント	50.9×40.4
39	三好耕三	法華谷、1987	昭和62年 (1987)	ゼラチン・シルバー・プリント	50.6×40.4
40	三好耕三	松戸、1987	昭和62年 (1987)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.3×51.0
41	三好耕三	草津、1988	昭和63年 (1988)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.9
42	三好耕三	渥美、1988	昭和63年 (1988)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.6
43	三好耕三	三廐、1985	昭和60年 (1985)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8
44	三好耕三	NE B1	昭和62年 (1987)	ゼラチン・シルバー・プリント	55.3×45.0
45	三好耕三	NE B4	昭和62-平成元年 (1987-89)	ゼラチン・シルバー・プリント	55.3×45.0
46	三好耕三	NE B6	平成元-2年 (1989-90)	ゼラチン・シルバー・プリント	55.3×45.0
47	三好耕三	YAMAKAWA-KE NO DAIKON	平成3年 (1991)	ゼラチン・シルバー・プリント	31.1×24.5
48	三好耕三	Miami, OK	平成7年 (1995)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.8×31.4
49	森山大道	無言劇	昭和40年 (1965)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.5×42.0
50	奈良原一高	二つのごみ罐-ニュー・メキシ コ、1972	昭和47年 (1972)	ゼラチン・シルバー・プリント	26.9×39.8
51	奈良原一高	ナヴァホ・ロック・バンドの楽器	昭和47年 (1972)	ゼラチン・シルバー・プリント	31.8×47.8
52	藤田寛	中山本の早春-宇高瀬にて	昭和49年 (1974)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×29.8
53	藤田寛	社川の兄と妹	平成6年 (1994)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.2×29.8
54	藤田寛	水遊び-不動川にて	平成6年 (1994)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×29.8
55	ウジェーヌ・アジェ	サン・クルー	1904年	ゼラチン・シルバー・プリント	16.8×21.6
56	ウジェーヌ・アジェ	[睡蓮]	1890-1927年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.5×16.8
57	ウジェーヌ・アジェ	紳士服店	1925年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.8×17.2
58	ウジェーヌ・アジェ	日食	1912年	ゼラチン・シルバー・プリント	17.1×22.2
59	ウジェーヌ・アジェ	パリの室内	1910年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.4×17.0
60	ウジェーヌ・アジェ	[一等の霊柩車]、1910年	1910年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.0×17.0
61	ウジェーヌ・アジェ	回転木馬	1923年	ゼラチン・シルバー・プリント	16.6×23.0
62	ウジェーヌ・アジェ	[ランプの傘売り]	1899年	ゼラチン・シルバー・プリント	20.9×16.4
63	ウジェーヌ・アジェ	[サン＝ルスティック通り] 1922年3月	1922年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.7×17.3
64	ウジェーヌ・アジェ	娼館	1921年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.0×16.8
65	ウジェーヌ・アジェ	キャバレーのバー	1900-11年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2×17.0
66	ウジェーヌ・アジェ	街路の舗装	1899-1900年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.8×16.9
67	ウジェーヌ・アジェ	[中庭、ヴァランス通り]	1922年	ゼラチン・シルバー・プリント	17.3×23.1
68	ウジェーヌ・アジェ	屑拾いの小屋	1912年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.4×17.2
69	ウジェーヌ・アジェ	マネキン	1926-27年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2×16.9
70	ウジェーヌ・アジェ	大道芸人	1898年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.7×16.4
71	ウジェーヌ・アジェ	[肉屋、クリスティエヌ通り]	1920-27年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.9×17.1
72	ウジェーヌ・アジェ	[草を刈り取る人々、ソナム]	1890-98年	ゼラチン・シルバー・プリント	15.6×21.6
73	ウジェーヌ・アジェ	パリ近郊	1920-27年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.3×16.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法・支持体	寸法 (cm)
74	ウジェーヌ・アジェ	[古代の仮面]	1890-1927年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.3×16.8
75	アンセル・アダムス	インスピレーション・ポイントからのヨセミテ渓谷、冬、ヨセミテ国立公園	1940年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	18.0×24.0
76	アンセル・アダムス	ネヴァダ滝	1947年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0×19.0
77	アンセル・アダムス	エル・キャピタン、冬、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア	1948年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2×18.5
78	アンセル・アダムス	テナヤ川、ハナミズキ、雨、ヨセミテ渓谷、カリフォルニア	1948年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×24.3
79	アンセル・アダムス	雷雨、ヨセミテ渓谷、カリフォルニア	1940年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×24.0
80	モーリー・ベアー	ファーム・ノル、キャペイ・ヴァレー、カリフォルニア	1975年	ゼラチン・シルバー・プリント	18.9×23.4
81	ロバート K. バイヤース	スポティッド・レイク、オソユース、ブリティッシュ・コロンビア、カナダ	1982年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2×30.5
82	ウィリアム A. ガーネット	雪のサン・ドューン、No.1、コロラド	1983年	ゼラチン・シルバー・プリント	27.4×21.3
83	リチャード・ギャラード	葉と丸太、クーズベイ、オレゴン	1976年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.3×30.3
84	ヘンリー・ギルピン	ひまわり、ノース・ダコタ	1981年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.2×30.1
85	ドナルド・ロス	白壁の黒い扉、アラモス、ソノラ、メキシコ	1983年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.3×24.1
86	フレデリック・B. シール	白い柵、ブルトン岬、ノヴァ・スコティア、カナダ	1980年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.3×31.3
87	ジョン・セックストン	霜で覆われた石、ヨセミテ、カリフォルニア	1980年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.6×31.7
88	ブレット・ウェストン	スペインの村、スペイン	1971年	ゼラチン・シルバー・プリント	27.2×29.5
89	ドン・ワース	アスペン、秋、ニュー・メキシコ	1958年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.2×23.0
90	ダイアン・アーバス	チェンバレン家の双子 (I)	1968年	ゼラチン・シルバー・プリント	26.8×26.5
91	ダイアン・アーバス	チェンバレン家の双子 (II)	1968年	ゼラチン・シルバー・プリント	27.0 x 26.8
92	ダイアン・アーバス	チェンバレン家の双子 (III)	1968年	ゼラチン・シルバー・プリント	27.0 x 27.1
93	エドワード・ウェストン	石膏工場、ロサンゼルス	1925年	ゼラチン・シルバー・プリント	18.8×23.7
94	エドワード・ウェストン	共同住宅、メキシコシティ	1926年	ゼラチン・シルバー・プリント	18.6×24.0
95	エドワード・ウェストン	ローズ、メキシコ	1926年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.5×17.2
96	エドワード・ウェストン	二つの貝殻	1927年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.8×18.7
97	エドワード・ウェストン	燃え立つイトスギの根、ポイント・ロボス	1929年	ゼラチン・シルバー・プリント	18.8×23.8
98	エドワード・ウェストン	ペッパー-No.30	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7×18.8
99	エドワード・ウェストン	ヌード	1934年	ゼラチン・シルバー・プリント	9.1×11.6
100	エドワード・ウェストン	草と海、ビッグ・サー	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.1×24.2
101	エドワード・ウェストン	ノース・ウォール、ポイント・ロボス	1946年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2×19.0
102	エドワード・ウェストン	ブルー・ドゥーン、オセアノ	1948年	ダイ・トランスファー・プリント	19.0×24.3
103	ユーサフ・カーシュ	ウィンストン・チャーチル	1941年	ゼラチン・シルバー・プリント	101.6×75.9
104	ロバート・キャパ	[共和国軍兵士の死、コルドバ前線、スペイン]	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント	38.0×57.0
105	ウィリアム・クライン	銃2、ニューヨーク、1955年	1955年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.2×34.5
106	ウィリアム・クライン	キエフスキー駅、モスクワ	1959年	ゼラチン・シルバー・プリント	120.0×174.0
107	アンドレ・ケルテス	モンドリアンの家で	1926年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.6×18.5
108	マリオ・ジャコメッリ	スカンノ	1957-59年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.3×40.4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・支持体	寸法 (cm)
109	バート・スターン	マリリン・モンロー、 コンタクト・シート	1962年	ゼラチン・シルバー・プリント	93.7×75.7
110	エルンスト・ハース	ニュー・イングランド、1973年	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	32.4×49.2
111	エルンスト・ハース	スルツェイ火山、 アイスランド付近、1965年	1965年	ダイ・トランスファー・プリント	32.6×49.3
112	エルンスト・ハース	アリゾナ、1962年	1962年	ダイ・トランスファー・プリント	32.4×49.3
113	エルンスト・ハース	トバゴ、1968年	1968年	ダイ・トランスファー・プリント	31.4×49.2
114	エルンスト・ハース	ハンティントン湖、ケニア、 1970年	1970年	ダイ・トランスファー・プリント	31.6×49.3
115	エルンスト・ハース	ナイロビ、ケニア、1970年	1970年	ダイ・トランスファー・プリント	32.3×49.2
116	エルンスト・ハース	九州、日本、1981年	1981年	ダイ・トランスファー・プリント	32.5×49.5
117	エルンスト・ハース	シチリア、1965年	1965年	ダイ・トランスファー・プリント	32.5×49.3
118	エルンスト・ハース	ケニア、1970年	1970年	ダイ・トランスファー・プリント	32.5×49.2
119	エルンスト・ハース	ヴァーモント、1969年	1969年	ダイ・トランスファー・プリント	32.3×49.3
120	サリー・マン	6歳のジェシー	1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.4×24.6
121	作者不詳	[二人の婦人]	1860-79年	ティンタイプ	8.9×5.8
122	作者不詳	[コロッセオ]	1880年	鶏卵紙	20.4×26.1
123	作者不詳	[ミラノ]	1880年	鶏卵紙	19.9×25.2
124	松本仙拳	静山	大正6年 (1917)	絹本着色・軸	216.1×92.3
125	松本仙拳	兜		絹本着色・軸	123.5×35.8
126	松本仙拳	梅		絹本墨画淡彩・軸	117.6×33.0
127	松本仙拳	水蓮図		絹本着色・軸	126.9×35.8
128	松本仙拳	秋果図	昭和3年 (1928)	紙本着色・軸	130.7×33.4
129	松本仙拳	月に桜	大正7年 (1918)	絹本着色・軸	163.5×71.8
130	松本仙拳	孔雀		絹本着色・軸	144.0×51.3
131	松本仙拳	秋	大正7年 (1918)	絹本着色・軸	174.1×71.7
132	松本仙拳	武者	大正7年 (1918)	絹本着色・軸	162.4×71.7
133	松本仙拳	桃	大正7年 (1918)	絹本着色・軸	201.4×70.0
134	松本仙拳	清閑	大正15年 (1926)	絹本着色・軸	137.3×66.5
135	松本仙拳	山の朝		絹本着色・軸	230.7×100.3
136	松本仙拳	静寂図	大正10年 (1921)	絹本着色・軸	168.5×70.3
137	松本仙拳	伍道跡 [伍道の跡]	大正13年 (1924)	紙本着色・額	59.2×104.5
138	松本山雪	漁夫・馬図屏風	江戸時代前期	紙本着色・二曲屏風一隻	各134.0× 58.5
139	富岡鉄斎	按摩図	明治6年 (1873)	紙本淡彩・軸	37.8×48.8
140	中川八郎	[桜花風景]	明治時代後期	水彩・紙	72.5×54.5
141	三輪田米山	孚佑	明治時代	紙本墨書・軸	124.0×52.5
142	三輪田米山	但看花開落不言人是非	明治時代	紙本墨書・軸	136.0×62.0
143	松浦巖暉	猿猴親子愛之図	明治31年 (1898)	紙本着色・軸	33.3×52.4

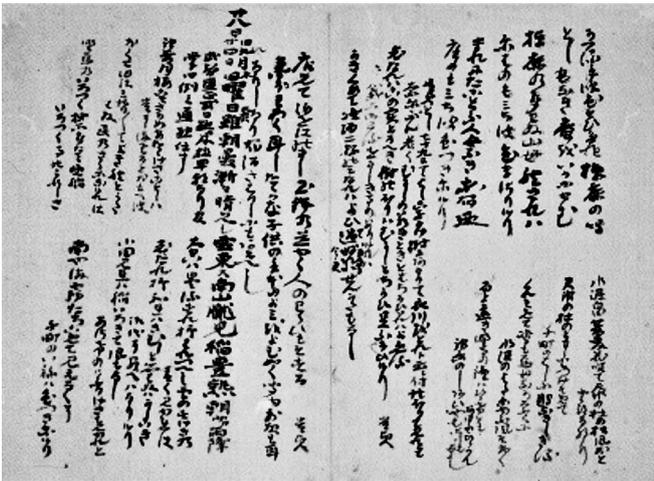
※No.1~No.123は山川コレクション

購入作品



1

松本山雪
諸芸遊楽図屏風
江戸時代前期
紙本着色・六曲屏風一双
各143.0×357.2cm



2

三輪田米山
三輪田米山日記 [断简]
明治時代
紙本墨書・折帖
各紙27.5×38.6cm

寄贈作品

III 作品の収集事業及び保存管理



57
ウジェーヌ・アジェ
紳士服店
1925年
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×17.2cm
山川コレクション



75
アンセル・アダムス
インスピレーション・ポイントからのヨセミテ渓谷、
冬、ヨセミテ国立公園
1940年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
18.0×24.0cm
山川コレクション



100
エドワード・ウェストン
草と海、ビッグ・サー
1937年
ゼラチン・シルバー・プリント
19.1×24.2cm
山川コレクション



104
ロバート・キャパ
[共和国軍兵士の死、コルドバ前線、スペイン]
1936年
ゼラチン・シルバー・プリント
38.0×57.0cm
山川コレクション



105
ウィリアム・クライン
銃2、ニューヨーク
1955年
ゼラチン・シルバー・プリント
24.2×34.5cm
山川コレクション



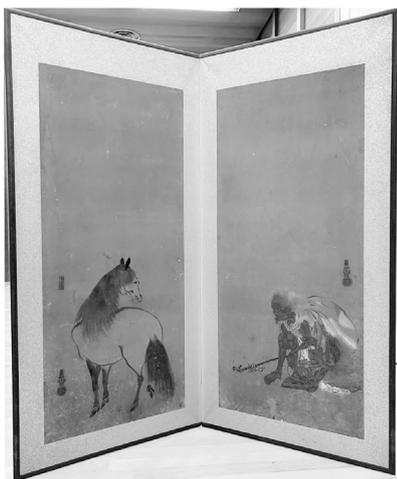
124
松本仙拳
静山
大正6年(1917)
絹本着色・軸
216.1×92.3cm



132
松本仙拳
武者
大正7年(1918)
絹本着色・軸
162.4×71.7cm



136
松本仙拳
静寂図
大正10年(1921)
絹本着色・軸
168.5×70.3cm



138
松本山雪
漁夫・馬図屏風
江戸時代前期
紙本着色・二曲屏風一隻
各134.0×58.5cm



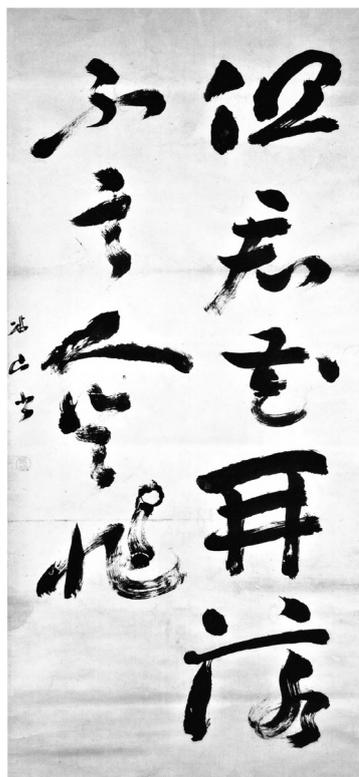
139
富岡鉄斎
按摩図
明治6年(1873)
絹本淡彩・軸
37.8×48.8cm



140
中川八郎
[桜花風景]
明治時代後期
水彩・紙
72.5×54.5cm



141
三輪田米山
孚佑
明治時代
紙本墨書・軸
124.0×52.5cm



142
三輪田米山
但看花開落不言人是非
明治時代
紙本墨書・軸
136.0×62.0cm



143
松浦巖暉
猿猴親子愛之図
明治31年(1898)
紙本着色・軸
各133.3×52.4cm

3 収蔵作品数

分野	～平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
日本画	511点	110点	2点	26点	6点	1点	24点	17点	1点	12点	2点	3点	18点	733点
海外絵画	9点													9点
油彩画	652点		13点	4点		10点	9点		6点	3点	1点			698点
水彩画	117点	1点	11点	2点		7点						1点	1点	140点
素描	234点		2点						4点			2点		242点
版画	720点	16点		14点			1点	81点	3点	1点	7点			843点
書	307点	1点								13点		4点	3点	328点
彫塑	40点													40点
工芸	46点													46点
写真	43点												123点	166点
立体・インスタレーション	33点	18点	6点		3点							3点		63点
デザイン	71点		3点	7点						118点				199点
その他	8,542点			15点		308点			3点	3点				8,871点
計	11,325点	146点	37点	68点	9点	326点	34点	98点	17点	150点	10点	13点	145点	12,378点

4 保存・修復

(1) 収蔵庫燻蒸

内 容 : 専門業者によるブンガノンVA及びエコミューアF Tの薬剤噴霧
 期 間 : 令和5年7月18日
 場 所 : 収蔵部門 収蔵庫2、収蔵前室 計324㎡

(2) 収蔵庫清掃

内 容 : 学芸員の当番制及び博物館実習生による清掃作業（年4回）
 場 所 : 収蔵前室、収蔵庫1・2・3、撮影室、作業室

5 所蔵品貸出状況 令和5年度

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水	日本画科写生教室 五月三日	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	臨模帖「縮図 芳章」	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	画帖〔寝ている男他〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	象 三月九日上野動物園	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	『習画百題』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
黒田清輝	杉浦非水像(非水図案集 発刊二際シテ)(複製)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	画帖〔大阪時代〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	画帖〔島根時代〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
森脇 忠	〔裸婦〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	画帖〔富士山他〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	『富士山スケッチ』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	饗庭篁村著『文学叢書 巢林子撰註』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	あやめ会著『あやめ草』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	与謝野晶子著『夢の華』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	巖谷小波編『日本一ノ画 噺』(復刻)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	『タングラム』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	柳川春葉著 『生さぬなか』中・下	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	菊池幽芳著『百合子』 上・中・下	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	菊池幽芳、鎗木清方著 『百合子画集』上	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	柳川春葉著『かたおも ひ』一・二・三巻	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	一海軍中佐 (水野広徳)著『戦影』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	田口掬丁著 『ふたおもて』前	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	高峰 博著『夢学』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	桜井忠温著『十字路』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『中学世界』 第十三巻第九号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	『お伽世界』 第一巻第一号(原画)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『日曜画報』 第一巻第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『日曜画報』 第一巻第三十九号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『少年世界』 第十八巻第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『少年世界』 第十八巻第十号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『台湾愛国婦人』 第四十五巻	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28

III 作品の収集事業及び保存管理

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水 (表紙)	『文章世界』三月号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『演芸画報』 第七年第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『秀才文壇』 第十三巻第十号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『女子文壇』 第十巻第六号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『ダイヤモンド』 第三巻第八号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『家庭雑誌』 第二巻第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『家庭と玩具』 第二巻第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『家庭』二月号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『婦人倶楽部』 第二巻第九号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『現代』第二巻第四号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『現代』第二巻第六号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	三越呉服店 春の新柄陳列会	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	三越呉服店 新館落成	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	三越呉服店(エンゼル)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『三越』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『みつこしタイムス』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『三越のショール』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	巖谷季雄編『子宝』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	光風会洋画図案展覧会	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	光風会第二回絵画展覧会	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	南満州鉄道株式会社	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	勸業債券売出 九月一日より十日まで	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	勸業債券売だし 十一月 廿日より十二月五日まで	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『ツーリスト』第十八号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『THE TOURIST』 Vol.XII No.3	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	翠子宛書簡 明治36年 11月28日-12月3日付	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
	〔非水と翠子〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	スケッチ	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	杉浦翠子著 『愛しき歌人の群』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水・ 翠子	合作色紙	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	非水図案年賀状	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水	スケッチ	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	貯蓄は根の如く平和は花の如し	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	貯蓄は根の如く平和は花の如し(原画)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	美味滋強飲料 カルピス	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	星名刺	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(装丁)	柳川春葉著『かたおもひ』一・二・三巻	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(装丁)	田口掬丁著『ふたおもて』前	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『雄弁』第十五巻第五号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『たかね』第十九号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	『たかね』第十九号(原画)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	非水図案絵葉書	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	『非水の図案』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	『非水一般応用図案集』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	『非水百花譜』(昭和版)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	スケッチ〔『非水百花譜』関連下絵〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	スケッチ〔植物〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『アマチュア』第一巻第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	熱砂(『芸術写真選集』第一輯所収)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	絵本(『芸術写真選集』第一輯所収)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	二月堂(『芸術写真選集』第一輯所収)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『家の光』第三巻第五号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『写真機が旅をする』(『新家庭』夏季臨時増刊)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	〔水景〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	〔川〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	奥多摩一景	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	土管の雪	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	大仏	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	ペットのまどろみ	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	〔くらげ〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	〔樹氷〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	日立電気冷蔵庫	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水	〔浅間山噴火〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	昭和九年十一月廿四日新雪の浅間	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	昭和二十二年八月十四日十二時二十五分位噴火	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(装丁)	杉浦翠子著『生命の波動』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『短歌至上主義』第三巻第二号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	〔潮干狩り〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	岐阜長良川鶴飼と納涼	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	佐渡まで海上二時間	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『家の光』第二巻第八号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『現代』第八巻第十二号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『科学知識』第十三巻第六号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水(表紙)	『科学知識』第十五巻第四号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	爽快美味滋強飲料カルピス	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	「カルピス」徳用壘包紙(青、赤)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	「カルピス」壘ラベル	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
藤田嗣治	自画像	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	藤田嗣治肖像写真	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	旅行鞆	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	ヨーロッパ日記	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	フランス語ノート	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	スケッチ	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	アルバム(フランス留学時代)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	ヨーロッパ遊学中に撮影した写真	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	非水アルバム帖	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	蔵書票(人魚、飛天)(原画)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	収集物(工芸品、郷土玩具他)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	『外国文字集』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	『名物控帳』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	スクラップブック(招待券、入場券他)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	メニュー	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	ホテルラベル	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
	非水宛年賀状	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	銀座三越 四月十日開店	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	新宿三越落成 十月十日開店	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	LETTER TABLET (孔雀)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	団扇〔青い花〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	団扇〔海景〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	七人社第二回創作ポスター展覧会	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	七人社第三回創作ポスター展覧会	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	SHICHININSHA	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『アフィッシュ』 第一年第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
野村 昇	七人社第十回創作図案展	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
青井辰雄	多摩帝国美術学校第I回図案科展覧会	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
	『デセグノ』1	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水、渡邊素舟共著	『図案の美学』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水、渡邊素舟編	『実用図案資料大成 植物資料図案集』上巻	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水、渡邊素舟編	『世界植物図案資料集成』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水、渡邊素舟編	『世界人物図案資料集成』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	卷一男女共通 幾何学的単独充填模様 (原画)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	卷三男子卷四女子 風景の図案的表現 (原画)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	ヤマサ醤油	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	古河コッパーペイント	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	科学の粋をあつめた地下鉄道上野浅草間開通	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『東京地下鉄道広告案内』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	アサヒグラフ臨時増刊明治大正名作展号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	科学の力に魂の叫び	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	国の文化は道路から	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	画帖〔ポスターラフスケッチ他〕	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水	『非水創作図案集』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	佐藤紅緑著『第一步』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28
杉浦非水 (装丁)	エクトル・マロー著 (片岡鉄平訳)『あゝ故郷』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひらくデザイン	2021.6.27-2023.6.28

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水 (装丁)	沖野岩三郎著 『救し得ぬ悩み』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『新曲歌謡 大風小風』	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『現代』第六巻第六号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『科学』第二巻第三号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『雄弁』第十五巻第十号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『東京』第一巻第二号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『東京』第二巻第一号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『実業界』 第三十四巻第四号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『処女の友』第十巻第五号	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	『街』第一巻第一号 (原画)	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	エスケーコナ石鹸	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	「琥珀ワニス」ラベル	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	黎明無風 浅間連作の内	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水	雨	島根県立美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、 福岡県立美術館、静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2021.6.27- 2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『雄弁』第十五巻第十号	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『東京』第一巻第二号	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『東京』第二巻第一号	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『実業界』 第三十四巻第四号	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水 (表紙)	『処女の友』第十巻第五号	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水	『街』第一巻第一号 (原画)	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水	エスケーコナ石鹸	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水	「琥珀ワニス」ラベル	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水	黎明無風 浅間連作の内	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
杉浦非水	雨	静岡市美術館、群馬県立近代美術館	杉浦非水 時代をひら くデザイン	2022.11.12 -2023.6.28
矢野橋村	柳蔭書堂図	大阪中之島美術館、東京ステーションギャラリー	大阪の日本画	2022.12.16 -2023.6.22
矢野橋村	湖山清暁(寄託作品)	大阪中之島美術館、東京ステーションギャラリー	大阪の日本画	2022.12.16 -2023.6.22
矢野橋村	羅浮逢仙(寄託作品)	大阪中之島美術館、東京ステーションギャラリー	大阪の日本画	2022.12.16 -2023.6.22
矢野橋村	暮色蒼々(寄託作品)	大阪中之島美術館、東京ステーションギャラリー	大阪の日本画	2022.12.16 -2023.6.22
矢野橋村	不動窟(寄託作品)	大阪中之島美術館、東京ステーションギャラリー	大阪の日本画	2022.12.16 -2023.6.22
矢野鉄山	孤琴涓潔	大阪中之島美術館、東京ステーションギャラリー	大阪の日本画	2022.12.16 -2023.6.22
矢野鉄山	秋意幽遠	大阪中之島美術館、東京ステーションギャラリー	大阪の日本画	2022.12.16 -2023.6.22

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
ウジェーヌ＝ ルイ・ ブーダン	プレスト、停泊地	国立西洋美術館	憧憬の地 ブルター ニューモネ、ゴーガン、 黒田清輝らが見た異郷	2023.2.21－ 6.23
坂本繁二郎	ブルターニュ	国立西洋美術館	憧憬の地 ブルター ニューモネ、ゴーガン、 黒田清輝らが見た異郷	2023.2.21－ 6.23
吉田蔵澤	月竹図	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
下村為山	孟冬・墨竹に枇杷の花	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
野間仁根	森のニンフ	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
野間仁根	虫と猫	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
村上三島	五言対句 (花乱似無主…)	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
建昌大夢	白井兩山像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
土井要輔	子規坐像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
楨江山	義農作兵衛像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
佐々木二六	鐘馗	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
横江嘉純	秋山大将騎馬像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
秋山好古	達磨図	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2023.3.1－ 2024.3.1
クロード・ モネ	アンティープ岬	SOMPO美術館、福島県立美術館、静岡市美術館	ブルターニュの光と風	2023.3.9－ 10.27
ギュスター ヴ・クールベ	波	SOMPO美術館、福島県立美術館、静岡市美術館、豊橋市 美術博物館、広島県立美術館	ブルターニュの光と風	2023.3.9－ 2024.6.5
ピエール・ ボナール	アンドレ・ボナール嬢の 肖像 画家の妹	SOMPO美術館、福島県立美術館、静岡市美術館、豊橋市 美術博物館、広島県立美術館	ブルターニュの光と風	2023.3.9－ 2024.6.5
佐藤太清	昏	板橋区立美術館、八幡浜市美術館、福知山市佐藤太清記 念美術館	生誕110年 佐藤太清 展 水の心象	2023.4.7－ 11.7
畦地梅太郎	風景	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	郊外の道	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	日比谷公園	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	宇和島風景	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	海岸	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	病院裏の林	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	争議	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	橋のある風景	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	小名木川附近	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	都会風景	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	法華津峠展望	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	火山	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28
畦地梅太郎	伊予の霊峰	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年 特別展	2023.7.9－ 10.28

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
畦地梅太郎	浅間山	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	子供たち	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	滞船	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	登攀の前	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	なげく山男	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	郊外の畑	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	九段坂上の燈明台	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	焦土の跡 (関東大震災)	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	丸の内(九段に近く)	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	都会風景 (洋館のある風景)	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	秋の草花と音楽堂	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	摘草の人連れ	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	南アルプス	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	河口湖	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	子供	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	登山する男	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
畦地梅太郎	山の友情	畦地梅太郎記念美術館	畦地梅太郎生誕120年特別展	2023.7.9-10.28
大竹伸朗	芥子/音影II	富山県美術館	大竹伸朗展	2023.7.19-9.23
アンドレ・ロート	マルグリットの肖像	国立西洋美術館、京都市京セラ美術館	パリ ボンピドーセンター キュビズム展—美の革命 ピカソ、ブラックからドロローネー、シャガールへ	2023.9.10-2024.7.19
真鍋博	湿地区	神戸市立小磯記念美術館	働く人びと	2023.9.15-2024.1.20
杉浦非水	光風会洋画図按展覧会	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	光風会第二回絵画展覧会	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	三越呉服店 春の新柄陳列会	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	三越呉服店 新館落成	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	三越呉服店(エンゼル)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	勸業債券売だし 五月二日より十五日まで	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	勸業債券売出し 九月一日より十日まで	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	勸業債券売出し 九月 十五日より九月三十日まで	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	貯蓄は根の如く 平和は花の如し(原画)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7
杉浦非水	貯蓄は根の如く 平和は花の如し	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃれ 杉浦非水の世界展	2023.10.5-2024.3.7

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水	南満州鉄道株式会社	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	勸業債券売出し 六月一日より十五日まで	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	勸業債券売りだし 十一月廿日より十二月五 日まで	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	美味滋強飲料 カルピス	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	爽快美味滋強飲料 カルピス	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	アサヒグラフ臨時増刊 明治大正名作展号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	科学の粋をあつめた地下 鉄道 上野浅草間開通	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	七人社第二回創作ポス ター展覧会	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	国の文化は道路から	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	七人社第三回創作ポス ター展覧会	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	日向の早熟 蔬菜と果実	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	岐阜長良川鵜飼と納涼	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	岐阜長良川鵜飼と納涼	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	星名刺	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	銅化塗料ノーワン	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	ヤマサ醤油 (4点)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	古河コッパーペイント	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	銀座三越 四月十日開店	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	近代人の新百貨店 日比谷の美松	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	十二月一日開店 上野地下鉄ストア	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	SHICHININSHA	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	佐渡まで海上二時間	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『みつこしタイムス』 (2点)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『三越』(22点)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『大阪の三越』(3点)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	巖谷季雄編『子宝』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	『わが子の歴史』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	『非水百花譜』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	『非水の図案』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	『非水一般応用図案集』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	『非水創作図案集』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水 (表紙)	『ツーリスト』第18号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	絵葉書 (JAPAN)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	絵葉書 (JAPAN TOURIST BUREAU)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『旅程と費用概算』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『文章世界』3月号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『女子文壇』 第10巻第6号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『現代』第2巻第4号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『現代』第2巻第6号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『現代』第2巻第8号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『現代』第6巻第6号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『現代』第7巻第10号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『現代』第8巻第12号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『東京』第1巻第2号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『東京』第2巻第1号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『東京』第2巻第3号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『科学』第2巻第1号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『科学』第2巻第3号	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『アフイッシュ』 (復刻版)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	あやめ会著『あやめ草』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	与謝野晶子著 『夢の華』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	菊地幽芳著 『百合子』上・中・下	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	柳川春葉著『かたおも ひ』一・二・三巻	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『新曲歌謡 大風小 風』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	杉浦翠子著 『愛しき歌人の群』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	沖野岩三郎著 『救し得ぬ悩み』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『日本美術年鑑』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (装丁)	杉浦翠子著 『生命の波動』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	響	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	PALOMA	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	Momoyama	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	光	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水	光 (政治博覧会記念)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	光 (染織祭記念)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	光 (大毎フェアランド記 念)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	ゴールデンバット (名古屋汎 太平洋平和博覧会記念)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	ゴールデンバット (南国 土佐大博覧会記念)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	扶桑	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	NIKKO	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『文房堂発売品目録』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	「カルピス」徳用壺包紙 (青、赤)	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	エスケーコナ石鹸	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	「カルピル」壺ラベル	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	「強壮補精飲料ゴロナ」 ラベル	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	「琥珀ワニス」ラベル	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	春は踊れ踊れ!!お洗濯物 はエスケーコナ石鹸に任 せておいて	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	「日立コムパウンド」 ラベル	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	『日立電気冷蔵庫』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『洋紙見本』	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	黎明無風 浅間連作の内	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	雨	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	滞欧期スケッチ	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	ヨーロッパ日記	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水	旅行鞆	ヤマザキマザック美術館	レトロ・モダン・おしゃ れ 杉浦非水の世界展	2023.10.5- 2024.3.7
杉浦非水 (表紙)	『アフィッシュ』 第1年第1号	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・ パリ1925:機械時代の アートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2
杉浦非水 (表紙)	『三越』第22巻第11号	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・ パリ1925:機械時代の アートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2
杉浦非水 (表紙)	『大阪の三越』 第5年第5号	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・ パリ1925:機械時代の アートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2
杉浦非水	新宿三越落成 十月十 日開店	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・ パリ1925:機械時代の アートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2
杉浦非水	上野地下鉄ストア	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・ パリ1925:機械時代の アートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2
杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・ パリ1925:機械時代の アートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	貸出期間
杉浦非水	萬世橋まで延長開通	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・パリ1925:機械時代のアートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2
杉浦非水	『非水創作図案集』	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・パリ1925:機械時代のアートとデザイン	2023.11.23 -2024.6.2
石崎重利	安芸・宮島	愛媛県歴史文化博物館	瀬戸内海ツーリズム	2023.12.15 -2024.4.25
古茂田公雄	佐田岬燈台	愛媛県歴史文化博物館	瀬戸内海ツーリズム	2023.12.15 -2024.4.25
野間仁根	瀬戸内海中渡島付近	愛媛県歴史文化博物館	瀬戸内海ツーリズム	2023.12.15 -2024.4.25
野間仁根	瀬戸内海	愛媛県歴史文化博物館	瀬戸内海ツーリズム	2023.12.15 -2024.4.25
野間仁根	瀬戸内海	愛媛県歴史文化博物館	瀬戸内海ツーリズム	2023.12.15 -2024.4.25
安藤義茂	朝鮮風景	五百亀記念館	画家・安藤義茂の眼 歓喜に満ちた世界	2024.1.24- 4.1
福田平八郎	雪庭	大阪中之島美術館、大分県立美術館	没後50年 福田平八郎展	2024.2.8- 8.8
福田平八郎	鮎	大阪中之島美術館、大分県立美術館	没後50年 福田平八郎展	2024.2.8- 8.8
福田平八郎	鴛鴦	大阪中之島美術館、大分県立美術館	没後50年 福田平八郎展	2024.2.8- 8.8
福田平八郎	初雪	大阪中之島美術館、大分県立美術館	没後50年 福田平八郎展	2024.2.8- 8.8
福田平八郎	松竹梅	大阪中之島美術館、大分県立美術館	没後50年 福田平八郎展	2024.2.8- 8.8
福田平八郎	隈篋鶯	大阪中之島美術館、大分県立美術館	没後50年 福田平八郎展	2024.2.8- 8.8
福田平八郎	雉	大阪中之島美術館、大分県立美術館	没後50年 福田平八郎展	2024.2.8- 8.8
富岡鉄斎	太神楽図	京都国立近代美術館、富山県水墨美術館、碧南市藤井達吉現代美術館	没後100年 富岡鉄斎展	2024.2.28- 12.25
富岡鉄斎	鮮魚図	京都国立近代美術館、富山県水墨美術館、碧南市藤井達吉現代美術館	没後100年 富岡鉄斎展	2024.2.28- 12.25
富岡鉄斎	蓬萊山図	京都国立近代美術館、富山県水墨美術館、碧南市藤井達吉現代美術館	没後100年 富岡鉄斎展	2024.2.28- 12.25
富岡鉄斎	狸鼓腹図	京都国立近代美術館、富山県水墨美術館、碧南市藤井達吉現代美術館	没後100年 富岡鉄斎展	2024.2.28- 12.25
吉田蔵澤	大幹竹	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
下村為山	柿に雀之図	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
野間仁根	田舎の家族	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
野間仁根	漁火	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
村上三島	劉長卿 春風臺詩	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
建島大夢	白井雨山像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
土井要輔	子規坐像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
榎江山	義農作兵衛像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
佐々木二六	鐘馗	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
横江嘉純	秋山大将騎馬像	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
秋山好古	達磨図	愛媛県生涯学習センター	愛媛人物博物館常設展示	2024.3.1- 2025.3.31
山本大貴	孤愁の園(寄託作品)	国立新美術館、愛知県美術館、あべのハルカス近鉄本店	白日会創立百周年記念展	2024.3.6- 8.18

下記のテーマで調査研究を行った。

土居聡朋 学芸課長

テーマ：中世～近代の書・古文書の研究、愛媛県の社会教育史・文化史

内 容：

【中世～近代の書・古文書の研究】

美術館所蔵の「俳句文学コレクション」のうち、正岡子規や河東碧梧桐ら俳人の書簡や書作品に関する調査研究を行い、その成果を美術館紀要第22号で共同執筆したほか、美術館レクチャー及びコミュニティ・カレッジ等で講演した。また、市町等の依頼により、伊予稲荷神社所蔵（伊予市）、等妙寺（鬼北町）に関する文書や書作品等の調査を行った。

【愛媛県の社会教育史・文化史】

愛媛県立美術館設立の前史にあたる近代愛媛の博覧会の開催状況とその背景について考察し、「近代愛媛の博覧会」（山内譲編『近世・近代伊予の人と文化』伊予史談会発行、2023年）に掲載した。

長井 健 専門学芸員・担当係長

テーマ：伊予地方の宗教美術の調査研究、杉浦非水と日本のアール・デコ

内 容：

【伊予地方の宗教美術の調査研究】

将来的な企画展開催を見越して、各自治体教育委員会（文化財保護担当者）と連携しながら、伊予地方における寺社所有の文化財（仏像・絵画等）の調査を実施した。

【杉浦非水と日本のアール・デコ】

杉浦非水が近代日本のグラフィックデザイン創成期に果たした役割を検証し、特に、渡欧経験により得たヨーロッパのデザインの様式と理念を、どのように日本に紹介して、いわば「日本のアール・デコ」が展開していったかの調査研究を行った。また、令和3年度から全国巡回中の「杉浦非水 時代をひらくデザイン」展の全体監修を担当し、開催館での講演会などを行った。

鈴木有紀 専門学芸員・担当係長

テーマ：「対話型鑑賞」の教育理論を基礎とした常設展示のキャプション・鑑賞ツール等の研究

内 容：

【対話型鑑賞の教育理論を基礎とした常設展示活動の研究】

平成27年度～30年度まで実施したえひめ「対話型授業」プロジェクトで得た知見をもとに、常設展示室内キャプションや鑑賞にツール等について実践・模索した。

田代亜矢子 専門学芸員・担当係長

テーマ：触図について

内 容： 絵画作品を触図に置き換えて、視覚障がい者の方をはじめ見るだけでなく触ることで、構図を理解する補助具として活用するため、創作ボランティアの協力を得ながら、野間仁根《魔法の森》の大きな触図制作を行った。また、3D印刷を得意とする株式会社佐川印刷の協力を得て、3タイプの触図制作を実施し、WS等で活用方法を模索した。

石崎三佳子 専門学芸員・担当係長

テーマ：美術館における創作活動、あらゆる感覚、対話を用いた鑑賞・体験

内 容：

【美術館における創作活動】

アトリエ利用者の制作をサポートするための版画技法の調査や試行を行った。また、館内外ワークショップ、展覧会関連ワークショップなど、目的や対象に合わせた創作体験を検討し、実施した。

【あらゆる感覚、対話を用いた鑑賞・体験】

視覚以外の感覚や自分以外の視点を交えた美術鑑賞や美術に関する体験を調査、検討を継続した。コレクション展「みる冒険 手触りとの対話」では、素材のツールを用いて、作品からイメージを手触りに置き換えて、手の感覚と向き合い、手と対話をしながら作品を味わう展示を実施した。

武田信孝 専門学芸員

テーマ：欧米と日本を中心とした近現代美術史

内 容： コレクション展の開催にあたり、「西洋美術における家族と子供の表象」と題し、美術館講座レクチャーの講師を務めた。コレクションによる「伊東翠壺展」（場所：当館1階壁付けガラスケース）を企画し、作品解説キャプションの原稿1件を執筆し、パネル用作家略歴を編纂した。

令和5年度企画展「ヨハネ・パウロ2世美術館展」の開催にあたり、『かぶりび』令和5年9月号（愛媛県警察本部）に「企画展『愛媛県美術館開館25周年記念・学校法人聖カタリナ学園創立100周年記念 ヨハネ・パウロ2世美術館展』」を寄稿した。同展関連行事として、ショート・レクチャー（A：母と子、B：神話と伝説、C：肖像）の講師を6回務めた。同時開催の「学校法人聖カタリナ学園創立100周年記念特別展 アルベルト・カルペンティール展-愛と真理-」（主催：学校法人聖カタリナ学園、協力：ヨハネ・パウロ2世美術館展実行委員会、会場：当館特別展示室）の監修を務め、キャプション104点（解説付き80点）、パネル用章解説4件（「プロローグ」「聖母崇敬」「聖書と聖人物語」「エピローグ」）の原稿を執筆し、パネル用作家年譜を編纂した。

美術館が10倍楽しくなる講座＜第2回講座＞「西洋美術にワクワクドキドキ ルノワール、ローランサンからムーミンまで」（主催：西条市佐伯記念館・郷土資料館、西条市丹原公民館ホール、会場：西条市丹原公民館ホール）の講師を務めた。

開館記念日にあたり、「あつまれ！フロアレクチャー」（西洋美術）の講師を務めた。

Google Arts & Cultureの当館プラットフォームに、当館所蔵品129点の欧文基礎情報及び作品画像を登録公開した。加えて、昨年度登録作品に係る欧文献35件を追記した。

杉山はるか 専門学芸員

テーマ：大竹伸朗を始めとする県ゆかりの現代作家、写真家等について

内 容： 大竹伸朗展の開催に際し、宇和島市、松山市と連携の上愛媛会場のオリジナル展示を実施した。県内マスコミの協力を得た広範囲にわたる広報活動や、作家と様々な関係者と調整の上数々の関連事業を行った。山川浩一郎氏が収集した写真コレクションについて、以前からの調査研究を経て123点の作品寄贈を受けた。写真家・新山清および白岡順のまとめた作品群の調査を行った。松山市文化創造支援協議会主催事業で、美術家・深澤孝史を中心に行われた、県内の画家・松川太郎と「とり小屋美術館」、また尾崎正教についての調査やその成果発表の展覧会に、事前調査対応およびトークイベントのゲストとして参加した。えひめ障がい者アート展の審査員および総評を務めた。

喜安嶺 主任学芸員

テーマ：愛媛の近代洋画に関する調査研究、瀬戸内海における芸術文化の受容

内 容：

【愛媛の近代洋画に関する調査研究】

昨年度に引き続き中川八郎作品の調査を出身地で実施し同地で講演を担当、また畦地梅太郎の周年の年南予地方に重点をおいた同作家の調査により記念美術館での講演を実施した。その他、寄贈や展示等に関連して、愛媛ゆかりの近代洋画に関する調査研究を行った。

【瀬戸内海における芸術文化の受容】

瀬戸内海展開催の準備として、同海域における作家作品調査を実施した。特に、民藝や建築分野については、専門家の協力を得て、出品作品にまつわる資料等を収集し、作家への聞き取りなどを行い、展示や図録の構成に反映した。同展は県歴史文化博物館や県総合科学博物館と連携をして実施し、各館での講演等を担当し、多角的な事業となる様協同して行った。

金成めい 学芸員

テーマ：ミュージアムにおけるメディア芸術作品の活用と保存に関する研究

内 容： 企画展「愛媛県美術館開館25周年記念 海洋堂展 創るたのしみをすべての人に」の企画運営を通じて、アニメーションや漫画などのメディア芸術から派生したフィギュア作品の制作技法や歴史的背景、フィギュアを取りまく文化について調査研究を行い、展示をした。また、複数の展覧会などにおいて使用された映像作品や映像資料の展示方法や活用方法について各事業担当者と共に検討を行った。

岩本成美 学芸員

テーマ：俳文学と日本近代美術との関わりに関する調査研究

内 容： 当館所蔵の近代の日本画作品から、俳文学に関わりのある作品について調査を行い、所蔵作家を中心に調査研究を行い、その内容について『愛媛県美術館研究紀要』第22号に論考（長井健・岩本成美・土居聡朋「愛媛県美術館「俳文学と美術」コレクション」）を掲載した。

宇野茉莉花 学芸員

テーマ：県ゆかりの近代洋画家について

内 容： 県内の実業家である、佐々木長治旧蔵の書籍群の調査を行い、その内容の一部を企画展「わたしのうみ ART/LIFE」にて展示した。また、同展図録の執筆・編集にも携わった。

横尾真緋 学芸員

テーマ：日本画への関心を高めるワークショップの実践研究

内 容： 日本画の表現や作品形態について理解を深める機会となり得るよう卓上サイズの高屏風を制作するワークショップを企画し、対象や目的に適した素材選択や制作工程について検討の上、実施した。

V 教育普及事業

1 普及啓発事業

(1) レクチャー

①三輪田米山 その書の魅力

内 容 4年度に新たに収蔵した作品を中心に、三輪田米山の書の特徴や見方について解説した。
講 師 専門学芸員・担当係長 長井健
日 時 6月3日(土) 14:00~15:30
受講人数 8名

②道後温泉と芸術 — 『坊っちゃん』の時代と現代と

内 容 『坊っちゃん』に登場する道後温泉の描写を辿りながら、漱石の時代を振り返るとともに、現代の大竹伸朗の展示に繋がる道後アートの取組を紹介した。
講 師 専門学芸員 杉山はるか
日 時 6月24日(土) 14:00~15:30
受講人数 18名+オンライン配信

③近代愛媛の博覧会

内 容 明治期から戦後に愛媛県松山市で開催された博覧会の様相を辿った。
講 師 学芸課長 土居聡朋
日 時 7月1日(土) 14:00~15:30
受講人数 7名+オンライン配信

④没後50年・木和村創爾郎・木版画

内 容 没後50年を迎えた松山市出身の版画家、木和村創爾郎の作風や独自の技法について、コレクションを中心に解説した。
講 師 主任学芸員 喜安嶺
日 時 8月26日(土) 14:00~15:30
受講人数 10名

⑤西洋美術における家族と子供の表象

内 容 開催中のコレクション展及び開催予定の企画展で西洋の家族像・子供像を展示する機会にあわせて、西洋の家族と子供の表象について概説した。
講 師 専門学芸員 武田信孝
日 時 9月2日(土) 14:00~15:00
受講人数 7名

⑥イチ押しミュージアム・コレクション① 小清水漸《舟・赤い》

内 容 小清水漸が《舟・赤い》の制作にいたる過程について解説した。
講 師 専門学芸員 杉山はるか
日 時 11月4日(土) 14:00~15:00
受講人数 4名

⑦イチ押しミュージアム・コレクション② 杉浦非水《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》

内 容 開催中の「開館25周年記念 THE BEST COLLECTION 25」で展示中の杉浦非水《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》について解説した。
講 師 専門学芸員・担当係長 長井健
日 時 11月18日(土) 14:00~15:00
受講人数 7名

⑧あなたのまちと文化とミュージアム～対話を通じて～

内 容 参加者と対話を行いながらミュージアムの役割について考えたのち、県内におけるミュージアムや文化施設と文化政策の結びつきについて解説をした。

講 師 学芸員 金成めい

日 時 2月3日(土) 14:00～15:00

受講人数 6名

(2) オンラインレクチャー

①オンラインレクチャー／展示室LIVE アゼチ・イシヅチ

内 容 展示中の畦地梅太郎の作品を中心に、作家や作家が生涯をかけて取り組んだ愛媛の霊峰・石鎚山というテーマについて解説した。(声での出演)

講 師 主任学芸員 喜安嶺

日 時 10月29日(金) 19:00～19:20

受講人数 16名(アーカイブ再生 380回(10月末現在))

②オンラインレクチャー／展示室LIVE Inter-Action

内 容 コレクション展Ⅳ「開館25周年記念 Inter-Action 県美コレクションが生んだ出会いと交流」で展示中の作品4点を取り上げ解説した。(声での出演)

講 師 学芸員 岩本成美、宇野茉莉花、横尾真緋

日 時 12月22日(金) 19:00～19:15

受講人数 25名(アーカイブ再生 68回(12月末現在))

(3) 親子ワークショップ

簡単に制作できるキットを使って、参加者だけでできる講座を行った。

時 間 各10:30～11:30、14:00～15:00

①藍染めエコバッグ

内 容 布袋を輪ゴムや洗濯ばさみなどで絞りをを行い、様々な模様が入ったインド藍染のオリジナルバッグを作った。

講 師 専門学芸員・担当係長 田代亜矢子、石崎三佳子
学芸員 金成めい、横尾真緋

日 時 5月14日(日)・21日(日)

6月11日(日)・18日(日)

参加人数 延 59名



②くれよんステンドグラス

内 容 削ったクレヨンアイロンで溶かした後、再度固めることで光を通すステンドグラスのような飾りを作った。

講 師 専門学芸員・担当係長 石崎三佳子、田代亜矢子
学芸員 金成めい、横尾真緋

日 時 7月9日(日)・16日(日)

8月13日(日)・20日(日)

参加人数 延 59名



(4) わくわくワークショップ

小さなお子さんから参加できる簡単な創作ワークショップを行った。

時 間 各10:30~11:30、14:00~15:00

①て・ゆびでぬりぬり

内 容 手のひらや指先を使って布地に絵を描いた。手のひらの形を意識させながら生き物のような形を工夫させた。開館記念日イベントの飾りつけ用にも制作した。

講 師 学芸員 金成めい
専門学芸員・担当係長 石崎三佳子、田代亜矢子
学芸員 横尾真緋

日 時 10月15日(日)・29日(日)、11月12日(日)

参加人数 延 51 名



②はりこモドキ

内 容 張り子のように紙を貼り重ね、手のひらサイズの立体オブジェをつかった。

講 師 専門学芸員・担当係長 石崎三佳子、田代亜矢子
学芸員 金成めい、横尾真緋

日 時 12月10日(日)、1月14日(日)・28日(日)

参加人数 延 53 名



(5) ワークショップ

①ガリ版印刷を楽しむ

内 容 ガリ版印刷の簡易な印刷台づくりから始め、はがきサイズの作品を制作し、ガリ版印刷の表現を楽しんだ。

担 当 専門学芸員・担当係長 石崎三佳子
学芸員 横尾真緋

日 時 5月20日(土) 10:30~15:00

参加人数 4 名



②布をつないで繋いで立体!

内 容 様々な色や素材の布に触れ、切ったり繋いだりを楽しみながら、立体になるようにつなぎ合わせた。

担 当 専門学芸員・担当係長 田代亜矢子、石崎三佳子

日 時 8月11日(金) 13:30~15:00

参加人数 8 名



③バックヤード・ツアー

内 容 4・5名のグループに分かれ、作品に見立てた看板や、椅子を台車に乗せ、美術館の施設や備品を紹介しながら、展示室まで運び、展示するまでを体験した。

担 当 専門学芸員・担当係長 田代亜矢子、石崎三佳子

日 時 9月9日(土) 13:30~15:30

参加人数 15 名



④クリスマス・プレート

内 容 砥部焼の工を使ってツリー型の陶板を作成し、化粧土のかき落としとして柄付けをした。
講 師 岡田智恵 (atelier chie/陶芸家)
日 時 ①成形 11月25日 (土)
②かき落とし 11月26日 (日)
各 10:30~11:30
参加人数 延 30 名



⑤なんちゃってミニ屏風

内 容 卓上サイズの金屏風をつくり、自由に絵を描いてオリジナルのミニ屏風を制作した。
担 当 学芸員 横尾真緋
専門学芸員・担当係長 石崎三佳子
日 時 2月4日 (日) 13:30~15:30
参加人数 9 名



⑥家族で「みるゲーム」!

内 容 所蔵品を用いたアートカードとスライドを使って作品鑑賞を楽しんだ。
担 当 専門学芸員・担当係長 鈴木有紀、田代亜矢子
日 時 3月2日 (土)
①10:30~12:00 ②13:30~15:30
参加人数 17 名



(6) コレクショントーク

内 容 所蔵作品を対話型鑑賞で楽しむワークショップ。後期は、気軽に参加可能な実施時間30分のコレクショントーク・ミニを実施。コロナ感染対策のため研修室にてスライドで実施。
ファシリテーター 当館学芸員・当館作品ガイドボランティア
日 時 前期 毎月第1日曜日、第3水曜日、日曜日 各14時~15時30分
後期 ・毎月第1水曜日、日曜日 各11時~11時30分
・毎月第3水曜日、日曜日 各14時~15時30分
参加人数 延 491 名 (開催回数 28回)

(7) コレクショントーク+ (プラス)

内 容 見える人も見えない人も一緒に作品鑑賞を楽しむワークショップ。研修室や多目的ルームにてスライドで実施。
ファシリテーター 当館学芸員・当館作品ガイドボランティア
日 時 毎月第1水曜日 14時~15時30分
参加人数 延 164 名 (開催回数 12回)

2 創作活動支援事業

(1) アトリエの設置

創作活動ができる場として、アトリエ1 (版画全般)、アトリエ2 (染織、木工、写真等) を設置し、県民に開放している。

アトリエ利用状況

(単位：開館日数以外は人)

区 分	開室日数	利用人数			計
		アトリエ1	アトリエ 2	アトリエひろば	
4月	26	22	85	0	107
5月	26	27	94	0	121
6月	26	33	135	0	168
7月	27	37	95	0	132
8月	27	30	160	0	190
9月	26	53	87	0	140
10月	26	36	161	0	197
11月	26	31	160	0	191
12月	27	36	75	0	111
1月	28	38	123	0	161
2月	24	50	107	0	157
3月	29	51	114	0	165
計	318	444	1,396	0	1,840
1日平均		1.3	4.3	0	5.8

※アトリエひろばの開設は感染防止のため中止

(2) 創作学習の支援

アトリエ等での創作活動を行うにあたって、制作方法や技法などについて相談にのり、アドバイスをを行った。また、アトリエの利用促進のため、下記の事業を開催した。

①アトリエ教室

初めてアトリエを利用する方に、利用者の要望に対応した基本的な機材の使い方や制作手順を指導するワークショップを開催した。

日 時 アトリエ1 (版画) 第1・3水曜日・土曜日

アトリエ2 (多目的) 第2・4水曜日・土曜日

種 目 シルクスクリーン、エッチング、リトグラフ、ドライポイント、コラグラフなど
紡ぎ、染め、織り、写真、おひさま写真、ピンホールカメラなど

対 応 者 田代亜矢子専門学芸員・石崎三佳子専門学芸員・金成めい学芸員・横尾真緋学芸員

参加人数 延 184 名 (開催回数 55回)

②夏休みイベント

「みんなでむすんで、ひろがるかたち」

2階ポールより1階に垂らした5本の布紐に、参加者により布を結んでいってもらった。

日 時 7/29 (土)・30 (日) 9:40~18:00

参加人数 延 135 名



3 美術情報関係事業

(1) 美術館情報発信

①ホームページ、SNSでの情報発信

美術館の概要、展覧会や講座の案内などを紹介している。 (<https://www.ehime-art.jp/>)

②年間予定表「みるん・するん」

みるん (展覧会スケジュール)・するん (教育普及プログラム) を掲載したイベントスケジュールを半期毎に変形6折れで、各10,000部発行した。

- ③美術館ニュース「Canforo（カンフォロ）」の発行
 第66号（令和5年7月）、第67号（令和6年2月）をA4版、4頁で各2,000部刊行した。



【第66号】



【第67号】

- ④メールマガジンの配信
 メールマガジン「カンフォロ」を月1回配信している。

(2) 美術情報の提供

新館1階に美術情報図書コーナーを開設、一般の利用に役立てている。
 収蔵図書数 計14,761冊（閉架を含む）

4 他機関との連携事業

(1) 館内プログラム

美術館活用を希望する団体からの研修依頼に応え、当館学芸員及び職員が講師を務めた。

①教員研修の受け入れ

	研修名	日時	対象者	人数	研修内容
1	県教育センター 10年研修	8/3(木) 10:00~16:00	教員	1	対話型鑑賞 おひさま写真制作 アートカード体験
2	松山市中堅研修Ⅱ 教科等指導研修			3	
合 計				4	

②学校団体の受け入れ

ア 職場体験の対応

	研修名	日時	対象者	人数	研修内容
1	松山市立三津浜中学校	7/5(水)~7(金) 各 9:30~15:00	中学2年生	4	施設見学、コレクショントーク プラス体験、美術館のひみつ探し等
2	松山市立垣生中学校	9/12(火)~14(木) 各 9:30~15:00	中学2年生	4	施設見学、アートカードゲーム体験、監視業務等
3	松山市立椿中学校	10/25(水)~27(金) 各 9:30~15:00	中学2年生	4	施設見学、館外WSの準備、ア トリエ清掃等
4	内子高校小田分校	11/14(火)~16(木) 各 9:30~15:00	高校2年生	1	施設見学、コレクショントーク 体験、開展式対応補佐等
5	松山南高等学校砥部分校	2/1(木)、2(金)、5(月) 各 9:30~15:00	高校2年生	2	施設見学、講座準備、展示室の ひみつ探し等
合 計				15	

イ 体験学習の受け入れ

学校団体等の要望により、アトリエでの創作体験学習の対応をした。

※人数の()は引率者数

	学校名	日時	対象者	人数	活動内容
1	松山市立味酒小学校	6/21(水) 9:40~11:10	小学2年生	32 (2)	展覧会鑑賞 WS「コラージュ」
2	東雲第2児童クラブ	8/18(金) 11:00~14:00	小学 3~5年生	22 (8)	展覧会鑑賞 WS「スタンプバック」
3	松山ビジネスカレッジ	9/8(金) 9:40~17:00	学生	7 (1)	シルクスクリーン
4	高齢者大学校	10/5(木) 13:30~16:00	高齢者	41 (2)	展覧会鑑賞 WS「スタンプバック」
5	愛媛県立松山北高等学校	10/11(水) 10:00~12:00	高校1年生	40 (2)	展覧会鑑賞 WS「展覧会ができるまで」
6	愛媛県立松山工業高等学校	10/24(火) 16:00~	高校3年生	5 (1)	おひさま写真
7	松山デザイナー専門学校	11/28(火) 9:40~17:00	専門学生	6 (1)	シルクスクリーン
8	愛媛県視聴覚福祉センター	2/14(水) 14:00~15:30	障がい者 介助者	4 (3)	コレクショントークplus 触図体験
9	松山市立雄郡小学校	3/7(木) 10:00~11:30	小学2年生	65 (3)	WS「大きな風船」
合 計				222 (23)	

ウ 展覧会観覧受け入れ

	展覧会名	児童・生徒数		合計
		小中学校	高等学校 大学・専門学校	
1	大 竹 伸 朗 展	4校	13校	17校
		682名	532名	1,214名
2	海 洋 堂 展	3校	5校	8校
		3,746名	1,270名	5,016名
3	ヨハネ・パウロ2世美術館展	9校	24校	33校
		169名	622名	791名
4	コンドウアキのおしごと展	19校	4校	23校
		930名	531名	1,461名
5	わたしのうみART/LIFE展	15校	3校	18校
		68名	251名	319名
6	コレクション展	9校	27校	36校
		464名	812名	1,276名
合 計		59校	76校	135校
		6,059名	4,018名	10,077名

③令和5年度 愛媛県インターンシップ

愛媛県インターンシップの受け入れを行った。

	大学名	日時	人数
1	愛媛大学	7/28(金)~8/3(木) 各9:30~18:00	1
2	広島大学	8/18(金)~8/20(日)・9/9(土)・9/10(日) 各9:30~18:00	1
合 計			2

(2) 館外プログラム

施設や団体等の美術に関する事業依頼に応じ、当館学芸員及び職員を派遣した。

【講義・レクチャー】

- ①「伊予稲荷神社宝物館」文化財保存・管理・活用調査委員会／
「伊予稲荷神社宝物館」文化財保存・管理・活用調査委員会
内 容 伊予稲荷神社（伊予市）所蔵文化財の調査と保存について
日 時 2/27（月）、4/24（月）、9/30（土） 10：00～15：00
場 所 伊予稲荷神社社務所等
講 師 土居聡朋学芸課長、喜安嶺主任学芸員
参加人数 15 名×3回（延べ 45 名）
- ②「伊予稲荷神社宝物館」調査報告会／「伊予稲荷神社宝物館」文化財保存・管理・活用調査委員会
内 容 伊予稲荷神社（伊予市）所蔵文化財の価値について
日 時 5/21（日） 14：00～16：30
場 所 伊予市庁舎
講 師 土居聡朋学芸課長、喜安嶺主任学芸員
参加人数 110 名
- ③県内5校限定・対話型鑑賞連続5回出前授業
内 容 対話型鑑賞
日 時 5/24（水）、6/16（金）、10/13（金）、12/22（木）、3/5（火） 11：10～14：45
場 所 伊方町立三机小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長、金成めい学芸員、作品ガイドボランティア1名
参加人数 21 名×5回（延べ 105 名）
- ④県内5校限定・対話型鑑賞連続5回出前授業
内 容 対話型鑑賞
日 時 5/31（水）、6/30（金）9/26（火）、12/7（木）、
1/17（水）（うち3回はオンライン） 9：20～12：00
場 所 西条市立周布小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長、作品ガイドボランティア2名
参加人数 104 名×5回（延べ 520 名）
- ⑤令和5年度「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」
放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会（体験活動部会）アートカードの活用法について
内 容 対話型鑑賞
日 時 6/1（木） 10：55～12：15
場 所 松前町総合文化センター
講 師 田代垂矢子専門学芸員・担当係長
参加人数 39 名
- ⑥黒潮町教育委員会対話型授業支援
内 容 対話型鑑賞
日 時 6/7（水）、9/13（水）、10/11（水）、11/13（月）、12/13（水）、1/16（火）、
2/14（水）、3/12（火） 11：20～14：00（うち3回はオンライン）
場 所 黒潮町立三浦小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
参加人数 22×8回（延べ 176 名）

⑦洋画家・中川八郎調査にかかる派遣／内子町教育委員会

内 容 内子町内に関わる中川八郎調査
日 時 6/7 (水) 10:00~15:00
場 所 五十崎自治センター他
講 師 喜安嶺主任学芸員
参加人数 5 名

⑧対話型鑑賞授業協働研究

内 容 対話型鑑賞
日 時 6/20 (火)、9/19 (火)、11/2 (木)、1/19 (金)、2/5 (月) 10:20~12:00
場 所 八幡浜市立白浜小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長、横尾真緋学芸員、作品ガイドボランティア2名
参加人数 138 名×5回 (延べ 690 名)

⑨県内5校限定・対話型鑑賞連続5回出前授業

内 容 対話型鑑賞
日 時 6/22 (木)、7/12 (水)、9/28 (木)、11/16 (木)、12/19 (火) 10:20~12:00
場 所 西条市立神戸小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長、作品ガイドボランティア2名
参加人数 61 名×5回 (延べ 305 名)

⑩県内5校限定・対話型鑑賞連続5回出前授業

内 容 対話型鑑賞
日 時 6/27 (火)、9/14 (木)、10/31 (火)、11/7 (火)、1/23 (火) 10:20~12:00
場 所 宇和島市立明倫小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長、作品ガイドボランティア3名
参加人数 106 名×5回 (延べ 530 名)

⑪畦地梅太郎記念美術館開館20周年記念講演会／宇和島市

内 容 畦地梅太郎と南予 -120年と20年-
日 時 7/15 (土) 10:00~11:00
場 所 畦地梅太郎記念美術館
講 師 喜安嶺主任学芸員
参加人数 100 名

⑫南予コミュニティ・カレッジ「愛媛の博物館・研究機関講座」／愛媛県生涯学習センター

内 容 美術館所蔵の歴史資料を読む -藤原定家から夏目漱石まで-
日 時 7/20 (木) 13:30~15:30
場 所 愛媛県総合科学博物館
講 師 土居聡朋学芸課長
参加人数 18 名

⑬松前町立松前小学校教員研修

内 容 対話型鑑賞
日 時 7/27 (水) 14:50~16:20
場 所 松前町立松前小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
参加人数 30 名

⑭「杉浦非水の大切なもの 初公開・知られざる戦争疎開資料」講演会

内 容 杉浦非水 モダンデザインの先駆者
 日 時 7/30(日) 14:00~15:30
 場 所 川越市立美術館
 講 師 長井健専門学芸員・担当係長
 参加人数 60 名

⑮薬師寺文化講座

内 容 保免の歴史と薬師寺
 日 時 8/22(火) 18:00~19:30
 場 所 薬師寺(松山市)
 講 師 土居聡朋学芸課長
 参加人数 60 名

⑯東予コミュニティ・カレッジ「愛媛の博物館・研究機関講座」

「あなたのまちと文化とミュージアム」

内 容 参加者と対話を交えながらミュージアムの多様性について考えたのち、県内におけるミュージアムや文化施設と文化政策の結びつきについて解説をした。
 日 時 8/25(金) 13:30~15:30
 場 所 愛媛県総合科学博物館
 講 師 金成めい学芸員
 参加人数 22 名

⑰課題別実践向上セミナー

内 容 「ふるさと松山学」×対話型鑑賞
 日 時 8/26(日) 13:30~16:00
 場 所 松山市教育研修センター
 講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
 参加人数 138 名

⑱黒潮町「対話型授業」研究会

内 容 対話型鑑賞を用いた出前授業、研究校の授業参観と協議における助言と相談
 日 時 9/13(水)、11/13(月)、2/14(水) 11:30~16:30
 場 所 黒潮町立三浦小学校
 講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
 参加人数 90 名

⑲「対話型授業実践のための『問いについて』」

内 容 対話型鑑賞
 日 時 9/27(水) 14:50~16:20
 場 所 松前町立松前小学校
 講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
 参加人数 45 名

⑳史跡河後森城跡整備検討委員会／松野町

内 容 史跡河後森城跡の整備に係る検討会
 日 時 9/28(木) 14:00~16:00
 場 所 松野町役場
 講 師 土居聡朋学芸課長
 参加人数 7 名

⑳第1回日本絵手紙協会公認講師実学講座

内 容 三輪田米山について
日 時 10/6 (金) 12:00~12:45
場 所 松山市民会館
講 師 長井健専門学芸員・担当係長
参加人数 200 名

㉑第17回博学連携フォーラム ミュージアムでの対話型の学びをめざして

内 容 杉浦非水が目指したもの：その生涯と仕事
日 時 10/20 (金) 9:30~16:30
場 所 美濃加茂ミュージアム
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
参加人数 30 名

㉒令和5年度中国・四国地区社会教育等主管課長会議

内 容 愛媛県美術館の活動について 一教育普及事業を中心に一
日 時 10/20 (金) 10:00~11:45
場 所 愛媛県美術館
講 師 土居聡朋学芸課長
参加人数 25 名

㉓瀬戸内海のアートに関して(日本事情A2) / 愛媛大学国際連携機構

内 容 瀬戸内海における美術文化について
日 時 10/25 (水) 10:20~11:50
場 所 愛媛大学
講 師 喜安嶺主任学芸員、鈴木有紀専門学芸員・担当係長
参加人数 17 名

㉔瀬戸内海のアートに関して(studies on Japanese Culture) / 愛媛大学国際連携機構

内 容 瀬戸内海における美術文化について
日 時 10/26 (木) 12:40~14:10
場 所 愛媛大学
講 師 喜安嶺主任学芸員
参加人数 15 名

㉕美術館が10倍楽しくなる講座<第2回講座> /

西条市佐伯記念館・郷土資料館、西条市丹原公民館ホール

内 容 西洋美術にワクワクドキドキ ルノワール、ローランサンからムーミンまで
日 時 10/29 (日) 10:10~11:40
場 所 西条市丹原公民館ホール
講 師 武田信孝専門学芸員
参加人数 100 名

㉖県内5校限定・対話型鑑賞連続5回出前授業

内 容 対話型鑑賞
日 時 11/8 (水)、11/29 (水) 10:30~11:15
場 所 松山市立坂本小学校
講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長、田代垂矢子専門学芸員・担当係長
作品ガイドボランティア1名
参加人数 5 名×5回(延べ 25 名)

⑳内子/五十崎に生まれた洋画家中川八郎をめぐって／内子町教育委員会

内 容 内子／五十崎に生まれた洋画家・中川八郎をめぐって
 日 時 11/10（金） 19：00～20：30
 場 所 五十崎自治センター
 講 師 喜安嶺主任学芸員
 参加人数 28 名

㉑総合的な探求の時間「探Q」における対話型鑑賞講座

内 容 対話型鑑賞
 日 時 11/21（火）、12/5（火）、12（火）、1/30（火）、2/6（火） 13：30～15：35
 場 所 愛媛県立伊予高等学校
 講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
 参加人数 80 名

㉒「わたくし美術館ととり小屋美術館って何？」／松山市文化創造支援協議会

内 容 美術家・深澤孝史が尾崎正教や松川太郎について調査発表を行い、ゲストとして参加した。
 日 時 12/3（日） 17：00～18：30
 場 所 PAAC 平和通りアートセンター
 講 師 杉山はるか専門学芸員
 参加人数 20 名

㉓伊予鉄総合企画指定管理施設スキルアップ研修

内 容 みる・考える・話す・聴くにチャレンジ！
 日 時 1/15（月）、1/29（月） 10：00～13：00
 場 所 愛媛県歴史文化博物館
 講 師 鈴木有紀専門学芸員・担当係長
 参加人数 16 名

㉔東予コミュニティ・カレッジ「愛媛の博物館・研究機関講座」

「絵画で旅する瀬戸内海」

内 容 洋画家・野間仁根の瀬戸内海を描いた作品について
 日 時 1/25（木） 13：30～15：30
 場 所 愛媛県美術館
 講 師 喜安嶺主任学芸員
 参加人数 25 名

㉕ドキュメンタリーネコ@県美 アートをめぐる ―Vol.2 見せること

映画『わたしたちの国立西洋美術館 奇跡のコレクションの舞台裏』上映会アフタートーク

内 容 上映後のアフタートーク
 日 時 1/28（日） 13：00～16：00
 場 所 愛媛県美術館
 講 師 長井健専門学芸員・担当係長、金成めい学芸員
 参加人数 60 名

㉖『第2回写真展うわじま語り』講演会（ミニレクチャー）

内 容 宇和島駅について
 日 時 2/10（土） 14：00～14：30
 場 所 宇和島市生涯学習センター
 講 師 土居聡朋学芸課長
 参加人数 40 名

⑥ J R P S 愛媛支部

内 容 コレクショントークplus・触図体験
 日 時 8/27(日) 13:30~15:30
 場 所 松山市総合福祉センター
 講 師 石崎三佳子専門学芸員・担当係長、田代亜矢子専門学芸員・担当係長、金成めい学芸員、
 横尾真緋学芸員、創作ボランティア
 参加人数 27 名

⑦ 西条市立吉井小学校 小学3年生

内 容 アートカード
 日 時 9/14(木) 13:20~15:00
 場 所 西条市立吉井小学校
 講 師 田代亜矢子専門学芸員・担当係長、横尾真緋学芸員
 参加人数 19 名

⑧ 夢まつり

内 容 コラージュ缶バッジをつくろう
 日 時 12/2・3(土・日) 10:00~16:00
 場 所 愛媛県文化会館
 講 師 田代亜矢子専門学芸員・担当係長、石崎三佳子専門学芸員・担当係長、
 金成めい学芸員、横尾真緋学芸員
 参加人数 138 名

⑨ 公益財団法人 県文化振興財団

内 容 アートカードゲームで美術鑑賞
 日 時 1/16(火) 13:50~15:30
 場 所 西条市立楠川小学校
 講 師 田代亜矢子専門学芸員・担当係長、金成めい学芸員
 参加人数 18 名

⑩ 生涯学習センター「ふれあいフェスタ」

内 容 コラージュ缶バッジ
 日 時 3/2(土) 10:00~15:00
 場 所 愛媛県生涯学習センター
 講 師 石崎三佳子専門学芸員・担当係長、金成めい学芸員
 参加人数 98 名

⑪ 放課後等デイサービスひらり三島ルーム

内 容 大きな風船で遊ぼう
 日 時 3/28(木) 13:00~14:30
 場 所 放課後等デイサービスひらり三島ルーム
 講 師 金成めい学芸員、石崎三佳子専門学芸員・担当係長
 参加人数 18 名

(3) 大学との連携

① 令和5年度 博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習の受け入れを行った。
 実習期間 8/2(水)~7(月) 各9:30~18:00
 受入大学 愛媛大学法文学部、明治学院大学文学部、長崎国際大学人間社会学部
 実習生 4 名

②愛媛大学「博物館資料保存論」

学芸員資格取得のための博物館学課程科目の授業を行った。

日 時 9/21 (木) 13:30~15:30

講 師 杉山はるか専門学芸員、喜安嶺主任学芸員

参加人数 56 名

(4) 調査・委員・審査・原稿執筆

【調査】

内容	主催	実施日	対応者
仏木寺および八幡神社（宇和島市）の文化財調査	愛媛県教育委員会	5/24(金)～25(土)	長井健専門学芸員・担当係長
日吉神社（鬼北町）蔵棟札にかかる文献資料調査	鬼北町教育委員会	12/20（水）	土居聡朋学芸課長
光徳院（松山市）の文化財調査	愛媛県教育委員会	2/1（木）	長井健専門学芸員・担当係長

【委員】

内容	主催	期間	対応者
ギャラリーしろかわ運営審議会委員	西予市立美術館 ギャラリーしろかわ	R 3. 4. 1～ R 5. 3.31	石崎三佳子専門学芸員・担当係長
松山市社会教育委員	松山市教育委員会	R 3.11.15～ R 7.11.14	長井健専門学芸員・担当係長
松山市文化財保護審議会委員	松山市教育委員会	R 5. 4. 1～ R 7. 3.31	長井健専門学芸員・担当係長
史跡河後森城跡調査・整備検討委員会委員	松野町	R 5. 4. 3～ R 6. 3.31	土居聡朋学芸課長・担当係長
佐田岬半島ミュージアム運営協議会	伊方町	R 4. 5.20～ R 7. 5.19	土居聡朋学芸課長
「伊予稲荷神社宝物館」文化財保存管理活用員会	同左	R 4. 5.30～ R 5. 8.31	土居聡朋学芸課長 喜安嶺主任学芸員
「第9回東山魁夷記念日経日本画大賞」推薦委員	日本経済新聞社	R 5. 7.30～ R 6. 6.30	長井健専門学芸員
「第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会」専門委員	第76回全国植樹祭 愛媛県実行委員会		喜安嶺主任学芸員

【審査】

内容	主催	実施日	対応者
全国「かまぼこ板の絵」展覧会審査	文化振興課	5/28（日）	石崎三佳子専門学芸員・担当係長
「第87回香川県美術展覧会」絵画部門審査	香川県立ミュージアム他	6/21（水）	喜安嶺主任学芸員
愛鳥週間ポスター原画コンクール審査	自然保護課	9/12（月）	鈴木有紀専門学芸員・担当係長
明るい選挙啓発ポスターコンクール審査	愛媛県選挙管理委員会	9/27（火）	田代垂矢子専門学芸員・担当係長
障害者週間ポスター審査	愛媛県障がい者社会参加推進センター	9/14（木）	金成めい学芸員
令和4年度県民総合文化祭総合プログラム表紙原画デザイン選考委員会	文化振興課	7/28（金）	土居聡朋学芸課長
緑化キャンペーンポスター原画審査	愛媛の森林基金事務局 （森林整備課）	10/3（火）	喜安嶺主任学芸員
障がい者芸術文化祭～愛顔ひろがるえひめの障がい者アート展～審査	愛媛県障がい者アートサポートセンター	11/24（金）	杉山はるか専門学芸員

【原稿執筆】

内容	掲載誌	執筆者
「愛媛県美術館開館 25 周年記念 大竹伸朗展」	『かゝりび』 令和 5 年 4 月号 (愛媛県警察本部)	杉山はるか専門学芸員
コレクション展Ⅰ「令和 4 年度 新収蔵品展」	『かゝりび』 令和 5 年 5 月号 (愛媛県警察本部)	長井健専門学芸員・担当係長
近代愛媛の博覧会	『近世・近代伊予の人と文化』 令和 5 年 5 月発行 (伊予史 談会)	土居聡朋学芸課長
コレクション展Ⅰ 「コレクション・ハイライトより 特集・杉浦非水」	『かゝりび』 令和 5 年 6 月号 (愛媛県警察本部)	長井健専門学芸員・担当係長
「愛媛県美術館開館 25 周年記念 海洋堂展 創るたのしみをすべての人に」	『かゝりび』 令和 5 年 7 月号 (愛媛県警察本部)	金成めい学芸員
コレクション展Ⅱ「没後 50 年 木和村創爾郎と大宮昇」	『かゝりび』 令和 5 年 8 月号 (愛媛県警察本部)	喜安嶺主任学芸員
「中世文書・書跡」「絵画」	『伊予稲荷神社文化財調査報 告書』 令和 5 年 8 月 31 日発 行	土居聡朋学芸課長 喜安嶺主任学芸員
「無限の造形魂」(海洋堂展作品紹介)	『愛媛新聞』 令和 5 年 8 月 22 日～9 月 4 日 (全 6 回)	金成めい学芸員、 土居聡朋学芸課長
企画展 「愛媛県美術館開館 25 周年記念・学校法人聖カタリナ学 園創立 100 周年記念 ヨハネ・パウロ 2 世美術館展」	『かゝりび』 令和 5 年 9 月号 (愛媛県警察本部)	武田信孝専門学芸員
コレクション展Ⅲ 「開館 25 周年記念 THE BEST COLLECTION」	『かゝりび』 令和 5 年 10 月 号 (愛媛県警察本部)	長井健専門学芸員・担当係長
連載「アートの宝石箱から」 横山大観《曳舟》	『愛媛新聞』 令和 5 年 10 月 1 日	長井健専門学芸員・担当係長
連載「アートの宝石箱から」 畦地梅太郎《老スキーヤー》	『愛媛新聞』 令和 5 年 10 月 24 日	喜安嶺主任学芸員
コレクション展Ⅲ「R5 年度アートの森プロジェクト 森のなぞなぞ美術館Ⅳ「年輪」＝「時間」	『かゝりび』 令和 5 年 11 月 号 (愛媛県警察本部)	鈴木有紀専門学芸員・ 担当係長
連載「アートの宝石箱から」 杉浦非水《土管の雪》橋本興家《雨》	『愛媛新聞』 令和 5 年 11 月 26 日	宇野茉莉花学芸員
連載「アートの宝石箱から」 鈴木松年《山水図》	『愛媛新聞』 令和 5 年 12 月 24 日	岩本成美学芸員
コレクション展Ⅳ「開館 25 周年記念展 Inter-Action— 県美コレクションが生んだ出会いと交流」	『かゝりび』 令和 5 年 12 月 号 (愛媛県警察本部)	岩本成美学芸員、宇野茉莉花 学芸員、横尾真緋学芸員
「作家生活 20 周年記念 コンドウアキのおしごと展」	『かゝりび』 令和 6 年 1 月号 (愛媛県警察本部)	長井健専門学芸員・担当係長
「瀬戸内海国立公園指定 90 周年 わたしのうみ ART / LIFE」	『かゝりび』 令和 6 年 2 月号 (愛媛県警察本部)	喜安嶺主任学芸員
「アトリエより一木版画紹介」	『かゝりび』 令和 6 年 3 月号 (愛媛県警察本部)	石崎三佳子専門学芸員・ 担当係長

5 その他

(1) 第25回愛媛県美術館開館記念イベント

毎年11月27日の開館記念日前後に開館記念日イベントを実施し、多くの方に美術館に親しんでいただく特別な日として祝す。今年は11月19日（日）に鑑賞活動やワークショップ等様々な催しを実施し、県民に対して開かれた賑わいのある美術館づくりを目指した。

①コレクション展の観覧料無料

時 間 9：40～18：00
場 所 常設展示室1・2
内 容 コレクション展の観覧料を無料とする。
参加人数 389 名

②オビ・ペインティング

時 間 10：00～11：00
場 所 前庭
内 容 通行人の目に付きやすい前庭でWSを行い、成果物を設置することで、通行人や公園利用者の入館や記念日の認識を促した。布に5色の霧吹きを吹きかけた。5分ほど経った時に、白い絵の具で上から絵を描いた。
参加人数 35 名

③大地は大きな黒板だ！

時 間 ①11：00～11：30 ②12：30～13：00
場 所 前庭
内 容 石だたみにチョークで大きな絵を自由に描いた。
参加人数 延べ 62 名

④あつまれ！フロアレクチャー

時 間 ①現代 10：30～ ②洋画 11：30～ ③西洋美術 13：00～ ④日本画 15：00～
各20分程度
場 所 常設展示室1
内 容 25周年記念コレクション展の作品からピックアップした作品を各分野の学芸員が子どもから大人まで楽しめるように解説を行った。
参加人数 延べ 131 名

⑤ミュージアムコンサート

時 間 14：00～15：00
場 所 西館講堂
内 容 愛媛交響楽団によるコンサートを、愛媛県美術館開館25周年記念のイベントとして開催した。
参加人数 延べ 120 名

⑥コレクショントーク

時 間 14：00～15：00
場 所 研修室
内 容 現在コレクション展にて展示中の2点の作品を対話型鑑賞法によって鑑賞した。
参加人数 15 名

⑦ケンビのキロク

美術館が過去に発行してきた「カンフォロ」「みるんするん」を、過去の展覧会ポスターと共にエントランスに展示した。共に、「美術館での思い出エピソード」（事前に美術館HP上で公募）をモニターに掲示した。

⑧図録贈呈

②③④⑤⑥⑦（思い出投稿）の参加者、各種SNSの新規フォロワーを対象に過去の展覧会図録を進呈した。

配布冊数 217冊

(2) 愛媛県美術館開館25周年記念・愛媛県美術会友の会発足50周年記念トークイベント

杉浦非水×三越—受け継がれるレガシー：これまでとこれから

日本のモダンデザインのパイオニアとして高く評価される本県松山市出身の図案家・杉浦非水（1876-1965）は、明治末期から昭和初期にかけて、三越図案部に在籍し、看板デザイナーとして活躍した。創業350周年を迎えた同店で、現在非水デザインを使った各種イベントを担当されている畔田隆弘氏と美術館学芸員との対談により、三越のあゆみやブランディングの考え方、受け継がれる非水の理念などを語り合うことで、色あせない非水デザインの魅力について考える機会とした。美術館友の会との共催事業。

日 時 3/17（日）14：00～15：30

場 所 講堂

内 容 杉浦非水が三越の仕事でのこしたレガシーと、現在に至る同店のデザイン・広告活動などについての対談。

講 師 畔田隆弘（株式会社三越伊勢丹 日本橋三越本店 営業統括部 MD計画マネージャー）、長井健 専門学芸員・担当係長

参加人数 47 名

VI 令和5年度 愛媛県美術館文化観光推進事業

愛媛県美術館を中核とした文化観光推進拠点計画においては、愛媛県美術館の強みである「杉浦非水をはじめとする日本デザイン」「俳句文学と美術」に「対話型鑑賞や美術館吟行」等の鑑賞・創作体験を掛け合わせ、「みる・つくる・まなぶ」の先にある、自分だけの「気づき」や「共感」を促す、愛媛でしか味わえない新鮮なアート体験を磨き上げて発信するとともに、「松山城を望むロケーション」を積極的に活用してより裾野を広げた誘客の取込みを図ることを目的に掲げ、5か年計画にて下記の事業を実施する。

【令和5年度12月補正事業】

1 文化資源の魅力増進

デジタルコレクション生成・活用のためのデータベース導入事業
・美術館作品情報管理発信システムの選定・導入及び作品撮影

2 文化資源の理解増進

(1) 美術館吟行スタートアップ事業

観光旅客向け吟行プログラム及びセルフガイド開発・試行として下記の事業を実施した。

①ワーキンググループ開催

日 時 ①1/12(金) ②2/29(木) 各13:30~15:30

参加者 ①10名 ②11名

内 容 ひとりで参加できる俳句体験ツールと美術鑑賞と俳句鑑賞を参加者で共有する講師付きプログラムについて検討した。

②講師付きプログラムの試行(2/29:11名、3/9:15名)

日 時 ①2/29(木) 13:30~15:30、②3/9(土) 10:00~12:00

参加者 ①11名 ②15名

内 容 展示室での個人での鑑賞後の俳句づくりと俳句鑑賞のプログラム、対話型鑑賞後の俳句づくりと俳句鑑賞のプログラムの2種目を試行し、参加者にアンケートを実施した。対話型鑑賞については、見える人、見えない人が一緒に鑑賞する手法で実施した。

③ワークシートによる投句の試行

実施期間 3/13(水)~3/17(日)

投句数 28句

内 容 企画展「わたしのうみ」の作品を題材にワークシートによる俳句体験を5日間試行し、参加者にアンケートを実施した。投句された俳句はWEB上に掲載し、閲覧可能とした。

(2) みる冒険推進事業

所蔵品3点の触図を作成し、さわれる素材キット及び手でみるマップ作製準備を行った。

①触図作成(3種×3部)

作品名 《アンドレ・ボナール嬢の肖像 画家の妹》 ピエール・ボナール

階層毎に背景・人物・犬に3分割し分かりやすく触図を制作

《東京自然旅行(毎日グラフ1973年7月1日号)》真鍋博

写真に作家が加筆した作品のため、写真・加筆部分・加筆部分をパズルに分割制作

「共通する形を探してみよう(杉浦非水)」

図案化:杉浦非水の渦巻きに着目し、渦巻きが描かれている4点を触図に制作

②さわれる素材キット及び手でみるマップのための意見聴取

日 時 2/7(水)、3/6(水) 各15:30~16:30

参加者 のべ31名(コレクショントークplusに参加された視覚障がい者を含む方たち)

内 容 館内マップの活用方法、日本語の分からない旅客者や視覚障がい者の方でも分かりやすい館内マップとして、触れるマップのイメージを共有しながら、意見聴取を行った。

3 文化観光の広報

美術館ホームページ改修方針分析事業

県デジタルシフト推進課と連携し、ホームページの現状分析及び改修方針策定した。

4 施設・設備の整備

主要コレクション展示環境魅力向上事業

スポットLED照明の整備及び照明演出技術の改善を行った。

Ⅶ 貸館事業

1 展示施設の利用方法

県民の美術活動の推進及び創作成果の発表の場として、本館特別展示室（1～3）、講堂、研修室、南館県民ギャラリー（1～12）、を有料で貸与している。

(1) 仮受付

使用日の1年前の月の初日に仮受付を行う。ただし、研修室のみ使用日の6ヶ月前からの仮受付となる。

(2) 申請

使用日の2ヶ月前頃に、使用許可申請書の様式を利用者に発送し、使用者の申請により使用を許可する。

(3) 使用料納付

使用許可後、納付通知書を利用者に送付し、利用者は、使用前に納入する。

(4) 利用時間及び休館日

利用時間：午前9時40分～午後6時。

休館日：毎週月曜日（第1月曜日を除く）、第1月曜日の翌日及び12月29日～1月3日。

（祝日及び振替休日にあたる場合は、その翌日）

(5) 搬出入

貸館は、原則として1週間単位で実施している。（講堂、研修室は除く。）

搬入は使用期間内の初日に、搬出は日曜日に実施している。

(6) 使用料

別表のとおり。

区 分			使用料(1日)	
本館	特別展示室1	入場料が無料の場合	5,070円	
		入場料が有料の場合	8,110円	
	特別展示室2	入場料が無料の場合	3,570円	
		入場料が有料の場合	5,710円	
	特別展示室3	入場料が無料の場合	5,930円	
		入場料が有料の場合	9,480円	
	講堂	入場料が無料の場合	午前9時40分から正午まで	1,840円
			午後1時から午後6時まで	3,060円
			全日(午前9時40分から午後6時まで)	4,900円
		入場料が有料の場合	午前9時40分から正午まで	2,940円
			午後1時から午後6時まで	4,890円
			全日(午前9時40分から午後6時まで)	7,830円
	研修室	午前9時40分から正午まで		2,030円
		午後1時から午後6時まで		2,650円
		全日(午前9時40分から午後6時まで)		4,680円
南館	県民ギャラリー1		15,110円	
	県民ギャラリー2		11,870円	
	県民ギャラリー3		3,230円	
	県民ギャラリー4		4,310円	
	県民ギャラリー5		4,310円	
	県民ギャラリー6		2,150円	
	県民ギャラリー7		2,150円	
	県民ギャラリー8		6,470円	
	県民ギャラリー9		2,800円	
	県民ギャラリー10		2,900円	
	県民ギャラリー11		2,900円	
	県民ギャラリー12		3,230円	
すべての県民ギャラリー		54,480円		

2 展示施設の利用状況

本館

展覧会名		会期	展示室	日数	内容	入場者数	観覧料
4月	第71回春季県展	4/18～4/26	特別展示室1～3	8	アンデパンダン方式の公募展	2,486	一般・団体(600円・500円)、高齢者高大生・団体(400円・300円)
5年4月合計				8		2,486	
5月	星野文昭・暁子さん詩画展	5/12～5/14	特別展示室1	3	星野文昭さんの絵と暁子さんの詩の展示	156	無料
	RUBY 婚展サブタイトル水辺の風景&中央ヨーロッパ展	5/12～5/23	特別展示室3	10	結婚40周年(ルビー婚式)を記念して開催する夫婦が制作した絵画作品展(油絵)	775	無料
	野村融個展「幻視紀行」	5/26～5/31	特別展示室1	5	油彩画の展示	200	無料
5年5月合計				18		1,131	
6月	西陣美術織 伊藤若冲展	6/7～6/11	特別展示室1・2	5	西陣美術織物の展示	456	無料
	第24回いろどりの書作展	6/14～6/18	特別展示室1～3	5	書作品の展示	431	無料
	領土・主権展示館地方巡回展 in 松山	6/21～7/2	特別展示室1～3	11	パネル展	非公開※	無料
5年6月合計				21		887	※非公開分は除く
7月	第53回世界児童画展四国展	7/22～7/23	特別展示室1～3	2	3歳～15歳までの日本及び海外の児童画の展示(四国各県の入賞者の作品展示が主)	493	無料
	第22回地域交流・スマイルキッズ美術展	7/26～7/30	特別展示室1～3	5	障がいのある人たちを中心に彼らを支える地域の児童生徒や園児、芸術活動家たちによる美術作品の展示	1,035	無料
5年7月合計				7		1,528	
8月	「水のマンガラ」伊藤茂明展	8/1～8/6	特別展示室3	6	④蓮(浄土)⑤万有引力(天と地)⑥青い雪(戦争・災害)⑦ZEN(平和・希望)平面(4シリーズ)にて1作品	109	無料
	第53回松山市高齢者趣味の作品展	8/25～8/27	特別展示室1・2	3	絵画、絵画以外の絵、書道、写真/絵手紙、陶芸、工芸(彫刻)、皮革工芸、手芸、俳句、川柳、短歌	664	無料
5年8月合計				9		773	
9月	第51回愛媛新興美術展	9/13～9/17	特別展示室1	5	日本画約35点	710	無料
	2023年公募「近美四国美術展」	9/13～9/17	特別展示室2・3	5	洋画、日本画、水彩画など平面作品の展示	798	無料
	アルベルト・カルペンティール展	9/23～10/9	特別展示室1～3	15	絵画、版画、工芸ほか	1,913	無料
5年9月合計				25		3,421	
10月	21世紀えひめの伝統工芸大賞審査会・展示会等	10/14～10/15	特別展示室1～3	2	愛媛県の伝統工芸品の作家等による新作を対象としたコンテスト。令和5年度の全出品作品を展示するほか、来場者が審査に参加できる一般投票も実施。	223	無料

展覧会名		会期	展示室	日数	内容	入場者数	観覧料
10月	40周年記念 写真家栗田賢二写真展	10/20～10/29	特別展示室1・2	9	写真展示	617	無料
	あの作品をもう一度	10/24～10/29	特別展示室3	6	タペストリー展示	405	無料
5年10月合計				17		1,245	
11月	習い性となり、躓く Habit becomes a sexuality, stumbled upon	11/1～11/6	特別展示室2	6	映像、 インスタレーション	194	無料
	第50回公募墨雲書道展	11/9～11/12	特別展示室1～3	4	書道、 練習の成果発表	487	無料
	カワベジュセイ首かり二百余人展	11/15～11/19	特別展示室1～3	5	絵画、立体、インス タレーションなど	550	無料
	“88の宇宙” 四国八十八ヶ所アートの旅	11/22～11/26	特別展示室1	5	絵画作品展	440	無料
	通過展	11/22～11/26	特別展示室2・3	5	絵画・彫刻等の愛媛 大学教育学部美術教 育講座の作品	326	無料
	障がい者芸術文化祭～愛顔ひろが るえひめの障がい者アート展～	11/30～12/10	常設展示室2	10	絵画、書。陶芸、 その他立体作品	1,590	無料
5年11月合計				35		3,587	
12月	鈴木敏夫とジブリ展	12/9～1/28	特別展示室1～3	41	スタジオジブリプロ デューサー鈴木敏夫 を中心にこれまでの 作品の制作秘話や フォトスポットで作品 の魅力を紹介。	122,911	一般1,900円、 中高生1,600円、 小学生1,100円
5年12月・6年1月合計				41		122,911	
2月	みんなの空間 ～ We are what we do ～	2/7～2/12	特別展示室2	6	アクリル画	130	無料
	大森達夫写真展	2/8～2/12	特別展示室1	5	白黒写真などの 作品展	247	無料
	Sustainable Bird's Exhibition (建築家と鉄工作家によるサステイ ナブルアート)	2/10～2/12	特別展示室3	3	ものづくりの現場で 出る廃材を利用した アート作品の展示。 テーマは「鳥」建築 家上田英和と鉄工作 家西永拓郎によるそ れぞれの解釈による サステイナブルアート 展。廃材による立体 造形、ミクスメディア	186	無料
	済生会松山乳児保育園 第11回いのちかがやく 子ども美術展	2/16～2/18	特別展示室1～3	3	絵、造形、写真	423	無料
6年2月合計				17		986	
3月	公募第39回地展 「四国・花の里を描く絵画展」	3/6～3/10	特別展示室1～3	5	四国の花の里を描い た絵画作品の展示	889	無料
	第22回 えひめ児童版画コンクール 「天才ちるどれん」	3/20～3/24	特別展示室1～3	5	愛媛県内の小学生の 版画展	880	無料
	エヒメノタマビてん3	3/26～3/31	特別展示室1・2	6	多摩美術大学の卒業 生や生徒の美術作品 の展示	577	無料
	ムサメ展 2024	3/26～3/31	特別展示室3	6	油絵、アクリル画等	652	無料
6年3月合計				22		2,998	
5年度合計				220		141,953	※非公開分は 除く

南館

展覧会名		会期	展示室	日数	内容	入場者数	観覧料		
4月	象社の書28	3/29～4/2	ギャラリー1	5	前衛書を中心とした書作品	164	無 料		
	第22回幽仙会展	4/3～4/9	ギャラリー3	7	表装・俳画・絵手紙の展示	200	無 料		
	第71回春季県展	4/18～4/26	ギャラリー1～12	8	アンデパンダン方式の公募展	3,956	区分	当日	団体
							一般	600円	500円
							65歳以上	400円	300円
							高大生	400円	300円
							無料：小中生、障がい者		
5年4月計				20		4,320			
5月	チャリティー展示会「#平和の桜」2023	5/5	ギャラリー6	1	イラスト、書、水引作品の展示	20	無 料		
	第12回・60周年記念肱南書学院展	5/9～5/14	ギャラリー1～12	6	書道(毛筆・硬筆)の作品展示	1,047	無 料		
	第59回二科四国合同展	5/17～5/21	ギャラリー2	5	絵画・彫塑	392	無 料		
	第5回Photo愛写真展	5/17～5/21	ギャラリー10	5	写真	636	無 料		
	新女流美術2023展	5/24～5/28	ギャラリー2	5	洋画・日本画等の展示	675	無 料		
	第5回モラとモラ作品展 カリブの民族手芸	5/24～5/28	ギャラリー5	5	現地モラとモラ 作品展示	485	無 料		
	第79回フォトクラブていれぎ展	5/23～5/28	ギャラリー6	6	写真	424	無 料		
	第19回松山すみれ会押花作品展	5/25～5/28	ギャラリー1	4	押花額の展示	583	無 料		
2023コピスの会・絵画展	5/30～6/4	ギャラリー2	6	日本画の展示	379	無 料			
5年5月計				43		4,641			
6月	第57回愛媛現代美術家集団現美展(松山展)	6/7～6/11	ギャラリー2・3・7	5	洋画・日本画・写真	302	無 料		
	第3回愛媛の愛刀展	6/13～6/24	ギャラリー1	11	日本刀を中心とした 武具類等の展示	949	無 料		
	日本版画会四国支部展	6/27～7/2	ギャラリー6・7	6	版画	272	無 料		
	第37回春風会書展	6/30～7/2	ギャラリー1	3	書道作品約70点	420	無 料		
5年6月計				25		1,943			
7月	第16回いよぎん趣味の作品展	7/5～7/13	ギャラリー1～7	8	洋画・日本画・書道・ 写真・工芸の作品展示	827	無 料		
	第46回愛媛女流書家連盟展	7/19～7/23	ギャラリー1・2・3・7	5	書作品	1,353	無 料		
	第59回愛媛水彩展	7/19～7/23	ギャラリー9・10・12	5	水彩画	455	無 料		
	創元会愛媛支部展	7/25～7/30	ギャラリー1	6	油絵・水彩画	655	無 料		
	第19回えひめ版画協会展	7/25～7/30	ギャラリー3	6	えひめ版画協会員7名 による作品35点余りの 展示会	220	無 料		
	「アートの現場をつくるワークショップ+共有のための対話会」障がいのある人の表現活動推進事業	7/28～7/29	ギャラリー9・10	2	障がいのある方が参加するアートのワークショップ	50	無 料		
5年7月計				32		3,560			
8月	第10回SOC写真展	8/1～8/6	ギャラリー6	6	風景写真	205	無 料		
	第51回書芸展	8/9～8/13	ギャラリー1～7	5	書道作品	1,273	無 料		
	2023アトリエIGANDA OB展	8/16～8/20	ギャラリー5・6	5	絵画、彫刻、イラスト、アクセサリー、プロダクト	141	無 料		
	「アートの現場をつくるワークショップ+共有のための対話会」障がいのある人の表現活動推進事業	8/19～8/20	ギャラリー9・10	2	障がいのある方が参加するアートのワークショップ	78	無 料		
	第74回毎日書道展四国展	8/23～8/27	ギャラリー1～12	5	毎日書道会の役員、四国在住の書家の入賞作品など約800点を展示	3,715	一般	500円	
						大学生	300円		
						高校生以下、65歳以上無料			

展覧会名		会期	展示室	日数	内容	入場者数	観覧料		
8月	第42回書神会全国書道展覧会	8/31～9/3	ギャラリー1～12	4	書道作品	770	無 料		
5年8月計				27		6,182			
9月	第33回愛媛独立書展	9/6～9/10	ギャラリー1～7	5	書道作品展示	1,355	無 料		
	松山大学写真部OB展	9/6～9/10	ギャラリー8・9・12	5	写真作品展示	170	無 料		
	第11回新作能面展	9/6～9/10	ギャラリー11	5	能面、狂言面等の展示	324	無 料		
5年9月計				15		1,849			
10月	令和5年度県民総合文化祭 第71回秋季県展（前期）	10/2～10/9	ギャラリー1～12	7	県民各層より美術作品を公募し、入選、入賞作品約1,500点を展示（日本画・彫刻・工芸・書道）	3,166	区分	当日	団体
					一般		600円	500円	
					65歳以上		400円	300円	
				高大生	400円		300円	無料：小中生、障がい者	
	令和5年度県民総合文化祭 第71回秋季県展（後期）	10/13～10/20	ギャラリー1～12	7	県民各層より美術作品を公募し、入選、入賞作品約1,500点を展示（洋画・版画・写真・デザイン）	3,553	区分	当日	団体
					一般		600円	500円	
					65歳以上		400円	300円	
					高大生		400円	300円	無料：小中生、障がい者
	ねんりんピック愛媛の えひめ2023美術展（減免）	10/28～11/3	ギャラリー1～12	11	全国の高齢者の創作による、日本画、洋画、彫刻、工芸、書及び写真の作品を展示	25,130	無 料		
5年10月計				25		31,849			
11月	2023 松山国際写真集団展	11/8～11/12	ギャラリー3	5	写真	398	無 料		
	「アジアの写真家たち モンゴル」特別展	11/8～11/12	ギャラリー4	5	写真50枚	398	無 料		
	第21回 牛子華中国水墨山水画研究会展	11/8～11/12	ギャラリー6・7	5	水墨画の作品展示	271	無 料		
	第19回 愛媛一先会かな書展	11/10～11/12	ギャラリー1	3	書道展	281	無 料		
	令和5年度県民総合文化祭 第37回愛媛県高等学校総合文化祭（減免）	11/16～11/19	ギャラリー1～12	4	県内の高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒による美術・工芸、書道、写真部門の総合的な作品展	1,059	無 料		
	アルタミラピクチャーズ 映画ポスター展（減免）	11/21～12/3	ギャラリー8	12	映画製作会社アルタミラピクチャーズを設立した愛媛県出身の榊井省志が映画監督らと手掛けた映画ポスターを展示	228	無 料		
	第45回 愛媛双樹会展	11/22～11/26	ギャラリー3	5	日本画、洋画、水彩画、水墨画、陶芸	394	無 料		
	令和5年度県民総合文化祭 第20回中学生美術作品展（減免）	11/23～11/26	ギャラリー1・2	4	県内の中学生が制作した美術作品を展示（コンクールではなく、参加を希望する学校ごとに出展）	366	無 料		
	第30回 書神会松山支部展	11/25～11/27	ギャラリー5～7	3	書道作品展示	218	無 料		
	CCE AWARD 2023	11/24～11/25	ギャラリー9～12	2	愛媛県のクリエイターの作品展示（ポスターやチラシ広告、動画、Webサイト等）及び特別審査員+クリエイターズクラブ愛媛の会員+来場者による作品の審査・投票を実施。	146	無 料		
第40回記念産経国際書展四国展	11/29～12/3	ギャラリー1～7	5	書会幹部、中四国出品書道作品の展示	607	無 料			
5年11月計				53		4,366			

展覧会名		会期	展示室	日数	内容	入場者数	観覧料
12月	第7回 愛媛水墨画会展	12/6～12/10	ギャラリー5～7	5	水墨画の作品展示	306	無 料
	第50回 松山市医師会 趣味の美術展	12/13～12/17	ギャラリー1	5	書、絵画、写真 等	314	無 料
	済美展2023 第64回 済美高等学校 美術科卒業制作展	12/13～12/17	ギャラリー 2・5～7	5	美術科3年生の卒業制作作品の展示、1・2年生の作品展示	1,086	無 料
	済美展2023 (済美幼稚園)	12/13～12/17	ギャラリー3・4	5	園児作品 (絵画、制作物、習字)	908	無 料
	第40回愛媛県高等学校 書道教員書作展 (減免)	12/19～12/24	ギャラリー1	6	書道作品	241	無 料
	第47回 愛光幼稚園舎作品展	12/20～12/23	ギャラリー8～12	4	水彩画・土粘土	1,325	無 料
5年12月計				30		4,180	
1月	第51回えひめこども美術展 (減免)	1/4～1/14	ギャラリー1～12	11	愛媛県在住の幼児、児童生徒の平面、立体、書写など約1,000点の作品を展示	5,275	無 料
	第48回書界展	1/17～1/21	ギャラリー1～12	5	書道作品展示	2,686	無 料
	第6回愛媛県高等学校美術教員作品展 (減免)	1/24～1/28	ギャラリー 2・3・7	5	絵画、彫刻、デザイン、工芸、インスタレーション作品展示	646	無 料
	第59回 愛媛県立松山南高等学校 砥部分校デザイン科卒業制作展	1/25～1/30	ギャラリー8～12	6	作品展示 (グラフィックデザイン、CG、絵画、立体、陶芸)	891	無 料
第35回愛媛県高等学校文化連盟写真展	1/31～2/4	ギャラリー3～6	5	写真	322	無 料	
6年1月計				32		9,820	
2月	第71回 愛媛県学生書道展	2/10～2/11	ギャラリー2～7	2	県下の学生の書作品の展示	932	無 料
	第62回 愛媛県学生書道展	2/17～2/18	ギャラリー9～12	2	県下小・中・高等学校から集まった書道作品のうち、特別賞16点、特選48点、秀作210点を展示	290	無 料
	愛媛大学書道部展	2/21～2/25	ギャラリー2・7	2	書作品の展示	194	無 料
	第6回 Photo愛 写真展	2/21～2/25	ギャラリー10	5	写真	643	無 料
	松山市中学校美術科教員展	2/24～2/25	ギャラリー3	2	美術作品の展示	97	無 料
	第49回 愛媛県美術館友の会美術展	2/28～3/3	ギャラリー3～7	4	洋画・日本画・書道・かな書道・工芸・写真	518	無 料
6年2月計				17		2,674	
3月	砂田澄子絵画展 ～ベネツィアに魅せられて～	3/4～3/10	ギャラリー1	7	油絵・水彩画・写真	883	無 料
	震災復興13年の歩み展	3/6～3/10	ギャラリー5	5	東日本大震災復興写真の展示	319	無 料
	震災復興13年の歩み展協賛 小林美蓉書画展	3/6～3/10	ギャラリー6	5	東日本大震災復興支援活動と書画展	231	無 料
	第13回アトリエ版画グループ展	3/12～3/17	ギャラリー3	6	版画	274	無 料
	全日本写真連盟愛媛県本部 2023年入賞作品展示会	3/13～3/17	ギャラリー4	5	写真	157	無 料
第五十五回洗心書道会全国書道展	3/27～3/31	ギャラリー 1～9・11～12	6	書作品	810	無 料	
6年3月計				34		2,674	
令和5年度合計				353		78,058	

Ⅷ 入館者の状況

本館・南館

年 月	総入館者数	常 設 展					企 画 展				
		総観覧者	有料観覧者	無料観覧者	開催日数	一日平均	総観覧者	有料観覧者	無料観覧者	開催日数	一日平均
10～4年度合計	8,515,507	1,138,076	115,147	1,022,929	6,892	165.13	2,985,170	2,245,471	739,699	5,663	527.14
5年4月	15,065	1,243	593	650	26	47.81	0	0	0	0	—
5年5月	21,611	2,241	297	1,944	26	86.19	6,136	4,273	1,863	25	245.44
5年6月	21,870	2,639	205	2,434	26	101.50	6,951	4,779	2,172	26	267.35
5年7月	32,207	1,248	282	966	21	59.43	5,797	4,185	1,612	10	579.70
5年8月	61,891	1,502	200	1,302	27	55.63	15,411	12,128	3,283	27	570.78
5年9月	50,657	1,726	274	1,452	26	66.38	12,580	8,941	3,639	23	546.96
5年10月	51,159	2,526	481	2,045	26	97.15	5,048	3,231	1,817	26	194.15
5年11月	20,691	1,990	374	1,616	22	90.45	4,722	3,400	1,322	23	205.30
5年12月	54,849	938	230	708	24	39.08	0	0	0	0	—
6年1月	110,224	327	61	266	5	65.40	1,943	1,129	814	10	194.30
6年2月	16,624	0	0	0	0	—	6,736	4,141	2,595	25	269.44
6年3月	21,456	142	80	62	2	71.00	7,817	4,655	3,162	22	355.32
5年度合計	478,304	16,522	3,077	13,445	231	71.52	73,141	50,862	22,279	217	337.06
総 計	8,993,811	1,154,598	118,224	1,036,374	7,123	162.09	3,058,311	2,296,333	761,978	5,880	520.12

年 月	施設利用人数							自主事業参加者(再掲)		備考
	県民 アトリエ※1	その他 (南館相談等)	県民 ギャラリー	多目的ルーム (ハイビジョン ギャラリー)等	図書 コーナー	その他 (講堂・研修室 ・特別展示室ほか)	計	講座	その他※2	
10～4年度合計	370,390	278,977	2,220,283	82,971	235,812	1,203,828	4,392,261	27,816	52,644	
5年4月	470	1,135	4,320	0	429	7,468	13,822	0	1,080	
5年5月	455	944	4,344	279	569	6,643	13,234	111	818	
5年6月	521	1,049	1,775	831	603	7,501	12,280	8	2,533	
5年7月	469	1,123	4,025	116	668	18,761	25,162	3	1,944	
5年8月	521	1,382	5,504	13	804	36,754	44,978	10	471	
5年9月	479	1,468	2,545	48	779	31,032	36,351	0	1,210	
5年10月	537	1,286	31,849	12	821	9,080	43,585	7	1,912	
5年11月	507	1,118	3,778	16	860	7,700	13,979	183	468	
5年12月	452	1,186	4,768	14	597	46,894	53,911	0	576	
6年1月	471	1,409	9,518	13	908	95,635	107,954	0	128	
6年2月	510	979	2,523	27	927	4,922	9,888	6	283	
6年3月	505	1,168	3,132	28	736	7,928	13,497	125	285	
5年度合計	5,897	14,247	78,081	1,397	8,701	280,318	388,641	453	11,708	
総 計	376,287	293,224	2,298,364	84,368	244,513	1,484,146	4,780,902	28,269	64,352	

※1 施設利用人員の「県民アトリエ」には、友の会実技教室も含まれる。

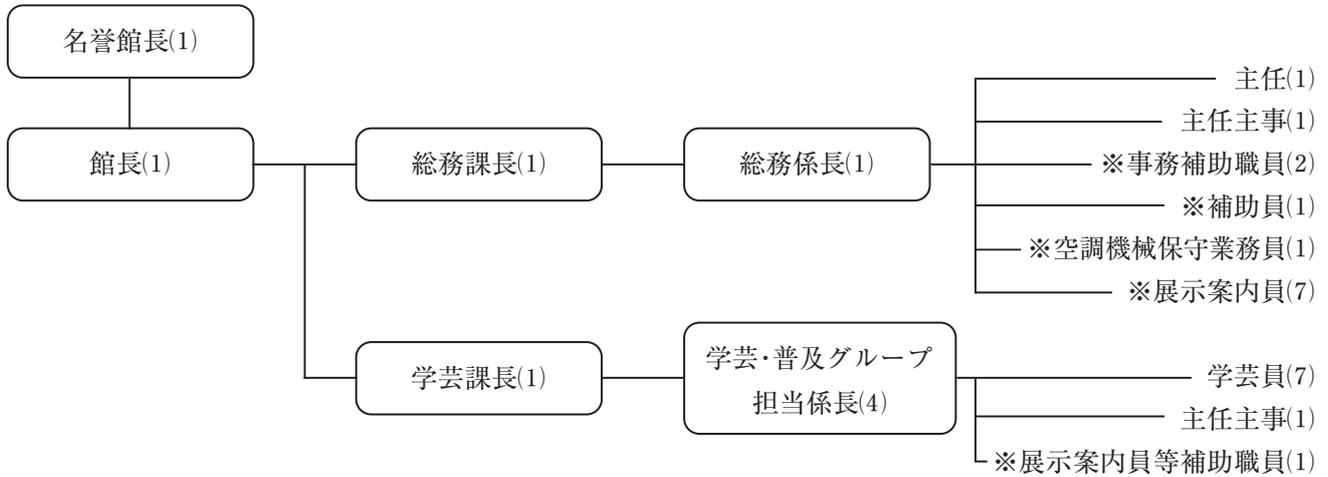
※2 エントランス等にて開催された、美術館主催による事業の参加人数

IX 組織及び職員構成

1 組織図

令和6年3月31日現在

職員数 / 31名



(※会計年度任用職員)

2 職員名簿

職名	氏名	職名	氏名
名誉館長	玉井日出夫	学芸課長	土居 聡 朋
館長	武智 公 博	学芸・普及 G担当係長	長 井 健
総務課	総務課長	〃	鈴木 有 紀
	総務係長	〃	田代 亜 矢 子
	主任	〃	石 崎 三 佳 子
	主任主事 (再任用)	専門学芸員	武 田 信 孝
学芸課		〃	杉 山 は る か
		主任学芸員	喜 安 嶺
		学芸員	金 成 め い
		〃	宇 野 茉 莉 花
		〃	横 尾 真 緋
		〃	岩 本 成 美
		主任主事 (再任用)	黒 田 秀 嗣

(※会計年度任用職員除く)

X 愛媛県美術館協議会委員名簿

令和6年3月31日現在

役 職	氏 名	現 職
会 長	本田 元広	(株)愛媛銀行会長
副会長	吉田 恭三	愛媛県美術会会長
委 員	梶岡 秀一	京都国立近代美術館情報資料室長・主任研究員
〃	稲畑ルミ子	名勝依水園・寧楽美術館 評議員
〃	佐藤 優香	東京大学大学院情報学環客員研究員
〃	岡 厚子	セキ美術館副館長
〃	福島 泰正	愛媛県教育研究協議会 図工・美術委員長
〃	菊池 博喜	愛媛県高等学校教育研究会 芸術部会副部長
〃	神野 文	愛媛県PTA連合会副会長
〃	栗田 まや	(公募)

設置：平成12年7月21日（任期：2年）

XI 関係法規（令和5年4月1日現在）

1 愛媛県美術館使用料条例

（使用料の徴収）

第1条 愛媛県美術館（以下「美術館」という。）を使用する者から、この条例の定めるところにより、使用料を徴収する。

（使用料の額）

第2条 前条に規定する使用料（以下「使用料」という。）の額は、別表に定める額の範囲内で知事が定める額とする。

2 前項に定めるもののほか、特別の企画による展示に係る観覧料は、当該特別の企画による展示に要する費用を勘案して知事がその都度定める額とする。

（使用料の納付時期）

第3条 使用料は、美術館の使用の前に納付しなければならない。ただし、知事が必要と認めるときは、後納させることができる。

（使用料の減免）

第4条 知事は、特に必要と認める者に対しては、その使用料を減免することができる。

（使用料の不還付）

第5条 既に納付した使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。

- (1) 天災その他美術館を使用する者の責めに帰すことができない理由により使用が不能となったとき。
- (2) 別表施設使用料の項に掲げる施設を使用する者又は美術館が収集し、保管し、若しくは展示する美術品及び美術に関する資料の閲覧、撮影、複写、模写、模造等若しくはこれらにより得たものの展示若しくは刊行物への掲載（以下「特別利用」という。）をする者が知事が定める日までに使用又は特別利用の取消しを申し出て、知事がやむを得ないと認めたとき。

（委任）

第6条 この条例に定めるもののほか、使用料の徴収に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成10年10月1日から施行する。

附 則(平成12年3月24日条例第30号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成16年3月26日条例第18号)

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成21年3月24日条例第28号)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、この条例の施行の日以後の許可に係る特別利用について適用する。

附 則(平成26年3月28日条例第9号抄)

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

3 第16条の規定による改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、施行日以後の使用に係る使用料で、施行日以後にその全額又は未徴収額について徴収するものについて適用し、施行日前の使用に係る使用料及び施行日以後の使用に係る使用料で、施行日前にその全額について徴収したものについては、なお従前の例による。

附 則(平成29年3月24日条例第5号抄)

（施行期日）

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

3 第16条の規定による改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、施行日以後の使用に係る使用料で、施行日以後にその全額又は未徴収額について徴収するものについて適用し、施行日前の使用に係る使用料及び施行日以後の使用に係る使用料で、施行日前にその全額について徴収したものについては、なお従前の例による。

附 則(令和元年7月9日条例第3号抄)

（施行期日）

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

3 第15条の規定による改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、施行日以後の使用に係る使用料で、施行日以後にその全額又は未徴収額について徴収するものについて適用し、施行日前の使用に係る使用料及び施行日以後の使用に係る使用料で、施行日前にその全額について徴収したものについては、なお従前の例による。

附 則(令和2年3月27日条例第9号抄)

（施行期日）

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月26日条例第4号抄)

1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

3 第10条の規定による改正後の愛媛県美術館使用料条例別表の規定は、施行日以後の試験、検査、鑑定、調査、研究、分析又は使用（以下「試験等」という。）に係る使用料で、施行日以後にその全額又は未徴収額について徴収するものについて適用し、施行日前の試験等に係る使用料及び施行日以後の使用に係る試験等に係る使用料で、施行日前にその全額について徴収したものについては、なお従前の例による。

別表(第2条、第5条関係)

種別		単位	金額
常設展観覧料		1人1回につき	500円
施設 使用料	展示室	1室1日につき	29,450円
	講堂	1日につき	7,830円
	研修室	1日につき	4,680円
	県民 ギャラリー	全室使用	1日につき
単室使用		1室1日につき	15,110円
特別利用料		1点1回につき	5,500円

2 愛媛県美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、愛媛県美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 美術館は、博物館法(昭和26年法律第285号)第3条第1項に掲げる事業を行う。

(開館時間)

第3条 美術館の開館時間は、午前9時40分から午後6時までとする。

2 館長は、特別の事情があると認めるときは、前項に規定する開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）

(2) 1月1日から3日まで及び12月29日から31日まで
2 館長は、特別の事情があると認めるときは、臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。

(入館の制限)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当すると認められる者については、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 美術館の秩序を乱し、又は乱すおそれのある者
- (2) 美術館が収集し、保管し、若しくは展示する美術品及び美術に関する資料（以下「美術館の美術品等」という。）又は美術館の施設、附属設備等を滅失し若しくは損傷し、又は滅失し若しくは損傷するおそれのある者
- (3) その他美術館の職員の指示に従わない者

(観覧券の交付)

第6条 館長は、美術館が展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者が観覧料を納付したときは、観覧券を交付する。

(使用の許可)

第7条 美術館の施設のうち、次の各号に掲げる施設を使用しようとする者は、それぞれ当該各号に定める期間内に愛媛県美術館使用許可申請書（様式第1号。以下「使用許可申請書」という。）を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(1) 企画展示室、常設展示室、特別展示室、講堂及び県民ギャラリー 使用日の1年前から7日前まで

(2) 研修室 使用日の6月前から2日前まで

2 館長は、前項の規定による使用の許可の申請があった場合において、使用が適当であると認めるときは、使用の許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県美術館使用許可書(様式第2号。以下「使用許可書」という。)を交付するものとする。この場合において、美術館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、許可に条件を付することができる。

3 館長は、第1項に定める期間外に使用許可申請書の提出があった場合であっても、特に理由があると認めるときは、同項の使用の許可をすることができる。

(許可の基準)

第8条 館長は、美術館を使用しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前条第1項の使用の許可をしないものとする。美術館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

(1) 美術館の秩序を乱すおそれがあるとき。

(2) 美術館の美術品等又は美術館の施設、附属設備等を滅失し、又は損傷するおそれがあるとき。

(使用の許可の変更)

第9条 第7条第1項の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用日時、入場料徴収の有無その他知事が定める事項を変更しようとするときは、あらかじめ愛媛県美術館使用変更許可申請書(様式第3号)に使用許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(使用の許可の取消し等)

第10条 館長は、使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その使用の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。美術館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

(1) この規則に違反し、又は美術館の職員の指示に従わないとき。

(2) 偽りその他不正な手段により使用の許可を受けたとき。

(3) 風俗を乱すおそれがあるとき。

(4) 使用の許可の条件に違反したとき。

(使用料の額)

第11条 愛媛県美術館使用料条例（平成10年愛媛県条例第26号。以下「条例」という。）第2条第1項に規定する知

事が定める使用料の額は、別表に掲げるとおりとする。

(観覧料の減免)

第12条 知事は、条例第4条の規定に基づき、次に掲げる者に対しては、観覧料を免除する。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として、展示室を観覧する県内の高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の生徒及びその引率者並びに展示室を観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒の引率者
- (2) 身体に障害を有する者で、本人又はその保護者が身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けているもの及びその介護者
- (3) 療育手帳(知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。)の交付を受けている者及びその介護者
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者
- (5) 65歳以上の者

2 知事は、前項に定めるもののほか、必要と認めるときは、条例第4条の規定に基づき、観覧料を免除し、又はその一部を減額することがある。

3 前2項の規定にかかわらず、特別の企画による展示に係る観覧料の減免については、知事がその都度定める。

4 第1項第1号の規定により観覧料の免除を受けようとするときは、あらかじめ、学校長が愛媛県美術館観覧料免除申請書(様式第4号)を知事に提出しなければならない。

5 第1項第2号から第5号までの規定により観覧料の免除を受けようとする者は、これらの規定に該当することを証する書類を提示しなければならない。

(特別利用料の減免)

第13条 知事は、条例第4条の規定に基づき、次に掲げる者に対しては、特別利用(条例第5条第2号に規定する特別利用をいう。以下同じ。)に係る使用料(以下「特別利用料」という。)を免除する。

- (1) 美術に関する教育、学術上の調査研究又は啓発のために特別利用をする者で、知事が必要と認めるもの
- (2) 美術館の広報に関し効果があると認められる用途に供することを目的として特別利用をする者

2 知事は、前項に定めるもののほか、必要と認めるときは、条例第4条の規定に基づき、特別利用料を免除し、又はその一部を減額することがある。

(使用料の還付)

第14条 条例第5条第2号に規定する知事が定める日は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 企画展示室、常設展示室、特別展示室、講堂及び県民ギャラリー 使用日の30日前の日
- (2) 研修室 使用日の7日前の日
- (3) 美術館の美術品等 特別利用日の前日

第15条 条例第5条ただし書の規定により、知事は、次の各号に掲げる場合においては、それぞれ当該各号に定める額を還付する。

- (1) 条例第5条第1号に該当する場合 使用料の全額
- (2) 条例第5条第2号に該当する場合 使用料の50パーセントに相当する額

2 前項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、愛媛県美術館使用料還付申請書(様式第5号)を知事に提出しなければならない。

(美術館の美術品等の特別利用)

第16条 美術館の美術品等の特別利用をしようとする者は、愛媛県美術館美術品等特別利用許可申請書(様式第6号)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、当該美術館の美術品等が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該美術館の美術品等の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

2 館長は、前項の規定による特別利用の許可の申請があった場合において、特別利用が適当であると認めるときは、特別利用の許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県美術館美術品等特別利用許可書(様式第7号)を交付しなければならない。この場合において、美術館の美術品等の管理上必要があると認めるときは、許可に条件を付することがある。

(美術館の美術品等の館外貸出し)

第17条 館長は、美術館の業務に支障がない場合であって、美術に関する学術上の調査研究又は啓発のために特に必要と認められ、かつ、美術館の美術品等の取扱い上の安全が確認できるときは、美術館の美術品等の館外貸出しを行うことができる。

2 前項の規定により美術館の美術品等の館外貸出しを受けようとする者は、愛媛県美術館美術品等館外貸出し許可申請書(様式第8号)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、当該美術館の美術品等が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該美術館の美術品等の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

3 館長は、前項の規定による館外貸出しの許可の申請があった場合において、館外貸出しが適当であると認めるときは、館外貸出しの許可を決定し、当該申請をした者に

対し、愛媛県美術館美術品等館外貸出許可書（様式第9号）を交付しなければならない。この場合において、美術館の美術品等の管理上必要があると認めるときは、許可に条件を付することがある。

4 美術館の美術品等の館外貸出期間は、50日以内とする。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

5 館長は、館外貸出期間中であっても、館外貸出しを許可した美術館の美術品等の返還を求めることができる。（美術品等の寄贈又は寄託）

第18条 美術館は、美術品及び美術に関する資料（以下この条において「美術品等」という。）の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 美術館に美術品等を寄贈しようとする者は愛媛県美術館美術品等寄贈申出書（様式第10号）を、美術品等を寄託しようとする者は愛媛県美術館美術品等寄託申請書（様式第11号）を館長に提出しなければならない。

3 館長は、前項の規定による寄贈の申出又は寄託の申請があった場合において、当該寄贈の申出又は寄託の申請に係る美術品等の受入れが適当であると認め、当該美術品等の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に対し、愛媛県美術館寄贈美術品等受領証（様式第12号）又は愛媛県美術館寄託美術品等預り証（様式第13号）を交付しなければならない。

4 寄託を受ける美術品等の取扱いについては、館長が寄託しようとする者と協議して定める。

5 美術館は、寄託を受けた美術品等の不可抗力による損害に対しては、その責めを負わないものとする。（損害賠償等）

第19条 自己の責めに帰すべき理由により、美術館の美術品等又は美術館の施設、附属設備等を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

（補則）

第20条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月26日規則第14号抄）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（後略）

（経過措置）

3 第11条の規定による改正後の愛媛県美術館管理規則別表の規定は、施行日以後の試験、検査、分析及び使用（以下「試験等」という。）に係る使用料で施行日以後にその全額又は未徴収額について徴収するものについて適用し、

施行日以前の試験等に係る使用料及び施行日以後の試験等に係る使用料で施行日以前にその全額について徴収したもののについては、なお従前の例による。

別表（第11条関係）

1 常設展観覧料

区 分	一 般	団体 (20人以上)
1 高等学校及び中等教育学校の後期課程の生徒、大学の学生その他これらに類する者	220円	170円
2 15歳以上の者(中学校及び中等教育学校の前期課程の生徒並びに1に該当する者を除く。)	330円	260円

2 施設使用料

区 分		使用料	
企画展示室1	入場料が無料の場合	15,040円	
	入場料が有料の場合	24,060円	
企画展示室2	入場料が無料の場合	15,040円	
	入場料が有料の場合	24,060円	
常設展示室1	入場料が無料の場合	13,610円	
	入場料が有料の場合	21,770円	
常設展示室2	入場料が無料の場合	18,410円	
	入場料が有料の場合	29,450円	
常設展示室3	入場料が無料の場合	12,030円	
	入場料が有料の場合	19,240円	
特別展示室1	入場料が無料の場合	5,070円	
	入場料が有料の場合	8,110円	
特別展示室2	入場料が無料の場合	3,570円	
	入場料が有料の場合	5,710円	
特別展示室3	入場料が無料の場合	5,930円	
	入場料が有料の場合	9,480円	
講 堂	入場料が無料の場合	午前9時40分から正午まで	1,840円
		午後1時から午後6時まで	3,060円
		全日（午前9時40分から午後6時まで）	4,900円

講 堂	入場料 が有料 の場合	午前9時40分 から正午まで	2,940円
		午後1時から 午後6時まで	4,890円
		全日(午前9時 40分から 午後6時まで)	7,830円
研 修 室		午前9時40分 から正午まで	2,030円
		午後1時から 午後6時まで	2,650円
		全日(午前9時 40分から 午後6時まで)	4,680円
県民ギャラリー1			15,110円
県民ギャラリー2			11,870円
県民ギャラリー3			3,230円
県民ギャラリー4			4,310円
県民ギャラリー5			4,310円
県民ギャラリー6			2,150円
県民ギャラリー7			2,150円
県民ギャラリー8			6,470円
県民ギャラリー9			2,800円
県民ギャラリー10			2,900円
県民ギャラリー11			2,900円
県民ギャラリー12			3,230円

注 県民ギャラリーをすべて使用する場合の使用料は、この表の規定にかかわらず、54,480円とする。

3 特別利用料

区 分	単 位	金 額
閲覧	1点1日につき	550円
模写・模造	1点1日につき	5,500円
撮影・複写	1点1回につき	5,500円
原版使用	1点1回につき	5,500円

- 注 1 文書は、1葉を1点とする。
 2 びょうぶは、1隻を1点とする。
 3 1そろいをなす卷子は、1巻を1点とする。
 4 掛軸は、1幅を1点とする。
 5 小型の物で1組又は1箱となっているものは、1組又は1箱を1点とする。
 6 多数の物で1そろい又は1具となっているものは、数量に応じて数点に分けるものとする。
 7 その他の資料は、各個を1点とする。

※ 様式については、掲載を省略します。

施設使用許可申請書が必要な場合は、愛媛県美術館ホームページ (<https://www.ehime-art.jp/>) を参照してください。

3 愛媛県博物館協議会設置条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館に、それぞれ同表の右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

愛媛県総合科学博物館	愛媛県総合科学博物館協議会
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館協議会
愛媛県美術館	愛媛県美術館協議会

(任命の基準)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命する。

(定数)

第3条 委員の定数は、それぞれ14人以内とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(雑則)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月27日条例第7号抄)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月27日条例第9号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月24日条例第9号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

4 愛媛県美術館協議会運営規則

(趣旨)

第1条 この規則は、愛媛県博物館協議会設置条例(平成12年愛媛県条例第31号)第5条の規定に基づき、愛媛県美術館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

(招集)

第3条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、愛媛県美術館長が招集する。

- 2 会議の日時、開催場所及び会議に付議する事項は、あらかじめ委員に通知しなければならない。

(会議)

第4条 会議は、会長が議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、愛媛県美術館において処理する。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

5 愛媛県美術品等収集評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 美術作品の収集等に関する事務を適正かつ円滑に行うことを目的として、愛媛県美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、次の事項について知事の諮問に応じて審議を行う。

- (1) 美術作品の選定及び評価に関すること。
- (2) 美術作品の情報提供に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員7人以内をもって組織する。

- 2 委員は、美術に関する知識を有する者の中から、知事が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長は、委員のうちから互選し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会の会議には、委員長が必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(任期)

第6条 委員の任期は、委嘱の日から2年間とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、愛媛県美術館において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は知事が定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

XII 施設・設備の概要

○ 本館

(1) 施設

所在地	愛媛県松山市堀之内
設計	株式会社日建設計
施工	
建築	大成・野間共同企業体
電気	四電工・三信電設共同企業体
空調	須賀・日比谷共同企業体
衛生	株式会社ダイイチマリン
昇降機	三菱電機株式会社
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
敷地面積	7,199.73㎡
建築面積	3,218.78㎡
延床面積	10,365.46㎡
仕上げ	外部 特注磁器質ポードータイル 打込PC版
屋根	銅板段葺・アルミハニカムパネル アスファルト防水の上コンクリートパネル敷
特殊工法	PC版圧着構造・外壁大型カーテンウォール

(2) 設備

【空調設備】

空調方式	中央ダクト方式・パッケージ方式・ファンコイル方式
主要熱源機	直だき吸収冷温水機・空気熱源ヒートポンプユニット
熱源設備	(ガス焚吸収式冷温水機) + (空気熱源回収形ヒートポンプ) + (冷温水蓄熱槽) 組み合わせ方式
容量	ガス焚吸収式冷温水機 150R ton×1台 空気熱源熱回収形ヒートポンプ 100R ton×1台
空調系統・空調方式	展示室 8系統 単一ダクト変風量 収蔵庫 4系統 単一ダクト定風量方式 一部ファンコイル併用 一般 15系統 単一ダクト定風量方式 単一ダクト変風量 (ファンVAV) 方式 1F中監盤室、講師控室、ボランテニア室 ビル用マルチパッケージ方式
換気設備	熱源機械室、電気室、特殊ガスボンベ室、荷捌室、EV機械室他は第1種換気とし、 便所、湯沸他は第3種換気とする。
排煙設備	自然排煙…エントランスホール等 機械排煙…BF廊下、企画展示室(1)、(2)、常設展示室(1)、(2)、展示ロビー(3)、搬入口、荷解 室、ハイビジョンギャラリー
蓄熱槽	冷水槽…540㎡、温水槽…170㎡

(床下二重ビット利用)

【電気設備】

引込	高圧・架空
電灯	Tr200KVA×3台
動力	Tr500KVA×2台
コンデンサ	低圧 50KVr×6台
リアクトル	低圧 3KVr×6台
発電機	3φ3W220V 205KVVA・240PS 1φ3W 110V 6Kw ディーゼル軽油

直流電源 サイリスタ全自動式整流器 3φ3W 200V 10時間 MS-E 300Ah/54セル
 放送機器 出力(非常・業務)720W 出力(BGM)360w
 卓上型2台 ワイヤレス 800MHz
 テレビ共聴 VHF・UHF・BSアンテナ
 電話 PCM時分割方式 一般内線90/120内線10/10 回線64局線1/10回線 PHS接続装置10/10
 回線 アナログ局線10/12回線 INS1500局1/4回線
 インターホン 身障者用・夜間訪問用
 電気時計 ダイチ製 DC-3002、DC-3006
 火報防火扉 GP型1級50回線 副表示20L 諸警報55L 防排煙130L ガス漏れ5L
 表示設備 DC24V発光ダイオード(2モード形)

【衛生設備】

給水設備 飲用 松山市上水道引き込み(50mm)→受水槽(11m³)加圧ポンプ方式
 雑用 雨水利用+井水→受水槽(28m³)加圧ポンプ方式
 給湯設備 中央給湯方式(太陽熱利用)+局所方式
 真空式温水ヒーター 100,000kcal/H 2台
 貯湯槽 2m³ 2台
 電気湯沸器 30リットル8台
 排水設備 建物内汚水・雑排水分流方式(雨水は分流)
 脱ガス設備(中) 吸収式冷温水機及び真空式温水ヒーターに供給
 消火設備 屋内消火栓設備、連結散水設備(5系統)、イナージェン消火設備(6系統)、消火器
 設備、移動式粉末消火設備、フード消火設備(厨房)
 その他 太陽熱利用設備、雨水再利用設備(有効水量206m³)、井水設備

【昇降機設備】

乗用油圧エレベーター(15人乗 車椅子対応)2台
 乗用油圧エレベーター(11人乗 車椅子対応)1台
 荷物用油圧エレベーター(4,200kg Wカゴ3,500mm×D4,800mm×H3,000mm)1台

○ 南館

(1) 施設

所在地 愛媛県松山市堀之内
 構造 鉄筋コンクリート造
 地上3階地下1階
 敷地面積 2,301.50m²
 建築面積 921.20m²
 延床面積 4,296.69m²

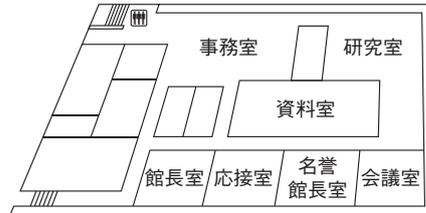
区分	室名	面積(m ²)	
南館	創作部門	県民ギャラリー1～12	2,004
		県民アトリエ1	68
		県民アトリエ2	105
		実技教室	124

● 館内案内図 ●

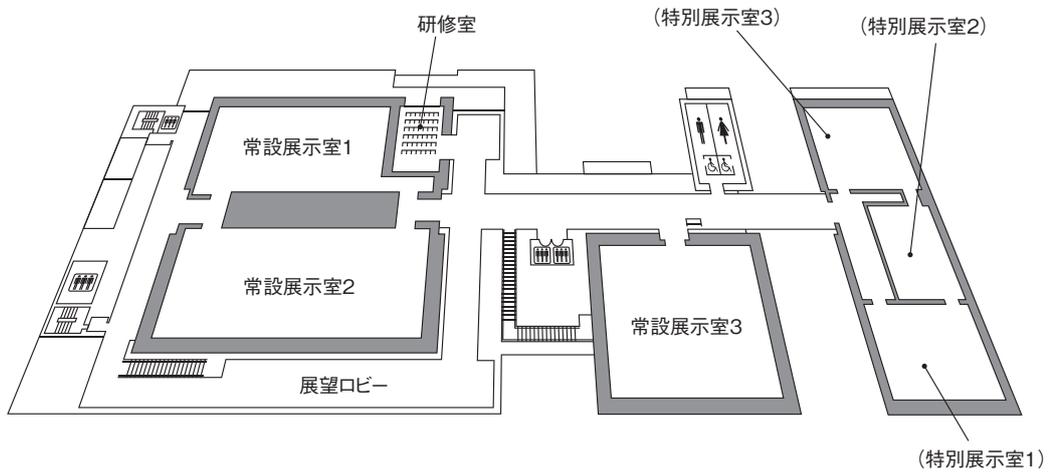
本館フロア



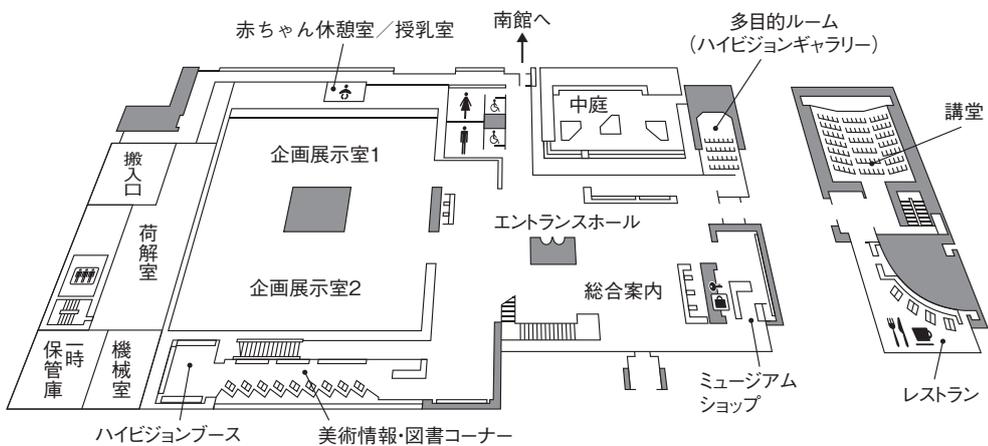
3階



2階



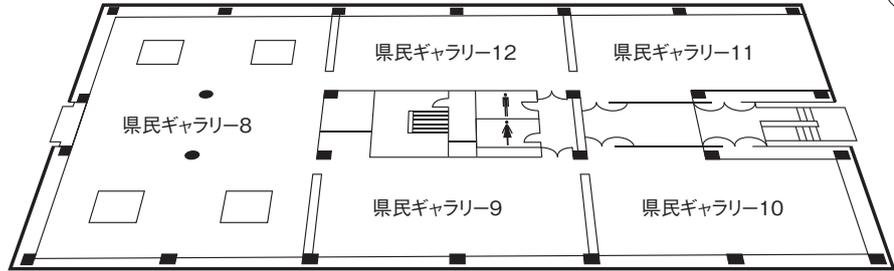
1階



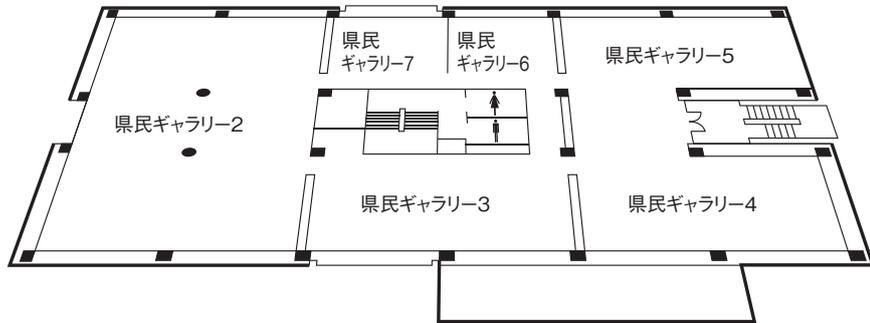
南館フロア



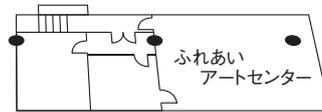
3階



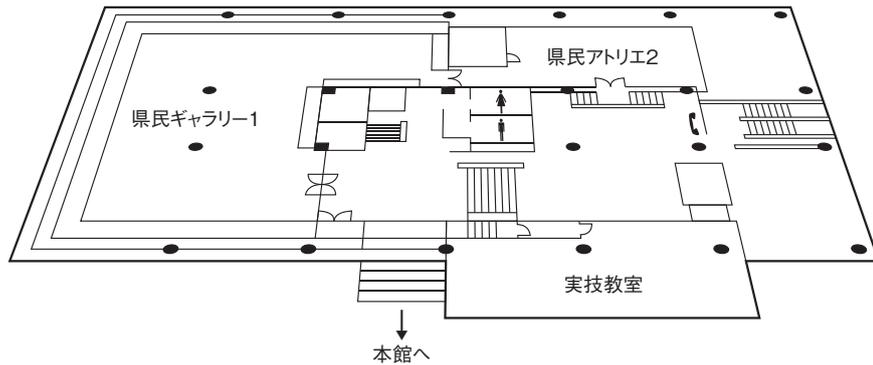
2階



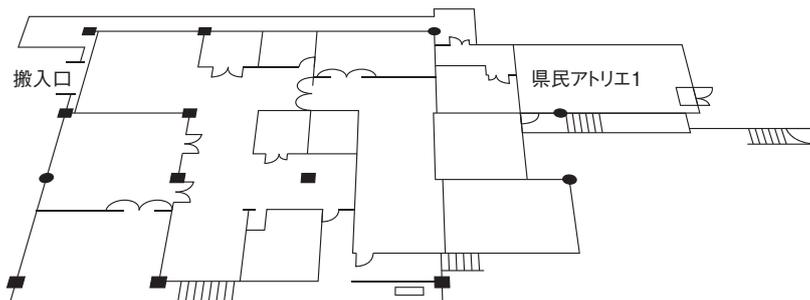
中2階



1階



地下1階



愛媛県美術館

研究紀要 第23号

BULLETIN

THE MUSEUM OF ART, EHIME

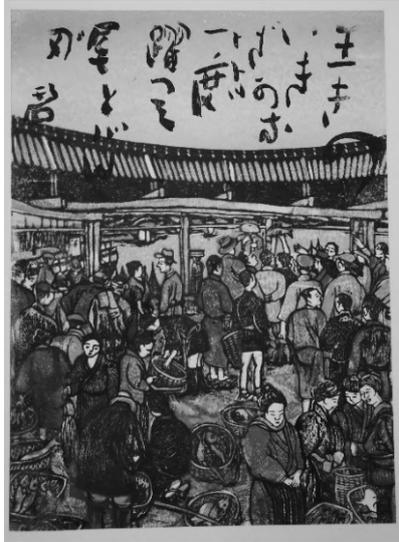


図22 石崎重利「三津の朝市」



図21 石崎重利『松山名所図絵』「松山城」

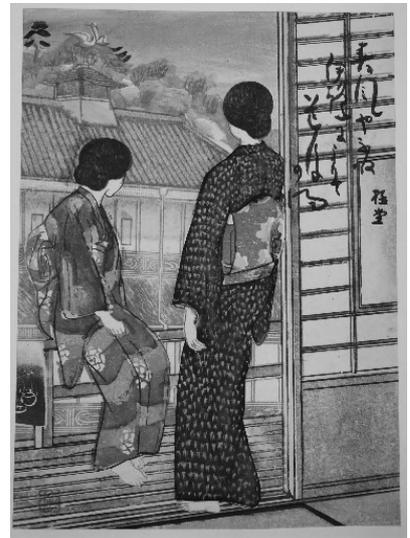


図23 石崎重利「道後」



図26



図25



図24

図24 内藤鳴雪《句画「敷島や…」》

図25 阿部里雪・坂田虎一《句画「若き日も…」》

図26 酒井黙禪・塩月桃甫《句画「湯の山の…」》

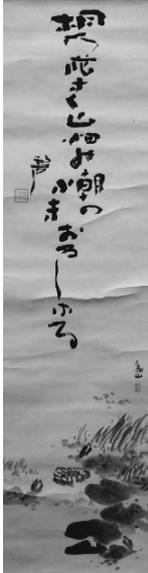


図15
河東碧梧桐・下村為山
《句画「桐の花…」》

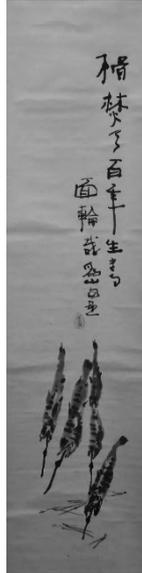


図14
下村為山
《句画「楳茨て…」》



図13
長谷川竹友ほか《角皿ほか十六点》

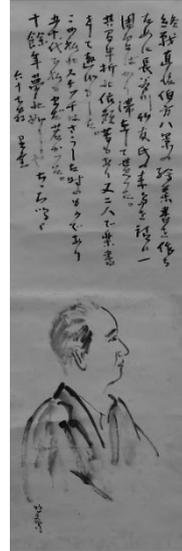


図12
長谷川竹友・阿部里雪
《阿部里雪像》



図17 内藤鳴雪《句画「七轉八起の…」》



図16 《「花月」(扇面画帖)》(表紙)



図19 下村為山《句画「暮る、日乃…」》



図18 下村為山《句画「清水受けて…」》



図20 下村為山《画(子規庵句会写生図)》



図4

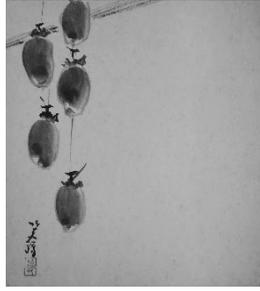


図3



図6

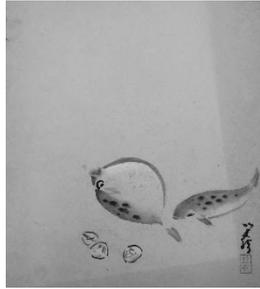


図5



図2

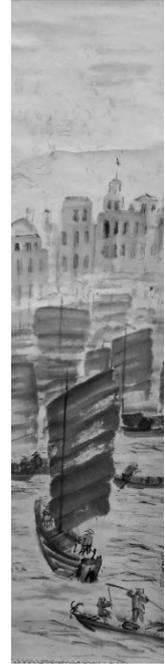


図1

右から順に

- 図3 長谷川竹友《画（干し柿）》
- 図4 長谷川竹友《画（姫だるま）》
- 図5 長谷川竹友《画（河豚）》
- 図6 長谷川竹友《画（枇杷）》

右から順に

- 図1 長谷川竹友《画（支那）》
- 図2 長谷川竹友《画（上海）》



図11

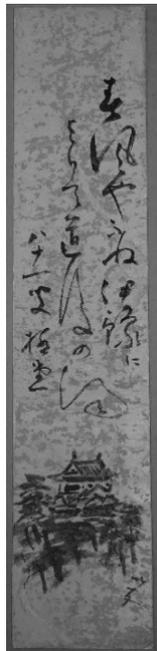


図10



図9



図8



図7

右から順に

- 図9 柳原極堂・長谷川竹友《句画「秋日和…」》
- 図10 柳原極堂・長谷川竹友《句画「春風や…」》
- 図11 阿部里雪・長谷川竹友《句画「尾を刎ねて…」》

右から順に

- 図7 長谷川竹友《画（雛）》
- 図8 長谷川竹友《画（午）》

た後、虚子に師事する。大正九年（一九二〇）、日赤松山病院に院長として着任し、医師としての勤務と共に、松山において俳句の指導や俳誌の選者として活躍。伊予俳諧文庫の資料収集にも尽力したことも知られる。道後温泉の近所に居住していた黙禪は、毎日、時には一日に二回、道後温泉に入浴していたという。また、昭和三十年（一九五五）には、温泉の歴史や文学との関わり、著名人の来歴などを記した書籍『道後温泉話題』を刊行する。

塩月桃甫は、宮崎で師範学校を卒業した後に東京美術学校にて絵画を学ぶ。大正期に台湾に渡り、台湾美術展の創設に携わったことで知られるが、それ以前に松山市で愛媛師範学校にて勤務しており、黙禪とはその時期に知り合ったと考えられる。

むすび

ここまで阿部里雪コレクションについて、日本画家が手掛けた作品を中心に紹介した。本コレクションの作品群は、里雪が画家や俳人たちとの合作や、里雪の求めに応じて制作された作品など、里雪が作品を収集するのみならず、作品の制作にも深く関わっていたことを示している。本稿で紹介することが叶わなかった作品についても、今後情報の整理を進めていきたい。

註

- (1) 長谷川竹友の略歴は、以下を参照した。烏谷照雄編『セキ美術館開館10周年記念 愛媛・感動の美術家たち展 第2期展 大正から戦前の昭和激動の時代美を求めた画家たち』図録、一一六頁。
- (2) 下村為山の略歴は、以下を参照した。松山市立子規記念博物館編『第26回特別企画展 画家 下村為山』一九九二年。阿部里雪『「新編」子規門下の人々』一八七頁。データベース『えひめの記憶』—生涯学習情報提供システム (<https://www.i-nanabi.jp/system/regionals/regionals/ecode4/87/view/14691>)。
- (3) 阿部里雪『新編 子規門下の人々』愛媛新聞社、二〇〇四年、一九一—一九四頁。
- (4) 鴻池楽斎「書家 下村為山」松山市立子規記念博物館編、前掲書、九十三—九十四頁。
- (5) 制作の経緯については下記を参照。阿部里雪、前掲書、七十六頁。
- (6) 制作の経緯については以下を参照。阿部里雪、前掲書、一八一—一八三頁。
- (7) 阿部里雪、前掲書、一一二頁。

(三) その他の作品

以下では、個別の作品について挙げ、若干の解説を加える。

石崎重利『松山名所図絵』（紙本木版）（図21～23）

石崎重利（一九〇一～一九九六）は、温泉郡中島町（現在の愛媛県松山市）の生まれ。日本画を学んだ後に大正十年ごろより木版画の制作を始める。日本創作版画協会展、帝展等で活躍。昭和二十年（一九四五）より忽那島に居を定める。愛媛県美術展（県展）の第一回目より版画部門の審査員を務め、昭和四十七年（一九七二）からは、愛媛県美術会の名誉会員となる。

『松山名所図絵』は、全七点から構成される版画集。重利と里雪は、同時期に東京都大森区（現在の東大田区）に居住した為に交流を深めたという。本作は重利より自身の版画を販売したいとの相談を受けた里雪が、松山の名所を題材にすることを提案したことで制作されたという。さらに里雪は、版画に、子規門下の俳人たちの句を賛として加えることを勧め、承諾した重利に俳人を紹介した⁽⁶⁾。版画の題材となった場所と、添えられた句は次の通りである。

松山城／高浜虚子「しろ山の鶯來啼く士族町」

三津の朝市／河東碧梧桐「生きのいきざかな一度躍つて尾とばん刃」

新立橋／五百木瓢亭「そゞろ來て橋あちこちと夏の月」

道後／柳原極堂「春風やふね伊豫によりて道後の湯」

石手／たけし「坐るあり寝そべるがあり遍路宿」

高濱／寒川鼠骨「岐曾つりの舟を漕ぐ見ゆ涼志良に」

鹿島／村上霽月「蒼海に生えて幾世の島の秋」

作品はいずれも、縦25cm、横34cmの紙に摺られており、摺りを重ねることによって生まれた、三津の朝市の朝焼けや、夕日を反射する高浜の海面などの鮮やかな色彩が目を引く作品である。また松山城は城の中から眺めた風景を取り上げるな

ど、構図もユニークである。

内藤鳴雪『句画「敷島や…」』（墨書・墨画着色／半切・軸）（図24）

内藤鳴雪（一八四七～一九二六）は、松山藩士の家の生まれ。明治初めには、愛媛県内の小・中および師範学校の設立に尽力する。東京にて、松山出身の学生たちの宿舍常盤会の監督として勤務した際、寮生であった正岡子規の影響により四十六歳より俳句を始める。

本作は、句「敷島や和歌にもりし六の花」の周囲に、六歌仙が描かれた作品。本作については、制作の場に居合わせた里雪による回想が残されている。里雪が、東京の鳴雪の自宅を訪問した際、鳴雪に希望の画題を尋ねられたため、六歌仙を描いてほしいと答えると、それに応じて里雪の目の前で即興で描かれたという⁽⁷⁾。

坂田虎一『句画「若き日も…」』（墨書・墨画淡彩／半切・軸）（図25）

坂田虎一（一九〇六～二〇〇〇）は、愛媛県川之江市（現在の四国中央市）の生まれ。大阪信濃橋洋画研究所にて学び、大正十四年（一九二五）に上京して牧野虎雄に師事。帝展、文展、日展にて作品を発表した。昭和二十一年（一九四六）に帰郷し、宇摩美術会の設立に携わったほか、光風会など県内の美術団体にて作品を発表。また後進の育成にも尽力した。阿部里雪コレクションには、虎一の俳画二点がみられる。その他、魚や植物などを墨画に淡彩で描いた色紙や、油彩による阿部里雪の肖像も収集されている。

酒井黙禪・塩月桃甫『句画「湯の山の…」』（墨書・墨画淡彩／半切・軸）（図26）

酒井黙禪（一八三三～一九七二）の句「湯の山のうしろ或の□雪の峰」に、宮崎出身の画家、塩月桃甫（一八八六～一九五四）が画を描いた俳画。入浴する女性の持つ手ぬぐいには、道後温泉の湯玉のマークが描かれている。

酒井黙禪は、東京大学医学部を卒業後、高浜虚子の率いる東大俳句会に所属し

らと共に挿絵を手掛け、翌年創刊の東京版「ホトトギス」でも、創刊号の表紙絵および口絵をはじめ、多数の挿絵を寄せている。明治終わり頃より、日本画、特に俳画の研究に専念した⁽²⁾。

為山は『子規門下の人々』にて紹介される人物の一人である。本書では里雪が為山の東京の自宅を度々訪れていたことなどが綴られており⁽³⁾、二人の交流の深さが窺える。

作品紹介

コレクションにおいては、俳画のほか、子規庵での句会の様子を描いた作品、俳人との合作による扇面帖などがみられる。

下村為山《句画「櫛焚て…」》(墨書・墨画／半切・軸)(図14)。

句「櫛焚て百年生きる面輪哉」に、串焼きの川魚の画が描かれる。句画ともに為山が手掛ける。為山は六朝体の書を研究していたことが指摘されており⁽⁴⁾、本作における角ばった書体から、その影響をみることができるといえる。その上で、文字のバランスをあえて崩した手法や、筆圧の緩急などに独自性が表れている。

河東碧梧桐・下村為山《句画「桐の花…」》(墨書・墨画／半切・軸)(図15)

河東碧梧桐(一八七三～一九三七)と為山の合作による俳画。為山による睡蓮に、碧梧桐の句「桐の花咲く山畑の朝の吹きおろしなる」が書かれる。『新編 子規門下の人々』における、里雪の解説によれば、本作は為山の画に碧梧桐が句を賛として書いたものであるという⁽⁵⁾。墨の濃淡を活かした、枯淡な趣の睡蓮の画と、碧梧桐の書の組み合わせが味わい深い作品である。碧梧桐は、子規より「天資の才」と称賛されるほど書を得意としたが、中村不折から中国の六朝時代の書の拓本を送られたことをきっかけに、柔らかな書風から、六朝体を取り入れた角ばった書風へと変化していく。さらに、大正五年(一九一六)ごろからは、しなやかさの

加わった本作のような書風へと展開した。

内藤鳴雪、河東碧梧桐ほか《花月》(扇面画帖)(墨書・墨画着色／画帖)(扇面型)(図16～19)

内藤鳴雪、河東碧梧桐、五百木瓢亭らによる画帖。俳句または俳画が書かれた、半径17cm、横幅26・5cmほどの扇型の画面十三面から構成される。十三面のうち俳画は、内藤鳴雪による「七轉八起のそれも花の春」の句に達磨が描かれた作品のほか、為山の作二点を数える。為山の俳画のうち、一つは「清水受けて踊る桐子也渦乃中」に金魚と蓮の花が描かれている。もう一つは「暮る、日乃たゆたふ音□□る□けり」の句に、葉をつけた植物と羽を有する虫(もしくは花か)が描かれる。為山の俳画はいずれも彩色がされている。

下村為山《画(子規庵句会写生図)》(墨書・墨画／懐紙・軸)(図20)

東京の根岸の子規庵にて開催された句会の様子を、為山が回想して描いた作。画面左上に、「昭和十年八月十六日」の日付が記されている。左上にはこの句会は三十七、八年前のこととの記述があり、先述の日付から逆算して、明治三十年前後に開催された句会の光景であることが分かる。座椅子に腰掛ける子規を左上部に、碧梧桐、薺月、鳴雪、虚子ら俳人たちの姿が描かれ、また為山自身の姿もみられる。(福田) 把栗がかくし芸を披露しようとして転んでしまった様子を人々が笑って眺めている。子規句会の和気あいあいとした様子を活写した作品であるが、それと同時に、全員の姿を描き分け、名前を付してみせた本作では、生涯にわたり膨大なスケッチを描いた為山の観察観とスケッチの蓄積の成果が発揮されている。

（午）（図8）など、季節にまつわる事物を題材とした作品がみられるほか、高砂や昇龍、旭日など、縁起物とされる題材を描いた作品も見られる。

柳原極堂・長谷川竹友《句画「秋日和」》（墨書・墨画淡彩／半切・軸）（図9）

柳原極堂（一八六七～一九五七）が句を書き、竹友が画を描いた合作。句「秋日和家あるべしと待ちにけり」に、親兔の元に子兔たちが身を寄せる様子が描かれる。「秋日和」の句を扱った極堂と竹友の合作は、コレクション内にもう一点みられ、ここでは竹友がしいたけを描いている。

柳原極堂・長谷川竹友《句画「春風や」》（墨書・墨画淡彩／短冊）（図10）

《句画「秋日和」》と同じく、極堂の句と竹友の画の合作。箔を散らした短冊に、極堂の「春風やふね伊豫によりて道後の湯」が書かれる。この句は、道後放松園の句碑に刻まれている句としても知られる。竹友は、松山城の画を描く。

阿部里雪・長谷川竹友《句画「尾を刎ねて」》（墨書・墨画着色／半切・軸）（図11）

里雪と竹友の合作。里雪が句「尾を刎^はねてこのよかくれの鯉職」を書き、その下側に竹友が五月人形の画を描く。軽い筆致で描かれた墨線に淡い色彩が施されている。

阿部里雪・長谷川竹友《画「阿部里雪像」》（墨書・墨画／半切・軸）（図12）

竹友による里雪の肖像画。墨で里雪の横顔が描かれている。肖像の上側に里雪が記した回想によれば、終戦直後、里雪が故郷の伯方島を題材にした絵葉書の制作を企画し、そのために、竹友に一年間ほど同島に滞在してもらったことがあった。この肖像はその時に描かれたものであるという。

角皿ほか十六点（図13）

角皿十点、瓢箪型皿五点、湯呑一点で構成される。絵付けを竹友が手掛けている。角皿は縦11cm、横13・5cmほどの大きさで、深緑色の皿の上に茶褐色の皿を重ねたようなデザインがなされている。表面の絵に注目すると、角皿十点のうち五点は、海浜や山の風景が描かれ、五点は子規の句に画を添えた、俳画のような形式がとられている。書かれている句は、「温泉の町に紅梅早き宿屋かな」「草花や露あたた、かに温泉のながれ」「松山や秋より高き天守閣」「春や昔十五万石の城下哉」「若鮎の二手になりて上りけり」で、いずれも子規の句である。句を書いた人物は定かではないが、おそらく竹友であると思われる。

瓢箪型の皿も、角皿と同様に深緑色と茶褐色の皿を重ねたようなデザインが施されている。大きさは縦9・7cm、横15cmほど。表面には海浜や山々の風景が描かれる。

湯呑は、直径7・5cm、高さ6・5cm程度。線刻と着色によって絵柄が付けられ、その裏側には子規の句「萬歳や黒き手を出し足を出し」が刻まれている。「萬歳」とは民俗芸能の一つであり、新年に家々を訪問し、玄関口や座敷にてめでたい言葉述べものである。烏帽子を被り、扇を持つ場合が多く、本湯呑にはこの衣装を身に着けていると思われる人物が刻まれている。

（二）下村為山 しもむらいざん 慶応元年（一八六五）～昭和二四年（一九四九）

為山は伊予国温泉郡の松山藩士の家に生まれた。十七歳で上京した後、本多錦吉郎の画塾彰枝堂、そして小山正太郎の画塾不堂舎にて洋画を学び、明治美術会主催の展覧会に作品を出品するなど、洋画家として評価を得る。

明治二十三年（一八九〇）に、従弟の内藤鳴雪（一八四七～一九二六）を通じて正岡子規と知り合い、後に句作を始める。俳号は「牛伴」ぎゅうばん「冬邨」とうそん。

明治三十年（一八九七）に松山で創刊された俳誌「ほと、ぎす」では中村不折

阿部里雪コレクション 作品紹介【日本画家ほか】

岩 本 成 美

はじめに

本紀要の長井別稿においては、阿部里雪コレクションの概要および柳瀬正夢の作品を中心に紹介したが、続く本稿では、同コレクションにおける郷土の日本画家の作品の一部を紹介する。今回は「俳文学と美術」のテーマから、俳画ほか、絵画作品を中心に取り上げる。なかでも長谷川竹友と下村為山の作品については、作品点数の多さや里雪ほか俳人たちとの関わりを示す作品が多くみられることから、それぞれの章を設けて紹介することとした。

(一) 長谷川竹友 はせがわちゆう 明治十八年(一八八五)～昭和三十七年(一九六二)

本コレクションに含まれる長谷川竹友の作品は、絵画や俳画、磁器など、その形状において多彩である。

竹友は温泉郡拝志村下林(現在の愛媛県東温市重信)の生まれ。本名は武次郎。十三歳にして画家を志し京都に移り、都路華香に学ぶ。明治四十二年(一九〇九)から大正五年(一九一六)にかけては東京に居住しており、この間に高浜虚子と知り合い、同四年(一九一五)から昭和十五年(一九四〇)にかけて、俳誌『ホトトギス』にて挿絵および裏表紙絵を手掛けるようになる。大正五年にシンガポール、インドを旅行。中国へは同十一年(一九二二)以来、何度も訪れている。訪れた土地の風景や人々の様子を写生に残し、それらを基にした作品を『印度所感

作品画集』(大正十一年刊)や展覧会「支那漫遊所見展覧会」(大正十二年)等で発表している。里雪コレクションにおいても、《画(支那)》(図1)や《画(上海)》(図2)などの作品が含まれている。愛媛県においては、大正十一年(一九二二)に伊予美術展の委員を務めたほか、愛媛美術工芸展、愛媛美術展等に参加。昭和二十七年(一九五二)の愛媛県美術会(県展)発足の際には名誉会員に推薦され、晩年まで出品を続けた(1)。

作品紹介

以下では、里雪コレクションに含まれる竹友の作品をいくつか取り上げ、簡単ではあるが解説を加える。阿部里雪コレクションに含まれる竹友の作品を大きく分類すると、まず色紙しきしや半切に、墨画または墨画に淡彩を施した絵画、続いて俳人との合作による俳画、そのほか、里雪の肖像画、竹友による絵付けが施された磁器などが挙げられる。

《画(雛)》ほか(墨画淡彩/色紙または半切・軸)

コレクションには、半切と色紙の作品が各八点数えられる。色紙のサイズはいずれも27・0×24・2cmサイズで、それぞれ草花や果実、動物、郷土玩具などが描かれている(図3～6)。描法としては柔らかな筆致と淡い色彩が共通して指摘される。半切においては、《画(雛)》(図7)や午の絵馬や玩具を集めて描いた《画



図7
柳瀬正夢《〔阿部里雪子息像〕》



図6
柳瀬正夢《〔阿部里雪夫人像〕》



図9
貼交屏風



図10
柳瀬正夢《〔仏像〕》
(貼交屏風のうち)



図8
柳瀬正夢《〔柳原極堂像〕》

図1
正岡子規《湯の町の門を閉たる余寒哉》

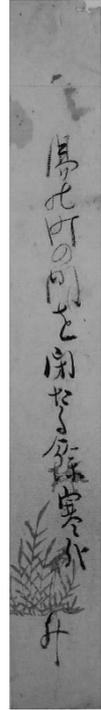
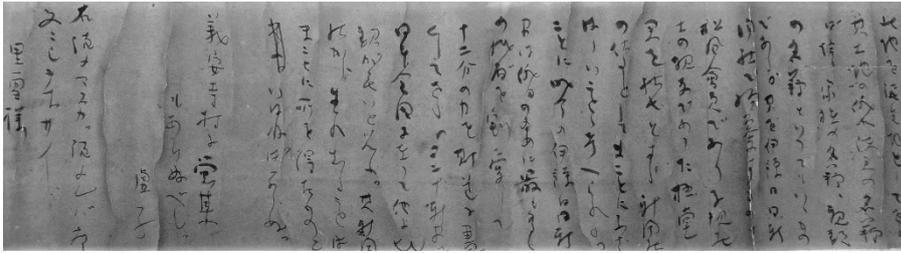


図2
高浜虚子《柳原極堂・阿部里雪宛書簡 大正14年6月7日付》



図5
柳瀬正夢《〔阿部里雪像〕》



図4
柳瀬正夢《〔機織〕》



図3
柳瀬正夢《〔中国人物等〕》

月」と題された扇面型画帖の各画面の作者は、一茎会メンバーと重複する顔ぶれが多いことから、同会に関連した創作物の可能性も考えられる。

里雪コレクションには、十点ほどの柳瀬作品が含まれ、いずれも淡墨や水彩といった即興的なタッチによるものである。後年（一九三〇年代以降）に訪れた中国各地、満州やロシアで見たであろう風俗などを描いた掛軸（図3、4）は、この時期の彼の重要な作例と位置付けられるほか、里雪本人や彼の家族の似顔絵などを描いた色紙（図5、7）は、二人の親密さが強くうかがえる。また、極堂の横顔を軽妙かつ大胆に捉えた掛軸（図8）には、極堂自筆による「己か影愚なりと思ふ冬こもり」という句が書き添えられており、まさしく「俳画」として見事な出来栄えを見せる佳品である。また、里雪と親交のあった俳人や画家たちの書画が貼り交ぜられた二曲屏風（図9）にも、柳瀬の作品が1点（図10）含まれるほか、極堂、虚子、為山、石崎重利ら前述した作家たちや、里雪とは郷里が隣接する野間仁根（一九〇一〜七九）の作品も見える（7）。

なお、里雪は昭和十九年（一九四四）に疎開のため帰郷、柳瀬とはその後再び会うことなく、翌年五月の柳瀬の死とともに交友も終焉を迎えたと見られる。翌六月に極堂のもとへ、柳瀬死去の知らせが遺族から届き、極堂は里雪へ葉書で伝えていた（8）。

註

- (1) 二〇一五年七月九日付愛媛新聞において、里雪コレクションおよび子規の本句についての紹介がなされ、和田氏が取材に応えたもの。
- (2) 二〇一五年九月十九日付愛媛新聞において、前掲(1)の記事の統報的に掲載された。それに当たり、小林氏が取材に応えたもの。
- (3) 拙稿「柳瀬正夢と俳句―画家として、俳人として」『柳瀬正夢一九〇〇―四五』展図録、読売新聞社、美術館連絡協議会、二〇一四年
- 長井健、岩本成美、土居聡朋「特集 愛媛県美術館「俳文学と美術」コレクション」『愛媛県美術館研究紀要』第二二号、二〇二四年
- (4) 柳瀬信明「柳瀬蓼科」山の絵 柳瀬蓼科句集』私家版、二〇〇七年
- (5) 展覧会「柳瀬正夢一九〇〇―一九四五」で公開。同展図録二九九頁（no.315-18）に図版掲載。
- (6) この作品展のものと考えられる柳瀬デザインによるポスターが、武蔵野美術大学美術館・図書館に所蔵される。
- (7) 野間も、自ら多くの俳句を詠んだ愛媛の画家として重要である。
拙稿「野間仁根の文人性について―昭和一〇―二〇年代の動向を中心に」『愛媛県美術館研究紀要』第五号、二〇〇六年
- (8) 「本日東京柳瀬正夢君宅より計報届く 正夢君五月二十五日夜戦災死とあり 宅ハ焼けて居らぬらしいから想ふに出先きで罹災せしものかと被存候 実ニ痛嘆不堪不申候（中略）柳瀬計報ハ貴方へも入りしこと、は存候へとも為念御知らせ申上候」一九四五年六月十三日付阿部里雪宛葉書『柳原極堂書翰集』極堂会、一九六七年

規に先立って極堂が上京する明治十六年（一八八三）頃、二人で訪れた道後の情景ではないかとされた。のち同二十八年（一八九五）九月から十月にかけて、子規は日清戦争従軍後の病氣療養のため松山へ戻るが、その際、夏目漱石や極堂らと松山とその近郊を散策して吟行し、それらを『散策集』としてまとめた。そこには、道後を訪れて作った俳句が多く取められていることから、本句もこの頃の作と考えるのが妥当と思われる。

後者の書簡は、複数が含まれるが、そのうち極堂と里雪に宛てて書かれた大正十四年（一九二五）六月七日付の書簡（図2）は、新発見の内容であった。「愛媛県下の俳人の名簿が出来るのは、私に取って親しくなつかしい事である。（中略）独り子規居士のミならず、鳴雪翁はじめ我等に至るまで、此地を誕生地としてをる。其土地の俳人諸君の名簿は、恰も家族の名簿、親類の名簿をいつてい、ものである。」などと記され、調査分析を依頼した虚子記念文学館の小林祐代学芸員によれば、伊予日日新聞社で発刊予定だった愛媛県内の俳人名簿の出版広告のための文章を虚子に依頼した際の返信ではないかと推測されている⁽²⁾。

柳瀬正夢の作品群

愛媛ゆかりの画家たちの作品については、岩本別稿にて詳しく紹介するので、そちらに譲るが、ここでは特に交友が深かった人物として、柳瀬正夢の作品群について触れておきたい。なお、柳瀬と俳文学との関わりについては、前稿などでも取り上げているので、そちらも参照されたい⁽³⁾。

松山市出身の柳瀬は、十代から精力的に作品発表を行い、目覚ましく活動した。二十代には、読売新聞社でジャーナリズムの仕事を手がけたほか、大正期新興美術運動やプロレタリア美術運動に加わり、漫画やグラフィックデザインなどにも活躍の場を広げた。昭和七年（一九三二）治安維持法違反容疑での逮捕を経て、再び油絵を描く。同二〇年（一九四五）五月に新宿駅で空襲に遭い四十五歳で死去。

大正期から昭和戦前・戦中期にかけて、油彩画、グラフィックデザイン、諷刺画、漫画、写真、絵本など多方面にわたって先駆的な活動を展開したが、俳句については、絵筆の取れなくなった第二次大戦時下において、集中的に取り組まれたものであった。その中で、里雪に句作の手ほどきを受け（その代わりに柳瀬が里雪に絵を教えていたらしい）、里雪は、柳瀬が愛した信州の山々にちなんだ「蓼科（りょうか）」という俳号を与えている。さらに柳瀬は、里雪の師である柳原極堂にも師事し、その句会にたびたび参加していた。極堂主宰、里雪編集により昭和七十七年（一九三二）に出版された俳誌『雞頭』の最後の二年分の表紙絵を柳瀬が担当。あわせて柳瀬は同誌へ三百もの投句をしている。

柳瀬と里雪の出会いは、これまで、昭和九年（一九三四）九月に田端の大龍寺で行われた正岡子規の三十三回忌の際であったと推測されていたが⁽⁴⁾、その三か月前に柳瀬が里雪に宛てた葉書が新たに見出され⁽⁵⁾、そこには「例の会はどうなつてゐますか。そのうちどっかで飲ませう」という親しげな記述があることから、両者の出会いは遡る可能性がある。里雪は、同八年（一九三三）に汎文社という出版社を立ち上げ、虚子、極堂、碧梧桐、飄亭らの執筆協力を得つつ、子規顕彰に関する編集・出版を行っていた。柳瀬は二十代の出版ジャーナリズムの仕事の中で、『ホトトギス』『土上』といった子規周辺の俳人たちが関与した俳誌の挿絵を断続的に担当したり、瓢亭が編集長をつとめていた雑誌『日本』で数か月間漫画を描いていることから、子規門下の俳人たちとはすでにこの頃から接点があったと推測され、里雪との出会いは、彼らがつないだものであったと考えられる。

昭和十一年（一九三六）六月には、柳瀬は里雪に誘われて、東京在住の愛媛県人会である「一莖会」の例会に参加したが、『子規門下の人々』に収録される「一莖会の思い出」という随筆に記される。同会は勝田主計（大蔵・文部大臣）、水野広徳（元海軍大佐）、高橋龍太郎（通産大臣）ら政財界人を中心に、極堂、飄亭、碧梧桐、為山といった子規門下の俳人たちも参加したサロンの集まりで、メンバーによる作品展も開催されたようである⁽⁶⁾。なお、岩本別稿で取り上げている「花

阿部里雪コレクションの概要

長 井 健

寄託の経緯

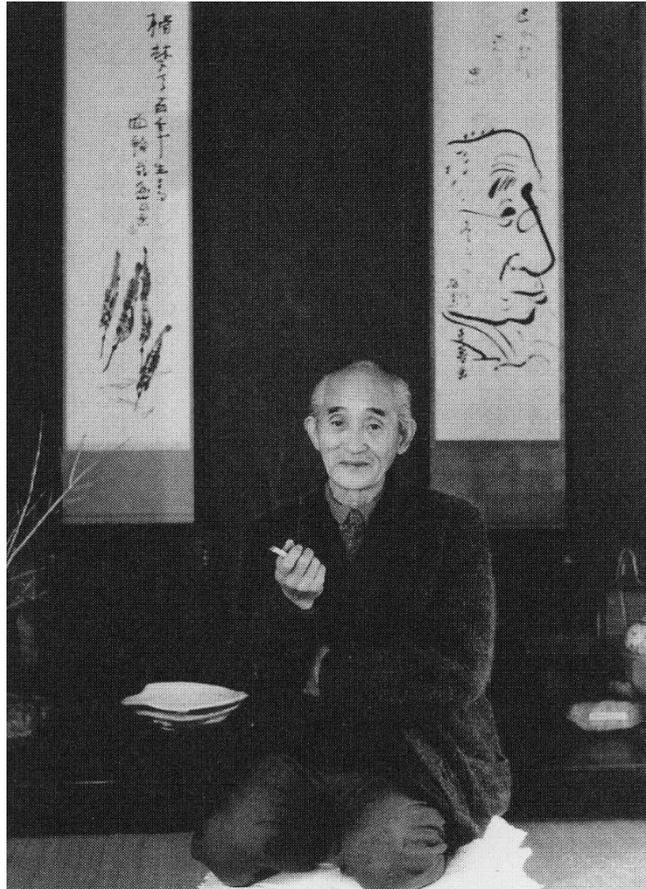
現在当館に寄託されている里雪の旧蔵品は約二〇〇件に及ぶ。これらの一部は、里雪の著書『子規門下の人々』において引用紹介されていて、里雪の所蔵であることは以前より関係者には知られていたものであった。平成二十五～二十六年（二〇一三～一四）に北九州市立美術館、神奈川県立近代美術館葉山との共同企画で開催した展覧会「柳瀬正夢一九〇〇―一九四五」において、柳瀬と俳句との関わりを紹介するにあたり、柳瀬が最も親交の深かった俳人として里雪に焦点を当てることとなった。松山子規会の烏谷照雄氏（現・同会長）とともに、里雪の遺族宅に調査にうかがった結果、柳瀬はもとより郷土の画家たち、俳人たちの膨大な作品・資料群を確認するところとなり、柳瀬の作品については、展覧会で拝借紹介することができた。展覧会終了後、旧蔵品全体としての資料的価値の高さを鑑み、調査で確認できた約二〇〇件が一括して当館に寄託されることになった。

コレクションの内容

里雪コレクションの内容は、俳人と画家の作品に大きく二分できる。俳人については、詳しい経歴が調べられていない人物も一部含まれるものの、いずれも里雪と直接交流した人々と推測される。俳人では、里雪の師であった極堂のほか、高浜虚子（一八七四～一九五九）、河東碧梧桐（一八七三～一九三七）、内藤鳴雪

（一八四七～一九二六）を筆頭に数多くの師友たちの作品や書簡等が確認でき、画家でも、下村為山（一八六五～一九四九）のような子規直系の作家はもちろんのこと、前述した柳瀬正夢、長谷川竹友、石崎重利など『ホトトギス』関連の仕事（表紙絵、挿絵）を手掛けた作家たちや、子規周辺の俳人たちと親密な交友をした塩月桃甫（一八八六～一九五四）などで占められる。彼らは、いわゆる「子規山脈」と呼ばれる、子規（およびその門人たち）の周辺に集った個性豊かな人々と重なる面々であり、それはそのまま里雪の著書『子規門下の人々』に登場する面々でもある。従来、里雪は俳人としてというよりも、記者・編集者としてその立ち位置や人物像が認識されるのが主であった人物だが、『子規門下の人々』に加えて、本コレクションを合わせ見ること、絶大な信頼の下、まさしく「子規山脈」を支えるべく、さまざまな人々を繋ぐ役目を果たし、広く深く愛された存在であったと捉えることができるだろう。

中でも特筆すべき俳句関係の資料としては、子規の直筆による未発表句の短冊および虚子の書簡が挙げられる。前者（図1）は、「湯の町の門を閉たる余寒哉」という句が書かれたもの。前述の調査時に協力いただいた故・和田克司氏（当時・大阪成蹊短大名誉教授）は、幼名の「升（のぼる）」を用いていることから、子規がごく親しい人、おそらくは同い年の柳原極堂に贈ったものを、極堂の弟子であった里雪に譲ったものと推測されている（1）。「余寒」は立春後に残る寒さをあらわす季語で、道後温泉（道後湯之町）で感じた肌寒さが表現される。和田氏は、子



阿部里雪

背後の床の間に柳瀬正夢《柳原極堂像》が掛けられている。

『新編 子規門下の人々』(愛媛新聞社、2004年)より転載。

特集 愛媛県美術館「俳文学と美術」コレクション（二）

— 寄託の阿部里雪コレクション

長 井 健
岩 本 成 美

愛媛固有の視点で当館のコレクションの特徴を考えてみた時、「俳文学と美術」というキーワードを挙げることができる。本県松山市出身の文学者・正岡子規（一八六七～一九〇二）が、西洋由来の「写生」^①対象をよく観察し、客観的な描写によって真実に到達しようとする思考を文学に取り込むことで、近代俳句は完成されたが、それに伴い、俳文学と美術との結びつきは、新たな広がりとも深まりを形成していった。

前稿^①では、当館コレクションの中から、俳文学にまつわる絵画・書跡作品一三七点を取り上げ、各作家たちの特徴や思考などを考察したが、本稿は、その続編として、当館に寄託されているうち、最も大規模でユニークな内容を持つと言える、本県出身の俳人・阿部里雪（一八九三～一九七三）の旧蔵品について取り上げるものである。

里雪は、明治二十六年（一八九三）、伯方島（現・今治市伯方町）に生まれた。本名は利行。大正二年（一九一三）、柳原極堂（一八六七～一九五七）が経営する伊予日日新聞社に入社、廃刊翌年の昭和三年（一九二八）、極堂を追って上京し、五百木飄亭（一八七一～一九三七）が主宰する雑誌『日本及日本人』の記者として活動。そのかわらで極堂や村上霽月（一八六九～一九四六）らに俳句を学んだ。また極堂主宰の俳誌『雞頭』の編集にも、同七年（一九三二）十月の創刊以降従

事した。同十九年（一九四四）、故郷の伯方島に戻り、町の教育委員や公民館長として尽力。戦後は「愛媛俳壇の生き字引」として子規及び門人たちの顕彰活動や後進指導に努めた。その集大成的著書が昭和三十六年（一九六一）に刊行された『子規門下の人々』である^②。昭和四十八年（一九七三）没。

詳しくは後述するが、旧蔵品からは、俳人以外にも愛媛出身の画家たちとの交友も盛んだったことがうかがえる。大正期新興美術運動の立役者の一人である柳瀬正夢（一九〇〇～四五）は盟友とも言える存在だったのをはじめ、長谷川竹友（一八八五～一九六二）、坂田虎一（一九〇六～二〇〇〇）、石崎重利（一九〇一～九六）などいずれも郷土の重要作家ばかりであり、本コレクションは今後の愛媛の近代美術史研究上においても、高い価値を有するものと言える。以下、コレクションの概要及び主要な作品について解説紹介することとした。

（長井）

① 長井健、岩本成美、土居聡朋「特集 愛媛県美術館「俳文学と美術」コレクション」『愛媛県美術館研究紀要』第二号、二〇二四年

② 愛媛タイムス社刊。二〇〇四年に愛媛新聞社より『新編 子規門下の人々』として再刊された。

愛媛県美術館
令和5年度年報・研究紀要第23号

令和7年3月発行

発行所 愛媛県美術館
愛媛県松山市堀之内
TEL.089-932-0010
FAX.089-932-0511

印刷所 株式会社 明朗社

